Spur 62

東北大学学友会スキー部

部長文

教員幹部交代と大学近況報告

スキー部長　風間　聡（平成二年卒）

今年度から日出間さんの後任を勤めることになりました風間聡と申します。副部長も青木俊明（平成五年卒）に交代しました。ＯＢＯＧ諸氏には今まで同様、お力添えをどうぞよろしく御願いいたします。

前任の日出間さんは平成１８年から１１年間部長を勤められてきました。私は同期間を副部長として務めてきましたが、その間、大学本部やスキー連盟との交渉や書類のやり取り、または部員の事故や問題等について全て日出間さんが対応してきており、私は脇から見ている程度でしかありませんでした。全てをお一人でこなされておりました。また、大人数の部員の個々の名前を良く覚えており、大変感心しておりました。特に日出間さんは学友会のみならず大学本部と強いパイプを持っておられ、萩雪ヒュッテの環境整備を着々と進めると同時に改築への布石を着着と打っておられました。部内外ともに大変優秀な部長でした。私は日出間さんが築いてきたネットワークを全て継げるとは思えず、日出間さん以上の仕事ができるとは思っておりません。しかし、繁忙な部長の仕事の軽減のために学内と連盟の仕事を分けることとし、学内を私が、連盟を日出間さんが担当することとしました。微力ながらもスキー部が発展できるよう汗をかく所存です。

ところで平成３０年４月に学長が里見総長（医学部）から大野総長（電気通信研究所）に代りました。前総長は大変学友会に理解があり、萩雪ヒュッテ５０周年の記念式典に臨席いただきました。里見前総長の大きな業績の一つが指定国立大学（注）に選定されたことです。初年度に選ばれたのは東大と京大と東北大の三大学になります。大変名誉なことですが、このプレゼンテーションのスライドの後半にトピックス⑥として東北大の七大戦の活躍が記されていました。その中でスキー部の写真がでかでかと掲載され、５年連続優勝と大きく示されていました。ちなみに5年連続は相撲部とスキー部だけで、次に3年連続が男子バレー部とフェンシング部になります。実に素晴らしいことです。普段学友会に無関心な教員にもスキー部の活躍を知ってもらうことができ、学内外で大変誇らしい気分となりました。この活躍を背景に新しい大学役員と緊密にすることが私の重要な役割と感じています。

現役の活躍は本誌を見ていただいてもわかる通り、輝かしいものです。九大学戦（七帝戦の拡大）は総合6連覇となりました。全国戦の男

子は４連覇です。昨年度は九大戦、全国戦とも男女優勝で国公立の名実ともトップに君臨しています。ここ５年間の成績を表にまとめました。ほとんど無敵です。女子は１部から２部になりましたが、全国戦優勝の実績からも実力が落ちたというわけではなく、１部の他大学に比較して選手層の薄さが弱みとなったようです。総じて東北大学は部員数も多く、他大学から羨望の的となっています。６月現在の部員は一年１０人二年１１人三年１０人四年１４人と全４５人なっております。各学年１０人を超える大所帯でありますが、経験者が入部するなど、量だけでなく質も大変素晴らしい状況となっております。一方、初心者が１年次からインカレに出場して経験値を上げるようなことは出来なく、スキーの魅力を十分に知る前にやめてしまうケースも少なくありません。４年間を通じて知ること、学ぶことが多いことを卒業生・上級生は皆知っています。入部した仲間全員が最後まで続けられるようにすることが現在のスキー部の課題の一つと思っています。

スキー部のこの輝かしい成績は、ＯＢＯＧ諸氏の暖かいご支援に支えられています。今後とも様々な場面でご助言やご援助を賜りますようよろしく御願い申し上げます。

（平成３０年６月１８日）

＊指定国立大学とは世界最高レベルの教育・研究活動が期待できる大学を文部科学省が選定し、規制緩和や権限委譲によって、より自由度の高い大学経営が出来る制度のことです。平成２９年には東北大東大京大が、平成３０年には名大と東工大が選らばれ、旧７帝大に替わる新ブランドを与えようとしています。

開催年（平成）		30	29	28	27	26
インカレ (*1 部)	男子	4	6	5	3	5
	女子	14*	10*	1	5	9
全国戦	男子	1	1	1	1	2
	女子	1	3	1	2	5
九大戦または十大戦	男子	1	1	1	1	1
	女子	1	2	1	1	1
	総合	1	1	1	1	1

Spur 62

目次

部長文 ・・・1

目次 ・・・4

監督文 ・・・5

インカレ観戦記 ・・・7

インカレ体験記 ・・・9

九大戦観戦記 ・・・13

九大戦体験記 ・・・15

平成 29 年度成績表 ・・・21

平成 30 年度合宿予定 ・・・29

部長・監督紹介 ・・・30

部員紹介 ・・・31

平成 29 年度・30 年度前期活動報告 ・・・36

幹部文 ・・・39

部員文 ・・・44

平成 29 年度会計報告 ・・・105

平成 29 年度寄付金報告 ・・・106

OB、OG の皆様からのお便り ・・・108

学友会スキー部部則 ・・・110

OB・OG の皆様へ ・・・112

会員名簿 ・・・113

広告協賛一覧 ・・・138

奥付 ・・・139

監督文

平成二十八年卒　長谷川　源

皆様、お初目にかかります。いや、「お久しぶりです」といった方がいいのでしょうか。今年度より監督に就任しました長谷川源です。私のことをよくご存じの方々からしたら「あの源が、監督とは世も末だな…」とお思いかもしれません。ぐうの音も出ません。私もそう思います。

こんな私でも何か役立たなければなりませんので、とりあえず、私が振り返られる限りのスキー部のインカレにおける成績の変遷とその要因を考えていこうと思います。学連のサイトから男子の成績を集計してまとめたものを図1に示しました。女子に関しては上位リーグ進出やリーグ再編などが頻繁にあり、集計が単純には行えなかったので今回は考察の対象から外しました。また別の機会に考えてみようと思います。

今回、集計した項目は各部門の獲得ポイント（棒グラフ）、総合得点（▲）、リレー順位（□）、総合順位（○）としました。リレー順位を対象とした意図はポイントでは把握しづらい、ノルディックチーム全体における平均的な走力を反映していると考えたためです。

目につくのは二〇一三年に以降に総合順位、総合得点が大きく伸びている点です。得点の内訳を見るとジャンプ・コンバインドチームの得点が二〇一三年以降特に伸びていっています。この年はジャンプ・コンバインド部門における主要な出場選手が二年生以上の選手で構成された年です。この年以前の学友会スキー部は全体で十数名程度の規模だったため、インカレ出場枠を上級生で埋めるこ

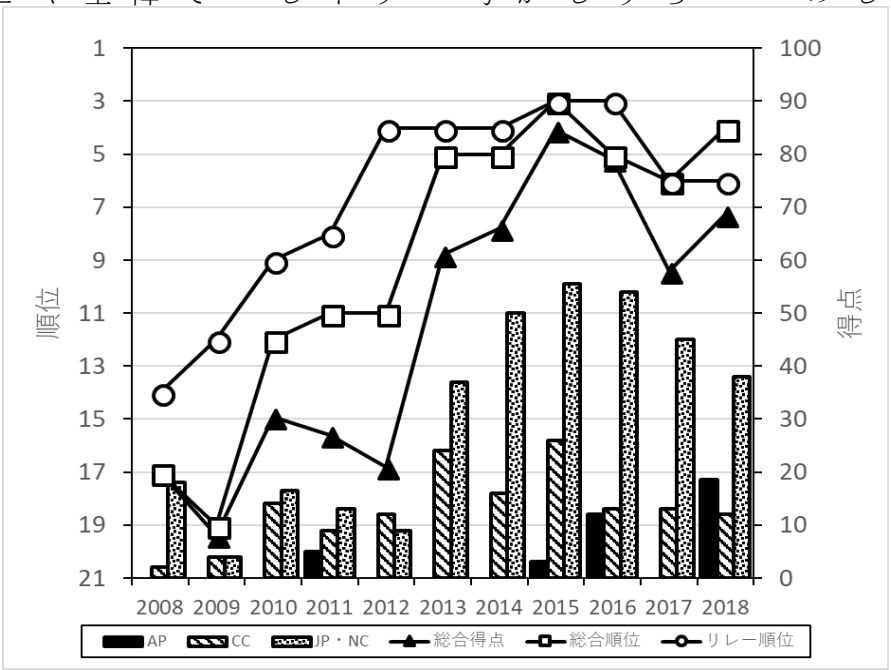


図1　東北大学友会スキー部男子におけるインカレの
各部門得点、総合得点、リレー順位、総合順位

とがほとんどなく、一年生も特に問題がなければ正シードとして出場していました。しかし、二〇一一年あたりから連続して十人程度の新入生がチームに定着するようになり、出場者を選定するほどのソースを得るようになります。その効果が現れたのが、各部門の上級生の人数が出場枠を超えるようになった二〇一三年であったと考えられます。人的ソースが単純計算で二倍（コンバとランの二つ分）であるリレーに関してはそれよりも一年早い二〇一二年から順位が大きく上昇している点もこの考察を裏付けていると思います。

二〇一三年の大躍進以降、得点構成の大部分はジャンプ・コンバインドが担っています。これは、ジャンプが最も経験者の人数が少ないためです。アルペンに関しては各学校に必ずといっていいほどいるのに対して、ジャンプに関しては近年の男子二部においては出場者全体で一～二人程度しかいません。したがって、ジャンプは、ほとんど同じ練習時間を費やした選手同士での争いとなるのです。クロスカントリーもアルペンほどではありませんが、二部においてもポイント枠程度の人数の経験者が存在します。

ここまでの流れから、インカレで結果を出すためには、人的ソースをジャンプ・コンバインドチームにすべて注力すればいいようにも思えますが、それは間違いです。特にランナーチームの存在は欠かせません。

まず安定した得点源の中にリレーがあります。これは高品質なランナーがそろってなければ安定して得点はできません。そして、もう一つ考えられる点として、コンバインド競技の得点力を支えているということがあがられます。コンバインドに参加する選手の中にはクロカンを疎かにする人が一定数存在します。その証拠に、ジャンプ・コンバインドチームにおいてここ数年の中、最も得点した二〇一五年シーズンではジャンプで 15.5 ポイント獲得したのに対して、コンバインドでは 40 ポイント獲得しました。ただ、クロカンを疎かにしてしまうという現象は身内にも起こりえます。そうならないためにも、常にクロカンと向き合っているランナーからのけしかけや、技術的なアドバイスが重要になってくるのです。つまり、オフトレやシーズン中での練習の中ノルディック部門としてどれだけ密に関わりを持てるかにかかっています。私が今まで見てきた印象では、東北大学友会スキー部はこの連携がよくとれていたように思えます。

以上をまとめると、近年のインカレでの成績の上昇は人数の増加によって人的ソースの充実が充実したこと、また、それに伴い出場枠をめぐる部内競争が発生したことがまずあげられました。そして、組織が大きくなっても部門間の連携を密に行うことで練習の質が維持されてきたことが示唆されました。今回は私がコンバチームであったことと、インカレを対象に考えたことからコンバを中心とした見方になってしまいましたが、七大戦などの結果を見ればどのチームも欠かすことのできない存在であり、互いに影響を与えていることに気づかされます。

大きくなったスキー部はこれからさらに変化してゆくでしょう。その中で何を変えて、何を残した方がいいのか。そして，最も現役に近い立場としてどう助言していくか。今からよく考えて、その役割を少しでも担えたらと思います。

インカレ観戦記

インカレ・ジャンプコンバインド観戦記

草原　直樹

【はじめに】

舞台は二年ぶりの開催となった野沢温泉村。到着したのは三月一日の夕飯の時間帯。ジャンプ台まで雪が十分積もっているとの前情報の下、久々の雪不足を心配しない野沢ｉｎであった。三月二日に純飛躍、三月三日にコンバインド競技が開催される。

軽く筆者の自己紹介。まだ４年だが設計活動に専念するという理由で、今年は競技を断念していた草原が、現役メンバーに近い立場から、現場の雰囲気を伝えていきたいと思う。

【試合前】

チームの状況はというと、男子は今年もシード争いがあり、試合前から緊張感は漂っていた。毎年当然のようにシード争いが起こるのはこのチームだけである。数の優位性を質にどのように転換していくのか、試行錯誤して競争力を高めていってほしい。

チームの総合力は、下からの底上げがどれだけあるかが重要だと思う。悔しい思いをした選手達には自分の成長こそがチームのカギだと信じて頑張っていってほしい。

さて、大会は中盤戦。ライバル東大とは総合得点でかなり競っており、ＪＰ・ＮＣは勝敗を左右する重要なターニングポイントであった。万全を期していざ！　といきたいところであったが、病欠で２人ダウンしてしまい、ＪＰ３人・ＮＣ４人で臨むことに。悔しい思いをした選手の来年の活躍に期待したい。そしてこうならないための対策も徹底すべきであろう。

【競技】

純飛躍は異例のナイター開催となった。一部の競技が風で遅れ、いつ競技が始まるのか予想のつかないアップが難しい状況であった。結局競技が始まったのは夕飯の時間も過ぎたころ。公式練習１本後、競技１本と短縮されて行われた。スタートの合図出しは、長谷川新監督。遅い時間にも関わらず、多くの仲間が応援に駆けつけてくれた。

コンバインドは前半ジャンプで東北大勢は躍動。中嶋が３位・稲村が６位の好位置から上位を狙う。１年生の浅野は１５位ポイント圏ぎりぎりからのスタート。圏外の上級生から逃げ切れるか。三竿はウェーブスタート。２年生の意地を見せつけてほしい。女子は竹井が３位から１分前にいる神戸吉川に挑む。そんなドキドキの後半スタートであった。

後半のランは南原クロスカントリーコースで行われた。照り付ける日差しがまぶしい。正直なところ東北大学の板はあまり滑っていなかったように見えた。難しい雪質に転倒者も続出。人生で一番声を出した２０分だったと思う。結果は・・・

【出場選手紹介と結果】

４年中嶋：スペジャンでは経験者が３人揃う中、飛距離で３位、飛形点含めた合計で０．２ｐｔ差の４位でメダルを逃す大健闘を見せる。コンバインドは文句なしの３位表彰台！まじ半端ないって・・・。みんな泣いて喜んだよ。感動ありがとう。

３年稲村：この一年でジャンプ相当成長。スペジャンは公式練習での転倒が響いたか、１４位ポイント。コンバは前半のハイペースで猛追するも、後半に失速してしまった。９位入賞。来年絶対勝ってほしい！

２年三竿：後半が得意な選手。コンバインドに出場。課題は前半のジャンプか。後半のランで巻き返すもポイントはならず。夏のジャンプ練で殻を破ろう！

２年竹井：負けず嫌いの努力家。女子チームが一部所属のため、コンバ限定の参戦で３位に。是非男子負かす勢いで頑張ってほしい。

１年浅野：甘えん坊な一面と非凡な才能を見せつける。コンバインドでは順位を上げて１２位でポイント獲得。夏にチャレンジを恐れずジャンプ伸ばしてほしい。これからの伸びしろに期待大。

【最後に。】

突然のナイター開催にも関わらず、内田屋さんから暖かいおにぎりの差し入れをいただいた。この場を借りてお礼させていただきたいと思います。ありがとうございました。

本当に多くの方々に支えられていることを心に留めて、これからも大活躍してください。応援しています。

シーズンインカレ体験記

インカレジャンプ体験記

稲村　麟

今年でついに最高学年となりました。四年の稲村麟です。この度はジャンプ・コンバインド部門のインカレ体験記を任されました。

まずは２０１６－２０１７シーズンの体験から書いていこうかと思います。自分が二年生の頃のインカレは自分でも思うくらい本当にダメな結果でした。何とか入賞はできたものの、たまたま前日のＰＣＲが採用されたので、他の方には悪い言い方となってしまいますが、ジャンプであまり稼ぐことができなかった自分にとっては天候が味方してくれました。そんな悔しさが残った二年生のインカレですが、このインカレを通して次のシーズンの明確な目標を立てることができました。それは次の三つです。

①　ジャンプの強化

まずは圧倒的にこれです。このシーズンではなんだかんだでジャンプに対する恐怖心がなかなか抜けず、カンテでの踏切から空中姿勢までの良い練習をすることができませんでした。動かないと話にならない競技なので、それができない自分はほかの選手よりもかなり不利な点でした。

②　クロスカントリーにおける技術の向上

これもです。オフシーズンにおけるローラースキーにおいてはある程度は早くはなりました。しかし、ローラースキーは陸上でクロスカントリースキーに一番近い動きができるものの、しっかりとした雪上をイメージした練習をしないと、冬になってしっかりとした滑りができないようなもので、個人的には力でいくらでも速くなると思っております。残念ながら二年生の自分がやっていたのは力で速くなった方でした。またそれに気付かずに、自分はどんどんうまくなっている、これなら他大の選手にも勝てると勘違いしていたものですから、冬に入った瞬間のうまくいかない感じというのは衝撃でした。そこで自分の悪い癖で焦ってしまい、シーズン全体を通して思うような結果を出すことができませんでした。

③　プロの選手の分析

なんだかんだで一番効果があったのはこれなのではないかと感じております。自分で考えてもよくわからないことはプロの選手の動きを見て、分析し、少しでも実行してみること。特に自分の中では渡部暁斗選手、竹内拓選手、小林潤志郎選手などを参考にしてきました。それぞれはかなり違った動きをするのですが、自分の中でここはしっくりくるといったものをいろいろと試して見ました。

といったことを目標にやったわけですが、やはり物事はうまくはいかず、はっきり言うと２０１７－２０１８シーズンは達成度としては５０％くらいです。特に一番目標としていたインカレにて、ジャンプは好調だったものの、クロスカントリーで自分でもどうやって滑っていたかわからなくなってしまい、また、野沢のベシャベシャの雪質にもすぐには対応することができず、結果も惨敗でした。本当に悔しかったです。

ですがやはりインカレはほかの大会とは緊張感も違いました。そのプレッシャーに押しつぶされたのも敗因の一つであると感じております。このインカレを通して自分からあえて言うならば、やはり自分はまだまだであるということです。九大戦でそこそこの結果を残せて、九大勢には勝てるであろうといったことを今思えば考えていた気もします。しかしライバル達はインカレに向けて調整をしてきており、しっかりとそこに合わせて来るあたりで自分はまけていました。終わった今となってはいくらでも言い訳はできますが、目を向けるべきはこの後だとも感じております。今年はどれだけ練習できるのかが分からない状況にありますが、それでもやはり目指すべきはインカレに変わりはないので、精一杯やっていこうと思います。そんなことを考えさせてくれた大会でした。

インカレ体験記（アルペン）

大沼　恭子

女子ＳＧ

２０１８年２月２１日、私はおんたけ２２４０スキー場の頂上にいた。インカレ女子１部の舞台に東北大学の選手として立てたことの喜びを感じていた。なぜなら幼い頃からアルペンスキーに励んできた私にとって、１部で勝負するということはひとつの夢であったからだ。東北大は大学から競技を始める人が多い上、女子部員の数も少ないことからインカレに出れるのが当たり前のように思えてしまうことがあるが、私はインカレに出たくても出れない選手がいることや１部に出たくても出れない選手がいることを知っている。ご存知の人もいるだ

ろうが、インカレのＳＧに出場できるのは男子は１部２部校、女子は１部校だけだ。だからインカレＳＧに出場できることが嬉しかった。

ＳＧはとても大変な種目だ。ＳＧの試合は十分な長さのコースを確保出来なかったり、天気や雪の状況によりキャンセルになることが多く、私は正式なＳＧの試合に出場するのは高校１年生ぶりだった。ＳＧはＧＳとは滑り方も恐怖感も感覚も見え方も違う。だからＳＧの練習環境を求めてたくさん工夫をした。特に、一緒にＳＧに出場した雄斗さんと拓海には大変お世話になった。ＳＧが練習できる環境は本当に少なく、試合前は大変なことも多かったが、憧れのインカレに出場するという目標のためだと思えばがんばれた。おんたけは基本的に中・緩斜面がほとんどだったが、私でも時速７０キロは出るセットで、ジャンプポイントが３箇所あり、非常に恐怖感は強かった。緊張はあまりしていなかったが、恐怖感との戦いで試合中のことはよく覚えていないほどだ。もうわけもわからずひたすらに降りた。滑り終えてもっと早く滑れたはずと思ってしまうような不甲斐ない滑りをしてしまい、本当に悔しかった。それと同時に、１部のレベルの高さを突きつけられ、歯がたたなかったと言えるほどＳＧは悔しかった。しかし、次からはもっとこうしようというビジョンが明確に見えたレースでもあった。その点は次に繋がるという意味でよかったと思っている。また、ＳＧに出場できて感じたことは、私がこのように１部校の選手としてインカレのＳＧに出場するという夢を叶えることができたのは、これまでがんばってきてくださった女子の先輩方・支援してくださった多くの方々のおかげだと心から思う。この場を借りて感謝申し上げたい。

女子ＧＳ

おんたけで行われたＳＧの約１週間後、野沢温泉スキー場にてＧＳとＳＬが行われた。ＧＳの日は天気がとても難しかった。朝は雨と暴風、午前中は霧、昼から晴れ。風と霧が強くてレースは大幅に遅れた。ＳＧで悔しい思いをしたので、技術的なことだけでなく、少なくともＳＧで完敗した選手よりは速く滑ることを意識して試合を迎えた。結果的にはＳＧの反省を活かし、目標を果たせた部分もあった。一方、まだまだというところもたくさんあった。カンダハーコースはウェーブ、斜面変化、雪質、斜度、長さなどどれをとっても難しく、ハードなコースだ。女子のレースの日は、朝はかなり雨が降っていて風も強かったが、１本目のスタート前くらいに止んだため、このまま行けるかと思ったが、２０番くらいの選手からスタートからゴールまで全部霧がかかってしまった。私が滑った時は、１旗門先は見えたが、２旗門先は見えなかった。結果的にそれが逆に良かったのかもしれないし、悪かったのかもしれない。しかし、やはり胸の中を支配したのは、悔しいという感情だ。こんな悔しい思いをもう一度することのないよう、もっともっと上を目指して、シーズンだけでなく、オフシーズンを含め、今まで以上にもっともっと努力しようと思った。

女子ＳＬ

ＳＬは高い気温によって変化する雪質と、レベルの高いセットに苦戦した。コースが長いのはもちろんだが、リズム変化とオープンゲートのインターバルとそれに対するスピードがうまく合わないようになっている複雑なセットが難しかった。１本目は攻めきれず悔しかった。だから２本目はもっと攻めようと思い臨んだが、２本目はリズム変化の対応がうまくいかず、ほぼ静止したに近い滑りがあった。そのときはもう諦めそうにもなった。しかし、ここまでがんばってきて、ゴールで多くの人が応援してくれていると思ったら、どんな滑りだろうとも一生懸命滑ってゴールしようと思った。結果は言うまでもなくとても悔しかった。リズム変化は元々苦手だったため、そこを早急に克服するのが必要だと心から感じている。

このように、１年生の年のインカレはほとんど「悔しい」、この一言に尽きると言っていいほど、自分にとっては不甲斐ない滑りが多かった。しかし、私はレースに出て、１部の選手のレベルの高さを実感して、勉強になったことがたくさんあったし、１部の選手として自分も出場して、１部のレースを経験できたことをとても幸せに思う。残念ながら、次のインカレは２部で戦うことになってしまったが、先輩方にしていただいたように、東北大学を再び１部に昇格させ、私が入賞してそれに貢献するということが、私のいまの最大の目標である。そのためにオフシーズンを含め、これからも練習に励んでいく所存である。

九大戦観戦記

九大戦アルペン観戦記

木村　香穂

２０１７年１２月２８日～２０１８年１月３日に野沢温泉スキー場にて第５７回国立九大学スキー選手権大会が開催されました。アルペンは１２月３０日に大回転、１月１日に回転がカンダハー東コースで行われました。私は昨シーズン、怪我をしてしまったので、大会に出場するのはもちろん、観戦するのも初めてだったため、とても楽しみにしていました。

結果から書くと、

男子大回転

正シード

２位 務台

３位 平澤

７位 栗谷

８位 平山

１６位 長谷川

オープン

３位 池田

男子回転

正シード

１位 平澤

２位 栗谷

５位 務台

２２位 池田

という結果でした。まず東北大の強さを感じ、このような速い人たちと練習して、いろいろと教えてもらえる自分は恵まれているなと改めて感じました。そして、自分も東北大スキー部の強さに貢献できるように頑張っていこうと強く思いました。

女子は、恭子ちゃんが大回転、回転ともに１位というすばらしい結果を収めました。恭子ちゃんの滑りはあまり見られなかったのですが、リザルトを見るとやはり群を抜いて速かったです。私は、大回転が２位、回転が１本目ＤＦでした。回転で完走できなかったのは悔しかったし、大回転も正直運が良かった結果なので、この結果を踏まえて、恭子ちゃんに追いつけ追い越せの気持ちで、もっと練習していこうと思いました。

体験記のような観戦記となってしまいましたが、以上で私の九大戦観戦記とさせていただきたいと思います。

九大戦体験記

アルペン体験記

平澤　拓海

まず、最初に謝ることが一つあります。スラロームのゴールで調子に乗ってしまったことです。観戦している方はご存知だと思いますが、ゴール手前で反転し、後ろ向きでゴールするというかなりイキりとんぺー代表のようなことをしてしまいました。この場を借りて謝罪申し上げます。

さて、ＧＳでは、男子４人、女子は２人ともポイントすることができました！女子はワンツーフィニッシュを決めるという快挙を見せました！

スラは男子３人、女子１人がポイントしました。しかも男女ともに優勝でき、男子はこれもまたワンツーフィニッシュができました！

総合的に見てアルペンに関してはかなり活躍できたと思います。

自分自身に関しては、少し悔しいレースになってしまいました。というのもＧＳで目標の優勝に届かず、３番になってしまったからです。失敗に至った一つの理由は初戦ということでかなりメンタル面で上がってしまったことです。三年ぶりの試合ということもあり、試合の雰囲気に飲まれ普段の滑りができなかったことは一つの反省点でもあります。普段から大会の緊張感を持ちながら練習しなくては。

もう一つは大会前までにＧＳの調子を上げられなかったことです。２０１８シーズンから適応されたレギュレーションでＧＳはＲ３５からＲ３０に変更されました。この変化もありシーズン前半ではＧＳの調子を大会前までにあげることができませんでした。大会までに調子を合わせることも課題となりそうです。

一方スラロームに関してはかなり順調に試合運びをすることができました。一本目からきっちりと滑り、余裕を持った状態で二本目を迎えてきっちりと優勝することができました。

小さいころからスキーを続けてきましたがどんな大会でも結果が出ると嬉しいものです。

ご期待いただいた方、応援していただいた方にはこの場を借りてお礼申し上げます。来年の九大戦でも個人的にもアルペン部門としても活躍できるように努力してまいりますので引き続き応援よろしくお願いします。

九大戦体験記

京都大学農学研究科修士1回　竹重　龍一

このＳＰＵＲが発行されるとき、自分は東北大スキー部のＯＢとなっているであろう。どのような経緯でＯＢである立場の自分に体験記執筆なんてことが決定したかは不明であるが、自分が体験記、しかも九大戦の体験記を書くことになったのには、恐らく自分の奇妙な挑戦（冒険？）のせいであることは間違いないはずである。

なぜ中高大と足掛け7年にも渡って取り組んできたアルペン競技をここにきて一度ストップしてジャンプ・コンバインドに転向したのか。一言だけでいうと「魔が差した」で片づけられるかもしれない。ジャンプへの憧れは小さなころから漠然と抱き続けていたのだが、クロカンについては完全に「魔が差した」としか言いようがない。どうせノル転するならばクロカンやってもいいかもっていう軽い気持ちで「コンバの竹重」は誕生したのだ。

１５ｋｍフリー

今までは観戦する側で「ものすごく過酷で大変そうだな」と思っていたクロカンだったが、シーズンが始まりクロカンの大変さを嫌というほど思い知らされ、正直に言うと１５ｋｍという距離を「走りたい」と感じたことは皆無であった。実際、九大戦までレースペースで１５ｋｍを走ったことが無かったので、完走できるかどうかすら未知数であった。しかしながら実際にレースが近づいてくると奇妙なやる気がむくむくと湧いてくる。ノルディック1年生として2・3年生の上級生を抜きたい、そして1年生の同期には負けてなるものかというやる気であった。

レース中はペース配分を考えること・ゆったりとした大きなフォームで動くことの2つを意識していた。自分のすぐ後ろからスタートしたのがコンバ1年生の浅野颯太君であったが、彼とはＴＴの結果等でもほぼ互角だったので勝ちたいと思っていた。1周目彼が途中で抜いてきたがその直後に転倒し、僕が前に出て2人で走っていた。2周目になると登りで彼に抜かれ追う展開に。差をあまり付けられないよう付いていった。ランナー3年の小泉慶次郎君の背中を2人で追いつつ団子で進んでいた。４ｋｍポスト付近の下りに差し掛かると颯太が他大の1年生にバンフライをかけた。僕も続けてバンフライをかけたが、下り坂で他大の選手は板操作がうまくいかず、板をひっかけられてしまった。そのままカーブを曲がり切れずに転倒したが、横を見ると颯太もすぐ近くでもがいている。二人そろって仲良く同じ場所で転倒したわけであ

ったが、最悪な場所であった。コース脇の崖で圧雪など当然入ってなどいない。もがくほどに体は雪に沈んでいった。二人してなんとかコースによじ登ることに成功したが、残念ながら僕の板はビンディングが完全に壊れて再起不能に陥ってしまった。ＤＦするかどうか、どれくらい悩んだであろうか。転んだ場所付近にはちょうど関門員が配置されておらずしばらく葛藤は続いた。その時だ。トレーニング中の女子大生（後に慶応大学の２年生と判明）が声をかけてくれて、板を快く貸してくれた。彼女が天使に見えた。こうなったら何が何でも完走する。その一心で走り抜き無事にゴールすることができた。不完全燃焼なレースであった。

男子ジャンプ・コンバインド（前半）

今回のコンバインド競技はマススタート方式で行われた。そのため前半が５ｋｍフリー、後半がジャンプであった。僕にとっては初めてのマススタート、スタートでトラブルに巻き込まれることなく上位陣についていくということを意識してスタートに立った。レースがスタートするとすぐ横で京大２年の山田がポールを折っているのが見えた。自分はそうならないようにしなければと他の選手と交錯しないように気をつける。スタートしてグランドを抜けた段階ではトップ集団の尻に付くことが出来て計画通りだった。一つ目の坂に差し掛かると多くの選手がクイックで脚を広げて坂を登るわけだが、３年生の稲村が九大３年の田中と交錯・転倒して板が外れていて、その稲村を避けて進路を変更した所で今度は僕が田中と交錯して転倒、更には板が外れるというアクシデントに見舞われてしまった。すぐに板を付けるが焦ってしまいジタバタするばかり。一度深呼吸をして板を付けたが、大部手間取ってしまって先頭集団からは完全に脱落してしまった。板を付けるとすぐに彼らに追いつこうとペースを上げた。しかし中々彼らとの距離は縮まらず、焦る気持ばかりが募り無駄に体力を消費してしまった。１周目３ｋｍが終わるといつも以上に疲労がたまっているのを感じたが、前との距離は多少縮まっていた。しかしながらグランドを抜けて坂に差し掛かると明らかに体が動かない。自分の体が重くてたまらない。辛い。坂を何とか登り切ったが前との距離は開いてしまった。上のグランドでは呼吸を整えて大きく動くことを意識して進んだが、体がどんどん重くなっていった。今まで攻めていて練習等でも苦に思ったことなどない下り坂であったが、差し掛かると背筋が効かなくて細かな起伏に対応できず脚が笑う。今まで感じたこともないような視野が狭まっていく感覚にも襲われた。何とか耐えて転倒はしなかったが、次の登りでは完全に脚が動かなくなった。そして、そこで視界がほぼ消えた。その後どうなったのか、記憶があやふやである。何が何でもゴールしなくてはとい強い気持ちだけは覚えている。途中転倒するたびに何人かに抜かれたのは覚えている。気がついたらゴール横で倒れていた。呼吸が苦しくて、持病の喘息の発作っぽくなっていてすぐに吸入機を吸引した。

その次に目が覚めたら数人に囲まれてゴールハウス内にいることに気がついた。結果は聞かなくても分かる。惨憺たるものだった。今までＴＴで負けたこともない人たちに負けた。悔しかったが、それ以上に無事にゴールしたことに心底安心した。自分の体質にクロカンは合っていないのだと思い知らされてとても悲しかった。コンバでポイントすることを狙っていたが、清々しいほどポイント圏外になってしまったので次のジャンプでは思いきって飛ぼうとだけ考えることにした。

男子ジャンプ・コンバインド（後半）・純飛躍

ジャンプ競技の日、天気は大雪だった。朝からの大雪で競技開始時間はどんどん遅れた。すでにウォーミングアップを済ませていた選手一同は控室で待機させられていたが、時間が経つにつれて状況は悪化の一途を辿った。中止になるだろうと思い選手同士で雑談をしていたが、競技委員は何としてもやるという決断を下し、小康状態になったところで選手は招集されジャンプ台に向かった。外に出て最初に思ったことは雪強い、ただそれだけであった。ジャンプ台整備を終えいよいよジャンプをするという段で選手一同には本日の競技が試技１本・コンバジャンプ１本・スペジャン１本の順番で計３本行われることが通告された。コンバインドではすでにポイント圏外に転落し、スペジャンでのポイントに賭けていた僕にとってこの順番はとても有難かった。コンバジャンプも試技だと思って飛べばよい、そう思って落ち着いた精神状態を保つことができた。

試技。アプローチに雪がつもり、板が詰まってスピードが出ない。前日の練習で５０ｍ飛んでいたテストジャンパーの東大ＯＢ山本さんが３５ｍ位しか飛んでいない。スタートがどよめいた。その後に飛んでいく選手たちも軒並み飛距離が出ない。自分も例外ではなかった。公飛では３３ｍ程飛べていたが、２５ｍ程。アプローチを滑っていても明らかにスピードが出ておらず、踏み切ったらすぐにランバンに着地してしまった。あまりにも飛ばなくて笑ってしまうほどだった。だが公飛では着地後すべて転んでしまっていたのに対して、今回は転ばなかったので、そこは一つ大きな安心要素であった。

コンバインドジャンプ。試技の後半になってくるとアプローチの雪が掃けてきて飛距離が伸び始めていた。コンバインドジャンプが始まるとアプローチの状態はかなり良くなってきて、選手も公飛と同じくらいの飛距離を飛ぶようになってきていた。ここからが文字通り本番だ。階段を昇りながら今までのジャンプで確認した改善しなくてはいけないことを一つ一つ思いだす。その中で一つだけ、長く地面を踏み続けるということを意識してスタートに座った。自分を鼓舞するつもりで大きな声で「お願いします」といった。スタートしてＲ・Ｔと過ぎていき、カンテで踏切。明らかにタイミングが早くてカンテに力が伝わり切らなかったのが分かった。３１メートル。飛距離は出なかった。ジャンプ

の順位だけで行ったら１３位。スペジャンで考えたらポイント圏外だ。だが不思議と焦りは感じなかった。自分にとってこの１本は練習であった。次の一本でうまく行けばよい。

スペシャルジャンプ。階段を昇っているときにふと思い出した。そういえば二本のジャンプを跳んでいた時に指先への意識を忘れていた。自分はジャンプの調子が良いとカンテで手の指先がスタート方向を向くのだが、調子が悪くなるとその指が下を向く。スペジャンの時はそこをしっかり意識しようと思ってスタートに座った。いつも通り「お願いします」と声をだしスタートする。アプローチで前に乗り込む・Ｒで尻が引かれないように前方向へ意識を集中する・Ｔでレールに力が加わっていることを確認する・カンテで手の意識・踏切。今度はカンテに力がしっかりと伝わったのが分かった。ジャンプの高さも出たのを感じた。着地。３３メートル。ベストは尽くした。現時点で１０位、後は後続の京大２年の山田次第だ。山田が飛ぶのを見つめる。自分が飛ぶとき以上にドキドキした。スタート、着地。３０ｍ程で落下。３０ｍという放送。勝った。ヘタヘタと地面に座り込んだ。喜びが全身を駆け巡る。４年間欲しくて欲しくてたまらなかった九大戦のポイント。ポイントを獲る本当の最後のチャンスでようやく1ポイントもぎ取った。長かった。アルペンで取れなかったポイントをジャンプで取ったのは嬉しいと同時に少し寂しかった。だがそれも含めて自分の選択。この一年、インカレに出られないと分かった時からこれを目標に過ごしてきていた。４年間スキーして泥臭くもぎ取った1ポイント。本当に本当に些細なポイントだけど、この４年間が少し報われたような気がした。

リレー（オープン３走）

リレー競技。アルペンやっている人ならみな共感できるだろうが、ノルディックのリレーはとてもカッコいい。普段クロカンなんてやりたくもないと思っていてもリレーだけはやりたいなって思うことなど多々ある。そのリレーに自分が出場することが出来る。しかもちゃんとノルデイックの一員として。なんと嬉しいことだろう。前日のミーテングでチームが発表されたが、自分のチーム名は「余りもの」。なんとまあテキトウな名前だろうか。こんな名前のチームだし、全然期待もされていないのは分かりきっている。今までのクロカンのレースでは満足いくようにゴールしていなかったので、自分の目標は無事にゴールすることであった。

レースがスタートした。僕の前を走るのは細井。彼からバトンを引き継ぎゆったりと大きなフォームで走ることを意識する。一つ目の坂で阪大２年コンバの井筒の背中が見えた。基本的に彼のペースは自分には遅すぎるが、登りで上げすぎないことを意識してあえて彼の真後ろについて滑る。登りきった平地で一気にペースを上げて井筒を抜き去りそこからは一人旅。その後も平地・下りはある程度攻めて登りでセーブするという滑りをして最後の登りに差し掛かった。体力的に余裕もあり、最後くらいは本気で滑ろうと思ってペースを上げた。グランドには

結構良いスピードで突っ込んだと思う。４走の稲村君が見えたところでさらに力を出した。彼の背中にタッチした。無事に完走することができた。かなり体力的に楽だったのにもかかわらず、タイム的にはそんなに悪くない。コンバ前半でもこれより少し追い込んだレースをすればちゃんと完走できただろうなと思った。心地のよい疲労だった。

リレーを走り切ったことによって自分の４年間の九大戦は終わった。気がついてみたらクラシカル以外のすべての競技に出場したことがあるという妙な状況になっていた。１１位が３回あって、この４年間でもぎ取ったポイントはわずか１ポイント。最後の最後でようやく真の意味で「東北大の九大戦勝利」に貢献することができた。主将として優勝トロフィーを受け取ったとしても、何もできなかった自分を本当にもどかしく思った去年の九大戦、あの気持ちはずっと忘れられなかった。今回の九大戦を終えて４年間競技を続けてきてよかったなと素直に思うことができた。

平成 29 年度　成績表

第 57 回国立九大学スキー選手権大会					
野沢温泉スキー場					
男女総合 1 位　男子 1 位　女子 1 位					
男子 SL					
正シード	順位	名前	1 本目	2 本目	合計
	1	平澤 拓海	0:22.05	0:20.21	0:42.26
	2	栗谷 京生	0:23.82	0:20.81	0:44.63
	5	務台 雄斗	0:24.85	0:22.11	0:46.96
	22	池田 翔	0:34.61	0:31.39	1:06.00
	DF	平山 悠暉			
	DF	長谷川 就	0:29.80		
女子 SL					
正シード	順位	名前	1 本目	2 本目	合計
	1	大沼 恭子	0:27.16	0:24.13	0:51.29
	DF	木村 香穂			
男子 GS					
正シード	順位	名前	1 本目	2 本目	合計
	2	務台 雄斗	0:23.98	0:23.72	0:47.70
	3	平澤 拓海	0:23.94	0:24.33	0:48.27
	7	栗谷 京生	0:25.26	0:24.31	0:49.57
	8	平山 悠暉	0:25.14	0:24.71	0:49.85
オープン	順位	名前	1 本目	2 本目	合計
	3	池田 翔	0:30.69	0:29.28	0:59.97
女子 GS					
正シード	順位	名前	1 本目	2 本目	合計
	1	大沼 恭子	0:25.53	0:25.63	0:51.16
	2	木村 香穂	0:29.30	0:29.22	0:58.52

男子 15km FR				男子 10km CL		
正シード	順位	名前	タイム	順位	名前	タイム
	6	小柴 黎斗	0:47:02.8	6	原 一貴	34:59.6
	8	中嶋 成佳	0:47:37.6	8	森田 陽	35:31.9
	9	原 一貴	0:47:54.3	9	小柴 黎斗	35:36.5

	10	串田 拓也	0:47:54.4	12	串田 拓也	35:50.6
	14	稲村 麟	0:49:43.6	17	小泉 慶次郎	37:34.6
	15	森田 陽	0:49:52.5	18	手塚 尚吾	37:40.5
オープン	順位	名前	タイム	順位	名前	タイム
	1	高野 祥徳	0:51:27.5	1	高野 祥徳	38:59.4
	2	手塚 尚吾	0:51:57.6	2	正橋 遼	44:13.1
	3	小泉 慶次郎	0:53:02.4	3	細井 拓真	46:39.2
	4	浅野 颯太	0:54:58.9	4	白木 悠大	49:59.7
	5	新海 孝洋	0:56:07.6			
	6	正橋 遼	0:58:40.7			
	7	三竿 洋太朗	0:59:19.0			
	8	細井 拓真	1:00:36.8			
	9	石原 拓実	1:01:32.2			
	10	竹重 龍一	1:02:14.4			
	11	白木 悠大	1:05:37.7			
女子 10km FR				女子 5km CL		
正シード	1	及川 絵梨	0:34:52.9	3	及川 絵梨	19:24.6
	10	竹井 しのぶ	0:42:24.1			
男子純飛躍				女子純飛躍		
	順位	名前	得点	順位	名前	得点
	2	中嶋 成佳	85.8	2	竹井 しのぶ	-4.3
	8	稲村 麟	50.1			
	10	竹重 龍一	36.9			
	11	浅野 颯太	32.3			
	12	新海 孝洋	31.7			
	DS	三竿 洋太朗				
	DS	石原 拓実				

男子複合					
	順位	名前	クロスカントリー	ジャンプ	合計
	1	中嶋 成佳	19:33.0	48.0	294.4
	5	稲村 麟	20:50.9	37.5	243.5
	10	浅野 颯太	21:55.5	32.0	209.4
	13	新海 孝洋	22:32.1	32.0	195.3
	14	竹重 龍一	24:35.8	31.0	164.1
	DS	石原 拓実	26:25.6		

	DS	三竿 洋太朗	24:58.1		
女子複合					
	順位	名前	クロスカントリー	ジャンプ	合計
	2	竹井 しのぶ	13:03.1	20.0	190.7

男子 5km×4 リレー							
正シード	順位	タイム					
	1	東北大学	1:13:54.8				
		森田 陽	19:57.4				
		原 一貴	19:00.0				
		小柴 黎斗	17:23.0				
		中嶋 成佳	17:34.5				
オープン	順位	名前	タイム	オープン	順位	名前	タイム
	1	東北大学 B	1:24:52.17		2	東北大学 A	1:25:14.28
		手塚 尚吾	21:51.5			小泉 慶次郎	20:50.1
		高野 祥徳	24;01.0			正橋 遼	22:32.9
		石原 拓実	21:09.4			新海 孝洋	22:04.5
		浅野 颯太	17:50.4			三竿 洋太朗	19:46.8
	3	東北大学 C	1:32:08.22				
		白木 悠大	25:37.8				
		細井 拓真	25:06.5				
		稲村 麟	20:58.1				
		竹重 龍一	20:25.9				

女子 3km×3 リレー			
正シード	順位	タイム	
	4	東北大学	0:53:53.0
		及川 絵梨	13:49.34
		竹井 しのぶ	15:27.42
		大沼 恭子	24:36.19

秩父宮杯・秩父宮妃杯　第 91 回全日本学生スキー選手権大会
アルペン：野沢温泉スキー場　カンダハーコース クロスカントリー：南原クロスカントリーコース ジャンプ：野沢温泉シャンツェ
男子 2 部 4 位　女子 1 部 14 位

男子 2 部 SL				
順位	名前	1 本目	2 本目	合計
10	山下 毅	54.73	58.98	1:53.71
34	三崎 貴瑛	1:18.81	1:04.71	2:23.52
DF	平澤 拓海			
DF	務台 雄斗			
DF	平山 悠暉			
女子 1 部 SL				
34	大沼 恭子	1:04.94	1:06.16	2:11.10
DF	秋山 悠歩			
男子 2 部 GS				
4	平澤 拓海	1:04.24	1:02.71	2:06.95
32	三崎 貴瑛	1:07.73	1:07.52	2:15.25
51	務台 雄斗	1:10.22	1:10.26	2:20.48
70	長谷川 就	1:16.40	1:18.57	2:34.97
DF	平山 悠暉			
女子 1 部 GS				
41	大沼 恭子	1:14.89	1:15.14	2:30.03

男子 2 部 10kmFR		
順位	名前	タイム
14	石井 顕徳	25:54.5
25	森田 陽	27:32.1
28	原 一貴	27:50.9
DS	小柴 黎斗	
DS	串田 拓也	

男子 2 部 15kmCL		
順位	名前	タイム
21	原 一貴	53:28.4
26	森田 陽	54:59.3
33	手塚 尚吾	58:56.3
38	小泉 慶次郎	1:00:21.4
41	高野 祥徳	1:00:48.3

女子 1 部 5kmFR		
25	及川 絵梨	15:38.3

女子 1 部 15kmCL		
28	及川 絵梨	1:01:38.8

男子 2 部スペシャルジャンプ		
順位	名前	得点
4	中嶋 成佳	67.6
14	稲村 麟	36.5
16	浅野 颯太	16.5
DS	石原 拓実	
DS	新海 孝洋	

男子 2 部コンバインド 5km			
順位	名前	ジャンプ　得点	クロスカントリー　タイム
3	中嶋 成佳	65.8	16:09.7
9	稲村 麟	50.3	18:01.0
12	浅野 颯太	28.2	17:49.0
20	三竿 洋太朗	-32.7	19:25.3
DS	新海 孝洋		

男子 2 部 5km×3 リレー		
順位	名前	タイム
6	東北大学	47:09.5
	森田 陽	15:12.3
	原 一貴	16:42.6
	石井 顕徳	15:14.6

第 38 回全日本国公立大学スキー選手権大会					
白馬岩岳スキー場					
男子 1 位　女子 1 位					
男子 SG			女子 SG		
順位	名前	タイム	順位	名前	タイム
2	山下 毅	40.81	8	大沼 恭子	44.93
16	平山 悠暉	43.30	DS	木村 香穂	
39	竹重 龍一	46.60			
44	長谷川 就	47.72			
51	池田 翔	49.63			
53	藤野 寛司	50.20			
DS	平澤 拓海				
DF	務台 雄斗				

男子 SL				
順位	名前	1 本目	2 本目	合計
1	山下 毅	48.45	51.00	1:39.45
14	長谷川 就	59.39	57.22	1:56.61
DF	務台 雄斗			
DF	平山 悠暉			
DF	池田 翔			
DF	藤野 寛司			

女子 SL					
4	大沼 恭子	55.77	57.29		1:53.06
DS	木村 香穂				

男子 GS			女子 GS		
順位	名前	タイム	順位	名前	タイム
1	山下 毅	46.44	2	大沼 恭子	49.34
7	務台 雄斗	47.75	DS	木村 香穂	
26	長谷川 就	53.85			
40	竹重 龍一	57.72			
44	藤野 寛司	59.99			
46	池田 翔	1:00.33			
DS	平澤 拓海				
DF	平山 悠暉				

男子スプリント		女子スプリント	
順位	名前	順位	名前
3	森田 陽	1	及川 絵梨
5	小柴 黎斗	2	竹井 しのぶ
9	浅野 颯太		
10	原 一貴		
12	稲村 麟		
13	小泉 慶次郎		
15	手塚 尚吾		
17	高野 祥徳		
23	三竿 洋太朗		
27	細井 拓真		
30	正橋 遼		
31	石原 拓実		
36	白木 悠大		
DS	串田 拓也		
DS	竹重 龍一		
DS	新海 孝洋		

男子 15kmFR			男子 10kmCL		
順位	名前	タイム	順位	名前	タイム
4	森田 陽	47:54.9	5	原 一貴	36:11.5
7	原 一貴	48:55.9	6	森田 陽	36:13.6

8	稲村 麟	51:10.6	8	手塚 尚吾	38:34.7
12	浅野 颯太	53:31.9	11	小泉 慶次郎	40:17.9
13	小泉 慶次朗	53:37.1	15	高野 祥徳	42:31.1
14	小柴 黎斗	54:08.3	24	白木 悠大	48:24.7
16	三竿 洋太朗	55:46.5	25	細井 拓真	49:05.7
21	高野 祥徳	56:21.7	27	正橋 遼	51:23.7
24	手塚 尚吾	57:28.9	DS	串田 拓也	
27	正橋 遼	1:01:58.4	DS	小柴 黎斗	
29	石原 拓実	1:04:18.7			
32	白木 悠大	1:06:36.8			
37	細井 拓真	1:08:53.6			
DS	新海 孝洋				
DS	串田 拓也				
女子 10kmFR			女子 5kmCL		
1	及川 絵梨	37:21.7	1	及川 絵梨	19:48.1
3	竹井 しのぶ	42:11.9			
男子リレー　5kmFR×4					
順位	名前	タイム			
2	東北大学	1:03:24.0			
	森田 陽	15:34.7			
	原 一貴	15:23.8			
	稲村 麟	16:38.4			
	串田 拓也	15:47.1			
順位	名前	タイム	順位	名前	タイム
6	東北大学 OP2	1:19:56.5	7	東北大学 OP1	1:21:30.6
	新海 孝洋	16:12.7		稲村 麟	17:15.8
	三竿 洋太朗	20:17.1		小泉 慶次郎	19:08.4
	浅野 颯太	17:41.7		竹重 龍一	17:49.0
	石原 拓実	25:45.0		正橋 遼	27:17.4
9	東北大学 OP3	1:24:37.6			
	白木 悠大	17:22.8			
	細井 拓真	19:55.4			
	高野 祥徳	18:55.5			
	手塚 尚吾	28:23.9			
女子リレー　3km×3					

2	東北大学	49:03.8	
	竹井 しのぶ	13:55.8	
	大沼 恭子	22:37.4	
	及川 絵梨	12:30.6	

平成 30 年度合宿予定

アルペン

１２月８日～１２月２７日	蔵王合宿
１２月２８日～1月３日	九大戦
1月週末、２月	蔵王合宿
２月１８日～２月２３日	インカレ
３月３日～３月７日	全日本国公立大学スキー選手権大会

ランナー

１２月２日～１２月２４日	北海道合宿
１２月２１日～１２月２３日	全日本学生チャンピオンスキー大会
１２月２８日～1月３日	九大戦
1月１９日～1月２０日	国体予選
２月上旬～２月下旬	白馬合宿
２月１９日～２月２３日	インカレ
３月３日～３月７日	全日本国公立大学スキー選手権大会

コンバインド

１２月３日～１２月２１日	北海道合宿
１２月２８日～1月３日	九大戦
1月	国体予選
２月	鹿角合宿、白馬合宿
２月１８日～２月２３日	インカレ
２月末	白馬合宿
３月３日～３月７日	全日本国公立大学スキー選手権大会

部長・監督紹介

風間　聡　部長

　お忙しい中、部長としてスキー部のために尽力して頂いております。今後ともご指導よろしくお願いいたします。

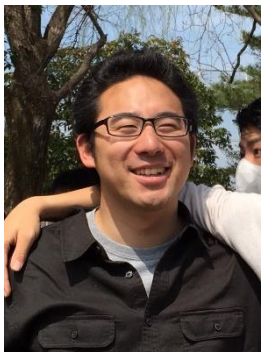
青木　俊明　副部長

　お忙しい中、副部長としてスキー部のために尽力して頂いております。今後ともご指導よろしくお願いいたします。

安食さんご夫妻

　ヒュッテの管理人をしていただいております。夏合宿やアルペンの冬合宿のコーチもしていただいております。

　はるくん、あのんちゃんは仲良く元気に過ごしています。



長谷川　源　監督

　今年より監督としてお世話になっております。お忙しい中、スキー部の事を気に掛けて下さいます。今後ともよろしくお願いいたします。

一年生

碓氷　愛
アルペン

いろんなスポーツやってるみたい…？

榮治　智之
アルペン

笑顔がかわいい。

岡田　拓歩
ラン

最近面白いらしい…？

小林　幹太
ラン

鯖。サバ。

志関　弘平
アルペン

アルペンのでえベテランだぁ。

清水颯太
アルペン

竹重さんの直属の後輩。

神藤　裕哉
コンバ。

メガネがすごい似合う。

橘　紀昌
ラン

バナ。せんぱぁぁい。

林　直志
コンバ

クール。1年のリーダー感ある。

濱地　峰史
アルペン

麻雀やるみたい。

保達　洋
アルペン

法律のことならおまかせ

二年生

浅野　颯太
コンバ

暇人。ポッキーにいさん

池田　翔
アルペン

チャンカワイ。ナイーブ。

石原　拓実
コンバ

みやぞん。ピュアボーイ。

大沼　恭子
アルペン

ミス・ドフラミンゴ。

島田　菜理沙
コンバ

してぃがーる。うっす、うっす！

白木　悠大
ラン

登山家。おばあちゃん。

高野　祥徳
ラン
デコひろし。
寝ぶっち。

手塚　尚吾
ラン

チョコボーイ手塚。
変態野球坊主。

平澤　拓海
アルペン
VS つよしさん。
割と真面目

藤野　寛司
アルペン

2 浪丸。癖が凄い

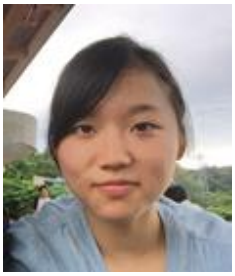
細井　拓真
ラン

ダニエル。ダニエルって誰だよ

三年生

青木　佑海
マネージャー

かわいい。
ごめんバイト



竹井　しのぶ
コンバ

ぽにょ

秋山　悠歩
アルペン

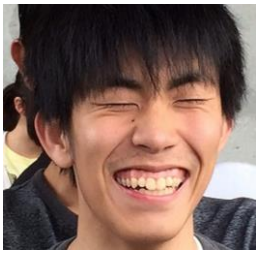
ハスラー使い。

古畑　和樹
ラン

家主。たまり場。

木村　香穂
アルペン

抜けない青森弁。
んだんだ。



正橋　遼
ラン

シークレットレア

串田　拓也
ラン

てにぶ。
Say Hello.

松尾　優太郎
ラン

マイケル。
よくアスる。

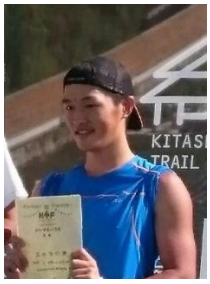
新海　孝洋
コンバ

おごられ屋。
うるさい。

三竿　洋太郎
コンバ

ヨーロピアン。
あ〜〜

四年生



石井　顕徳
ラン

どんちゃん。

稲村　麟
コンバ
はな、ハナ、鼻。
ダルがらみ帝王

及川　絵梨
ラン

女帝

栗谷　京生
アルペン

清宮幸太郎

小泉　慶次郎
ラン

いいやつ。
ぷんぷく侍

小柴　黎斗
ラン

怪人前歯

長谷川　就
アルペン

しゅしょう。ちゅうえい。

原　一貴
ラン

ぼっちーふ。
狂人

平山　悠暉
アルペン

高速マイペース。
割と破天荒。

務台　雄斗
アルペン

弟。Bigboy
夏に引き締まる

森田　陽
ラン

チョモンティー・
チョモンティー

山根　萌
アルペン

NHK 教育

吉田　圭
コンバ

バイト戦士

平成 29 年度・３０年度前期スキー部活動報告

▽第 57 回国立九大学スキー選手権大会@野沢温泉スキー場

男女ともに優勝！男子は昨年敗れた東大にリベンジすることができました。
今回は久しぶりに雪に恵まれた大会でもありました。

▽第 91 回全日本学生スキー選手権大会@野沢温泉スキー場

シーズンの目玉、インカレは男子２部４位、女子１部１４位という結果でした。たくさんの応援ありがとうございました。更に上を目指していきます！

▽全日本国公立大学スキー選手権＠白馬岩岳スキー場

シーズン最後の大会、女子が順位を上げ、男女ともに優勝することができました！

▽新歓合宿＠山形蔵王温泉スキー場

今年は残念ながら天気が悪く、アルペンはできませんでしたが盛り上がりました！ここからがんばりましょう～

▽初ジャン@田山

毎年ここで数名がメンタルをやられてしまいますが、今年はみんなすんなり飛んだみたいです。期待できます！！

▽夏合宿@山形蔵王温泉スキー場

暴風雨！！よくここまでたどり着けたと思うほど…さすがの手塚君もこの寒さで上裸になるのは諦めたようです。今年はイベント時の天気運がいまいちかもしれません。

幹部文

現在のスキー部とこれから

主将　新海孝洋

三月に幹部交代式が行われ、新体制となりました学友会スキー部ですが気が付けば夏に差し掛かりシーズンに対しての焦りを感じております。部内の現状につきましては、一年生が一〇人入部し部員数は四〇人近くとなりました。二年生は冬を経て逞しくなり活気づいており、三年は幹部学年となり緊張感を持って励んでおります。また四年生も競技を行う人が多く実力や助言で部を見守っています。このようにこれからも勢いのある部活となっていくと思います。

スキー部は現在、部門が三つあり部門ごとの練習が主となっております。これについてはアルペン、クロスカントリー、コンバインドそれぞれで必要な練習は異なるため、当然そうなると思います。そして練習の内容自体は各部門の信頼できるチーフがいるため充実したものとなっています。しかしながらお互いの内情を知る機会が薄れており、これからは部員それぞれが他部門を知りお互いに尊重しあう意識が必要になってくると感じています。

今年、主将となった私が行うべきことはＯＢ・ＯＧの方々と主体的に関わっていくことです。我々は山形県蔵王にある萩雪ヒュッテ、長野県白馬の絆などＯＢ・ＯＧの支えがあり、はじめて活動できます。これらは先代の先輩方が時間、労力をかけて築き上げてきたものです。また支援の裏には結果、および活動の報告が義務付けられています。日ごろから見守ってくださる方々はもちろんのこと現在疎遠になってしまった方々にも活動を知っていただきたいと思っております。今よりも親密に関わることにより、双方にとってプラスになるような関係が築け、東北大学スキー部はより繁栄することが期待できます。

練習面では先ほど述べたとおり基本的にはチーフが行うので、自分が意識することはいかに楽しく練習するかだと思います。そうすることで一年生にとっての道筋のようなものを見せることができるのではないかと思います。また、精神的な面でいうと悩んでいる一年生には同じ目線でアドバイスをすることを心がけます。

九大戦を六連覇しているスキー部ですが、今年も必ず優勝しインカレでも男子は去年よりも上の順位、女子は一部昇格をめざし励みますのでＯＢ・ＯＧの方々変わらぬ応援、ご支援よろしくお願いいたします。

アルペンチーフとして

アルペンチーフ　木村香穂

今年度アルペンチーフを務める木村です。私は、アルペンのみんなには、自分の目標を達成してほしいと思っています。みんな各々目標があると思います。目標を達成するためには、今自分がするべきことは何かを考えて、それを確実にやることが大切だと思います。目標は人それぞれ違うので、やるべきだと思うことも違うと思います。それが部活での練習かもしれないし、そうじゃないかもしれないけれど、私はチーフとして、部活で練習したいと思っている人が、練習したいときに練習したい分だけ、練習できるように、練習の機会をたくさん作ります。そして、みんながそれぞれの目標を達成することで、アルペン全体としてさらに強いチームになっていければ良いです。

あと、私はこの2年間で大きめの怪我をしがちでした。怪我をすると元も子もないので、今年こそは怪我をしないようにしたいし、ほかの人にも怪我をしないでほしいので、怪我には気を付けて練習します。

アルペンチーフとして自分がするべきことを考えても、まだ探り探りだし、できないこと、できていないことがたくさんあると思います。私は経験者でもなければ、速いわけでもないし、人間的にも正直チーフという器ではありません。でも嬉しいことに私は、先輩と後輩に恵まれているので、みんなに助けてもらいながら頑張っていきます。

チーフとして

ランナーチーフ　串田拓也

まず初めに、今年のランナーチームの目標を挙げたいと思います。九大戦での目標は個人種目でメダルを獲ること、リレーで優勝（3連覇）することです。インカレでの目標は個人種目でポイントを獲ること、リレーで3位以内にはいることです。全国戦での目標は個人種目でメダルを獲ること、リレーで優勝することです。少し長くなってしまいましたが、今、挙げたことを全て達成することが今年のランナーチームの目標です。チームとしては、インカレで結果を出すことを一番の目標とし日々の練習を行っています。インカレでの目標達成のためには、九大戦での個人種目でメダルを獲得ことが一つの目安になると感じています。ここ数年間、ランナーチームは九大戦で個人種目でのメダル獲得

から遠ざかってしまっているので、まずは初戦である九大戦で結果を出し、いいスタートを切りたいと考えています。

僕がチーフとして出来ることは、当たり前のことではあるのですが、可能な限り練習に参加することです。周りのチームメートから「あの人（あいつ）が頑張ってるから、自分も頑張ろう。」と思ってもらえるように、練習にまじめに取り組む姿勢をみせて周りにプラスの影響を与えられればいいなと考えています。東北大のランナーの良さは様々なスポーツ経験を持った部員同士が、チーム内で学年に関係なく（もちろん適度な上下関係を保った上で）課題についてお互いに議論し合い、自分たちなりに改善点や修正点を見つけられるところにあると感じています。大学生になってクロカンを始めた人がほとんどを占めるチームだからこそ、自分の頭で考えてそれを言葉にして周りのチームメートと共有していくことが、チーム全体としての成長につながっていくと感じています。だからこそ、チーフとしては練習の度に、出来るだけ多くの部員とコミュニケーションをとって、一人一人がどんな課題をもってどんな状況にあるのかを把握し、次のステップに進められるような質問を投げかけること、少なくとも自分の頭で考えていることを言葉にする機会を作ってあげられるようにしていきたいと考えています。

去年までのランナーチームを見ていて少し気になることは、チームの団結力が足りていないということです。クロスカントリースキー競技は個人種目ではありますが、練習や合宿生活を一人で行うには限界があります。他の現役部員やＯＢ・ＯＧの方々の助けがあるからこそ、今こうして東北大学の名で競技を続けることができています。部員各々が「一人では競技が出来ない」ことを自覚して、自分一人だけでなく周りに目を向けられるように意識してほしいです。結果を出すためには、（特にリレーの場面で）チームとしての団結力が不可欠です。たとえレースに出場できなくとも、出場する選手を全力でサポートし、出場する選手はそれに全力で応えようとする関係性が築けるようにみんなで練習頑張っていきましょう。

最後に後輩と先輩に一言述べて終わりにしたいと思います。まずは一年生。部門決定がまだで何とも言えませんが、この一年間がむしゃらに頑張ってください。正直、冬に入ったら辛いことの方が多いかもしれませんが、なんとか楽しみを見つけて一年間耐えてみてください。そうすれば、気づかぬうちに成長できているはずです。次に二年生。去年と違って冷静に自分が見えてきていると思います。今年は自分がチームとしての戦力に数えられるように頑張ってください。チームに貢献できるようになると、違った楽しみを感じられるようになるし、同時にプレッシャーも感じるようになるはずです。最後に四年生。去年まで生意気ですみませんでした。今年、チーフをやっていて実感し反省しています。四年生の先輩が今年も競技を続けてくれて色々な場面で助かっています。最後の年を「有終の美」で飾れるように悔いなくこの一年を過ごしてください。カッコイイ姿のまま引退してください。

こんな感じで一年間、できたらいいなと考えていますので、もし困ってそうなときがあったら、手を貸していただけたらと思います。長文、

失礼しました。

チーフとして

ジャンプ・コンバインドチーフ　竹井しのぶ

コンバインドチーフとしての目標と自分なりに思っていることを書きます。

まず、今年のコンバインドのチーム目標として、九大戦、インカレ、全国公で上級生は全員ポイントをとることです。そのためには、ジャンプはもちろんですが、クロスカントリースキーの技術も磨くことが大切だと思います。歴代のコンバインドの先輩方を見ていると、ジャンプも飛べてクロカンも速い方ばかりでした。クロカンに関しての技術はランナーとできるだけ一緒に練習して技術を盗んでいきたいです。東北大コンバインドチームと名乗っているからには、コンバインドでがんばって結果を残していきたいと思います。そのためには練習が必要です。私たちは、コンバインド選手であると同時にいろいろと忙しい大学生でもあります。隙間時間を見つけて効率よく練習を積み重ねて自信と技術を身に着けていきたいです。その点に関しては部員一人一人で考えてやってくれていると思います。練習を積み重ねるためには、やはり怪我をしないことが大切です。怪我をしないようにといって、攻めること恐れていては成長できないので、どんどん攻めた練習をしていってほしいです。ただ、何回転んでも何回失敗しても、大きな怪我をしないような体作りをしてほしいです。怪我をしてひとシーズン滑れないほど悲しいことはないので。これが、今私がコンバインドチームに求めていることです。

自分なりに思っていることを書きます。今この幹部文を書いている時点で、私はジャンプもクロカンもまだまだでいろいろなことが足りていません。先代のコンバインドチーフの先輩方のように、飛んでも走らせても完璧といった姿を見せてみんなをついてこさせる、といったかっこいいことはできません。東北大コンバインドチームの強みは、人数がいてかつ仲がいいことです。それを活かして、技術を共有してみんなで上手になりたいです。私はチーフとしてその手助けがしたいです。みんなを引っ張れないけど支えたいです。個人的には、もっとジャンプが上手くなって空中での気持ちよさを味わいたいです。そして、あきこさんやえりさんが好きなクロカンを、今はついていくので必死ですが、私も楽しめるくらい上手になりたいです。

私事も書いてしまいましたが、以上で幹部文とさせていただきます。

部員文

一年生

自己紹介

雉氷　愛

初めまして。歯学部一年の雉氷愛です。他の一年生より遅れての入部だったので、まだ私のことをよく知らないという方が多いかと思います。軽く雉氷愛について紹介します。まず、名前の読み方ですが、ウスイマナと言います。なかなか一発で正しく読まれたことがないです。覚えていただけたら幸いです。出身は秋田県の花火で有名な大曲です。今年は八月二十五日に大曲の花火大会が開催されるのでぜひ見に来てください。私のスキー歴ですが、小中でアルペンスキーをしていました。チームに強い仲間がいたおかげで毎年全国大会には出場していました。私には双子の妹がいますが、双子揃って全国に行っていました。彼女は今、長崎大でゴルフをしています。高校では茶道部に入り、女子力を磨いていました。今は、歯学部スキー部、歯学部硬式テニス部、歯学部ゴルフ部を兼部しています。大学デビューでアクティブ女子になりすぎてしまったと少し反省しています。

次に私の趣味や好きなものについて紹介します。趣味は音楽鑑賞、映画鑑賞、写真です。朝から晩まで音楽聞けるほど大好きで、最近はマカロニえんぴつ、Ivy to Fraudulent Game というあまりメジャーではないバンドにはまっています。映画は洋画が好きです。それと、写真を撮るのが好きで、よく風景を撮ります。今、カメラが欲しいので頑張って貯金をしています。好きなものは日本酒（私は成人です）と幼い頃から肌身離さず持っていた緑色の毛布です。秋田の血が流れているためかお酒には強い体質でいつも楽しく飲んでいます。秋田の日本酒が好きで、特に新政と飛良泉が好きです。緑の毛布ですが、安心感のある匂いが染み付いていてこれがないと眠れません。好きな男性のタイプは趣味を共有できて、しっかり話を聞いてくれる芯のある人です。欲を言えば高身長な人！

全く軽くない自己紹介となりましたが、雉氷愛について少しお分かりになったかと思います。最後になりますが、これから学友会スキー部に貢献できるよう練習にも積極的に参加したいと思います。また、大学を卒業するときにこの部活に入っていてよかったと思えるよう素敵な思い出をたくさん作りたいです。これからどうぞよろしくお願いします。

九組

榮治　智之

今年めでたくスキー部一年になった、工学部機知の榮治智之です。僕は高校三年間九組でした。男子の割合が高めな九組でした。

三年間クラスメートも先生も変わらない九組でした。そんな思い出深い九組の文化を紹介したいと思います。

〈やってる〉

超頻出単語。一日平均十回は聞く。誰が最初に言い始めたかは不明。意味は「やばい、頭おかしい、狂ってる、やってる」などなど。汎用性がものすごく高い。正直筆者も正確な意味も知らない時点で「やってる」。

〈おじょおじょ〉

頻出単語。意味は「おっとっと」、だと思っていたが、挨拶のように使われることもある。大抵の場合とくに意味はない。「おじょ？」と話しかけられたら、「おじょおじょ」連呼する暗黙の了解がある。

〈やってｒやーってる〉

超頻出単語。「やってる」の進化系。「やってる」と言い過ぎたために、一つ目の「る」が「ｒ」になってしまった。やはり汎用性は高い。本当にいつでも使うことができる。

〈どうやら～らしい〉

超頻出文法。自分の個人的な意見を述べるときに使う。また同時に超頻出単語でもある。「どうやらしい。」で意味をなす。が、特に意味はないらしい。これが進化した「どうやらどうやらしい。」も存在する。

〈あんな〉

超頻出単語。聞かない日はない。一人のクラスメートの妹の名前である。意味は「あんな」。使うときは上体をそらし、お腹に力を入れ、無心で叫ぶ。これが意外と癖になり、どうやら筆者は仙台でも叫んでいるらしい。

このように九組はやってる集団である。なので九組を見かけたらそっとして下さい！

自己紹介および出身地紹介

岡田　拓歩

はじめまして、農学部一年の岡田です。こっちに来てからよく岡山出身と言うと驚かれるのでもっと岡山のことを知ってもらうべく軽く自己紹介をしたあと岡山をしたいと思います。

僕は１９９９年1月２０日生まれです。日にちだけを見るとフリーダイヤル０１２０です。出身は岡山県津山市です。高校卒業後、香川県で1年浪人していました。スキーは親の趣味で、冬になると鳥

取県の大山という山でゲレンデスキーをやっていました。中学校、高校は卓球部でした。

この辺でそろそろ岡山県のＰＲに移りたいと思います。個人的に岡山県のいい所は住みやすいところだと思います。まず、晴れの国岡山というたい文句に恥じず、岡山県は雨の降らない日が多いです。住んでいる人的には「降水確率４０％？なら傘はいらないな」みたいな感じです。また、台風はあまり影響しないことが多く、警報情報なんかを見ても周りの県が警報で赤く表示されている中、一つだけ注意報すら出てなかったりします。そのため、台風による休校も残念ながらほぼありませんでした。また、地震もほとんど無く、下手すれば来年までに今まで経験した地震の数が２倍になりそうです。あと、岡山県やその近くには美味しい食べ物がたくさんあります。岡山県はブドウや桃が有名です。岡山出身の人はだいたい親戚にブドウ農家か桃農家がいる(経験則)ので旬の時期に岡山出身者の実家に行くとだいたいそのどちらかが出てきます。また周囲には牡蠣やお好み焼きが有名な広島、梨が美味しい鳥取県、兵庫を挟んで大阪、瀬戸大橋を渡れば香川のうどんや高知の鰹、愛媛のみかんなどがあります。もうだいぶんネタ切れなのですが、最後に岡山県出身の著名人でも上げときます。僕の知っている限りでは、「ＮＡＲＵＴＯ」の作者の岸本斉史さん、「Ｂ．ｎ」の稲葉浩志さん、俳優のオダギリジョーさん、「バッテリー」の作者のあさのあつこさんなどがいます。ちなみに稲葉さんは僕の出身高校を卒業しています。いちおう他にもうらじゃ踊り、裸祭り、後楽園などが有名ですが、残念ながら僕がほぼ知らないので紹介できません。

とりあえずこんな感じで終わりたいと思います。シュプールを書いている今現在は運動が出来なくなって部活に行けていませんが、これから冬に向けて頑張りたいと思います。

自分の紹介

小林　幹太

こんにちは。新しく入部しました、理化の小林幹太です。部内では「さば」という呼び名を認識してくれる人が増えてきましたが、全然知らねえという方もいると思うので、ここでその「さば」について紹介したいと思います。

さば　スズキ目・サバ科のサバ属、グルクマ属、ニジョウサバ属などに分類される魚の総称。稚魚はプランクトン、オキアミなどを食べて成長し、成魚になるといわしなどを追って沿岸回遊する。まぐろやあじ等とならんで世界的に消費量の多い魚で、漁業の対象としてでなく、食用としての価値や引きの強さから、個人的な釣りでも人気が高い。釣り場は、漁港や堤防がメインとなるが、急深の砂場や石浜、地磯にも群れが接岸するのでポイントとなる。

日本では焼き魚、煮魚（さばみそ）、寿司、〆さば等として多く食べられ、ブランド物でかつ取れたてのものは〆さばでない刺身でも食べられる。主な水揚げ漁港は千葉の銚子、宮城の石巻、静岡の焼津

など。

　ＤＨＡやＥＰＡなどの高度不飽和脂肪酸が多く含まれている点も注目されている。その一方で「さばの生き腐れ」といわれるほど鮮度の低下が激しいという欠点もある。鮮度の低下を防ぐために、釣りで捕獲した際は低温で保管するのはもちろんのこと、えらを切除するか、首を折った後に海水につけて血抜きすることが推奨される。

※（Ｗｉｋｉｐｅｄｉａから引用）

「鯛や平目は高級魚、さばは大衆魚。皆から好かれる人間になりなさい」※（高校の野球部の卒業寄せ書きで、監督が書いた一言から引用）

よろしくおねがいします。

これからよろしくお願いします

志関　弘平

みなさんこんにちは、今年スキー部に入部した理学部地球科学系の志関です。よろしくお願いします。

　１年ということでまずは自己紹介から。誕生日は２０００年３月１０日、３月１０日といえば東京大空襲の起こった日かつ東日本大震災の前日です。なんとも微妙な日にちですね。出身は茨城県のひたちなか市、高校は日立一高で高校時代は地学部で幽霊副部長でした。スキーを始めてやったのは３歳の時です。スキー場のキッズパークでそり遊びしたら１回で親がいやになり「そり遊び疲れるから滑らせてしまえ！」ということで滑らされたのがわたしのスキーの初体験でした。アルペンスキーの大会に本格的に出場しはじめたのは中学１年の県予選からで、それから中高とＳＡＪのＡ級公認コースと格闘しながら雪無し県でほそぼそとアルペンをやっていました。Ａ級コースで満足できる滑りができたことはなく滑るたびに自分の下手さをおもいしらされました。特に戸倉のコースは中高通じてさまざまな大会があったため今振り返ると私の中高６年間はこのコースを攻略することが１つの目標だったきがします。チームには所属していなかったのでポールに入れてくださった猫魔スキー場の３人のコーチの方々、檜枝岐のＨコーチ、中高体連でお世話になったＴコーチには感謝してもしきれません。ありがとうございました。

　そのほかに趣味といえば化石鉱物採集とかですかね～。小学生時代に茨城県の平磯海岸で化石を拾いそれ以後めちゃくちゃはまっています。いままでに採集したことのあるアンモナイトはディディモセラス・アワジエンゼとポリプティコセラスです。どちらも異常巻きアンモナイトとして有名ですね。逆に平巻きのアンモナイトや三葉虫などはこの記事を書いている時点では未採集です。現在はスキー部とともに地学ゼミナール(通称地ゼミ)にも所属し、週末には化石を探しに巡検にいく日々を過ごしています。巡検に行きすぎて一部の先輩みたいに野草を食べる生活にならないように気をつけます。夏には北海道合宿などもあるそうなのでどんな化石を採ること

ができるのか楽しみな今日この頃です。
先輩方には、務台先輩、たくみ先輩、悠暉先輩など強い方々が大勢いらっしゃるので、その先輩方を目標にこれから頑張っていきます。まだまだ未熟で至らぬ点も多いと思いますがどうぞよろしくお願いします。

自己紹介レベルと高校の化学の先生レベル

清水　颯太

初めまして。新一年の清水颯太といいます。「颯太（そうた）」は二年連続でスキー部に出現なんですよね。いつも名前の呼び分けで周囲を混乱させております。ちなみに僕自身は二年生の方は「颯太さん」と呼ばせていただいております。（自分の名前を口にするという違和感（笑）そろそろ慣れていますかね（笑））

一年生なのでこのシュプールを書くのはもちろん今回が初めてです。何について書くかはきっとみんな悩むんですよね。（笑）大学はまだまだ慣れないこと知らないことだらけなので、高校時代を思い出すついでに、最高に不思議で面白すぎた化学のＳ先生について書きたいと思います。うちわネタでごめんなさい。この先生の特徴はとにかく語彙が絶妙なセンスということです。この絶妙な感覚をみなさんにも感じてほしいです。
これから紹介するのは、そのごく一部です。

【ザブンザブン】
意味：ビーカー等の中の水面が揺れている様子を表す擬態語。（なぜ「ン」が入るのか不明。そもそもビーカーに対して表現が大げさすぎ）

【僕の高校生活レベル】
成り立ち：授業中に「～レベル」を多用するＳ先生を忘れないために僕のクラスの友達が卒業文集のタイトルにしたことで有名。ちなみに、その卒業文集の中身は「～レベル」が多用されすぎて意味不明。
例：友達たくさんレベルで楽しかったレベル。

※ここで「～レベル」の紹介です。

【大道芸人レベル】
意味：二酸化炭素を石灰水に通すと白濁すること。

【飲み会レベルの罰ゲームレベル】
意味：飲み会の罰ゲームのこと。

【ミスプリレベル】
意味：ミスプリのこと。

【どんぐりレベル】
意味：どんぐりのこと。（謎）

【バランバラン】
意味：化学結合が切れること。（これも、「ン」がなぜ入るのか。）
【ブヂン】
特徴：「チ」に濁点。『類義語』バランバラン
【～枚セットです～】
用法：「足りない人はいるでしょうか？プリントは人数ジャスト分しかありません。」とつなげると、定型表現。
【散らないように】
意味：教室から出ないで静かに座って待つこと。
【放置プレイ】」
用法：先生の指示を無視したとき。

※重複表現シリーズです。「頭痛が痛い」みたいなあれです。
【けさ、あさ～】
【一番ベスト】
【日曜日サンデイ】

と、まあこんな感じです。（笑）

タイトルの意味がもう分かりましたよね？（笑）

今後もスキー部の一員としてよろしくお願いします。

（完）

父親

神藤　裕哉

人生で初めて部誌なるものを書くことになったので、何を書こうかといろいろ悩むところがありましたが、1年目と言うことで、一人暮らしを始めてから気がついたことについて書きたいと思います。

人生初の一人暮らしを始めて早三ヶ月、親の存在って大きいなあと改めて思いました。人は誰でも親の背中を見て育つので、自然と影響を受けているものですよね。私は特に父親の趣味から影響を受けました。

・音楽　父は音楽を聴くのが好きだったので、小さい頃から受動喫煙ならぬ受動鑑賞していました笑。なのでロックといえば最近の邦楽よりビートルズ、クイーン、イーグルス：といった昔の海外のバンドのイメージが強いですね。そして父が一番好きだったのは、ギターの神様ことエリック・クラプトン。クラプトンは年をとるにつれて作風がロックからブルースへと変わっていくのですが、父も私が小さかった頃はロックしか聴いていなかったのに次第にブルースを

聴くようになったので、人間ってみんな同じように年をとっていくんだなあとおもいました。ちなみに最近、父はブルースを通り過ぎてジャズに突入しました。ジャズもなかなかいいものですよ。

・お酒　父はお酒に強くないので日本酒なんかは飲まないのですがお酒自体は好きなので、実家のキッチンにはカクテル用のリキュールがいっぱい並んでいて、父はたまにシェイカーでカクテルをつくって飲んだりしています。私もお酒が飲めるようになったら家にいっぱいお酒の瓶を並べて自分のお気に入りの組み合わせなんかを研究してみたいです。またジャズを聴きだしたあたりから、父はウィスキーを飲み始めました。私が受験期に夜食を食べている時によくうんちくを披露してくれたので、私もピュアモルトとかシングルモルトとか横文字はいっぱい知っていますが意味はよくわかりませんね、はい。

・車　これまた最近の話ですが、実家の車を買い換えました。今までは２０年もののファミリーカーに乗っていたのですが、大人な車に乗りたいとの父の一言でセダンに変えました。ファミリーカーの広さに馴れていた私は初めのうちはセダンは狭く感じていましたが、乗っているうちに良さに気づきました。まずは乗り心地がいい。とても静かでカーブもスーッと曲がるので町中のドライブなんかは乗っているだけで気持ちがいいです。そしてなんといってもかっこいい。個人的にセダンが一番カッコよく映えるのは、ジャズを流しながら夜の町を走る時で、ハードボイルドでダンディーなすごくいい感じの雰囲気を醸し出してくれます。

そんなこんなで近頃、私の趣向は父親の趣味にかなり依存しているなあと思うことが多いです。これから４年間またはもっと長い間、父と一緒に暮らすことがないと思うので自分の趣味がどう変わっていくのかちょっぴり楽しみです。

ここ最近思ったことを適当に書きなぐってみた。

橘　紀晶

眠い。とにかく眠い。授業が眠い。つまらないものが多い。意味不明。けど、ある程度の成績はとらないとな…。勉強はちゃんと頑張らないとね、うん。あと、最近は痛い思いをよくする。玉ねぎのみじん切りの最中に指に包丁がささったり、ローラーの練習中に転んで膝を擦りむいたり、ジャンプの着地後に転び、尾骶骨を強打したり。もう何なの。あと、バイト先の方々がどうも苦手。まだ慣れていないのもあるだろうけど、なんか今まで接したことのないようなジャンルの人達ってのもあるし、押しがなかなか強い方々なので、なかなかなれない。一応東北大の先輩もいるらしいから、その人と早く関わりを持ちたい。てか、バイト始めたばかりは多めにシフト入れさせられそう。入れるなら全部入って的な。正直あまり入りたくないし、

入れないからこの週1からのバイトにしたのに、あんま入りたくないと言えない。まあ、入ればその分金もらえるからいいか。ぶっちゃけバイトは金欲しさでやってるからね。ちなみにバイトは今居酒屋の厨房にいます。最初のバイトではほぼ皿洗い。一応適当な食材を切ることもやった。人間関係を早いとこ構築して、自分の希望をはっきりと言えるようになりたい。今はまだ絶対に無理な日しか言えない。二週間くらいはそこそこ入って、仕事覚えたら、夏休みになるまではシフトは少なめで生きたいと思っている。初バイトはなかなか疲れた。体の方は自分で感じていたよりも疲れていたらしく、仮眠をとって起きてその日のＴＦいこうと思ったら、一旦起きたはいいものの、その後爆睡。盛大に寝ブッチをかましてしまった。本当に申し訳ない。ちなみにこの文章は、そのＴＦを寝ブッチしてしまった朝に書いたものである。あ、やばい。書くことがなくなってきた。とにかく金が欲しい。このままだと、スキー道具も買えないし、ウィンドノーツの部費も払えない。スキーしに北海道へ行くことすら難しくなる。ロードバイクも買えないしね。ローラーにはだいぶ慣れた気がする。そこそこ乗れるようになってきた。この調子でがんばりたい。あと体力ももっとつけたい。金があるレイドまとまって手に入ったらどうしようかな。とりあえず冬のために貯金だよね。何円位貯金があれば、冬まともに参加できるのだろうか。先輩に聞いてみるか。その金額以上に金が貯まったら、なんか買いたいもの買おう。自分のスキー道具とか、ロードバイクとか。こう考えれば、別にバイトも悪くないな。たいへんであることに変わりはないが。先輩が経験しておけと仰っていた理由が何となくわかったような気がする。そんなところかな。こんな僕のくだらない文章というかもはや文章とすら言い難いこの文字の羅列を最後まで見てくださった方、本当にありがとうございました。

宇都宮名物といえば…

林　直志

工学部材料科学総合学科1年の林直志です。工学部って学科名長いから文字数稼げていいですよね（（

そろそろ本題に入ります。私は親が転勤族で、北から北海道、岩手、栃木、千葉、横浜に住んでいたことがありました。その中でおいしかった餃子をランキングにしてみます。

【勝手に餃子ランキング】

1位　さつき　（宇都宮）
2位　正嗣　（宇都宮）
3位　めんめん（宇都宮）

【解説】

・さつき

圧倒的1位。言葉では表せない旨さ。ジューシーなのに低カロリー。材料の多くに栃木のものを使っているところもとてもよい。普通の

焼き餃子はもちろん下野餃子、しそ餃子などどれもおいしい。また野州餃子というニンニク、ニラなしの餃子もあり平日にも躊躇せず食べられるという素晴らしい気遣い。是非一度は食べて欲しいです。

・正嗣

持ち帰り餃子の定番。これの売り上げが入るなら、餃子消費量ランキングで浜〇市に負けるわけがない。持ち帰りだから最善の状態に食卓に届くことはあまりないにもかかわらずおいしい。皮がもっちりしていた気がする。特によいところは餃子のタレ。大体余るので市販の冷凍餃子を焼いたときにも使える。

※ 餃子消費量ランキングは家計調査における「餃子」とは食べられる状態の餃子か生の餃子で、冷凍餃子は含まれない。また、レストランや食堂で食べたり持ち帰ったりした餃子も含まれていないので注意されたい。（引用　都道府県別統計とランキングで見る県民性、データは総務省より）

・めんめん

はね餃子といえばここ。餃子ははね付きのみ売っている。はねがパリパリしていてとてもよい。普通のラーメンなどもある、中華料理屋かつ餃子屋です。

三つとも宇都宮餃子が占有しているのは横浜に住んでいたけれど中華街から遠いところに住んでいたからです。（あとあまり記憶に残っていなかった）

毎年六月に仙台市内で餃子祭りをやっているらしいので行くことがあって、もし上記のランキングに載っていたのがあったら是非食べてみてください。また、関東へ行くときは栃木県の宇都宮駅で途中下車して、様々な店舗の餃子が一度に食べられる「来らっせ」に行ってみてください。宇都宮餃子会に入っている餃子屋（さつき、めんめん等約４０軒）の餃子をいろいろと食べられますよ。ただ、すべて著者の主観ですので、自分の好みの餃子を見つけてみてください。あなたの求める餃子はきっと存在します！。

黒っぽい歴史のお話

濱地　峰史

～序章～

高校一年生の冬のとある放課後。１年Ｃ組の教室は、普段と違い机が教室の後ろ半分に寄せられていた。前半分にはクラスメイト、男女合わせて２０人前後と俺。今日も合唱コンクールに向けた練習が始まろうとしている。

うーん、正直全然やる気がしない。友達といつもの通りに適当にだべっていると、黒板の前の教卓に置かれたラジカセから、聞きなれ始めたいつもの曲が流れてくる。俺は、周囲の歌声に合わせるように、うろ覚えの歌詞を小さめの声で歌い始めるのだった。

しばらく歌っていると、全体練習がパートごとのものへと移った。

「まずは女性パートからね！」
合唱コン委員のクラスメイトの女子が高い声を張って言った。
（やった、休める。ゲームしよっ！）
俺はそう思い、制服のズボンの右ポケットからそそくさとスマホを取り出した。そしてアプリを開いていつも通りゲームを始めたのだが、周りの音が大きく、肝心なゲームの音が聞こえない。スマホの音量を上げるが、なおも聞こえないようだ。まあいいか。ゲームに支障はない。

俺がやり始めたのは、スマホゲームＲＰＧ『白〇プロジェクト』。通称白〇。ゲーム内のキャラクターを操作して敵を倒していくゲームだ。当時大人気だった白〇に、例にもれずにどはまりしていた。なんてったって面白い。そしてキャラがかわいい。
俺はその時「フラン」というキャラクターを使っていた。フランは、白〇プレイヤーであればほとんどの人が知っている、白〇屈指の萌えキャラである。萌えキャラというだけあって、見た目同年代のＪＫ忍者（くノ一）という設定があり、とってもかわいい。まあ２次元なんだけれども。
そしてこのフランちゃん、なんといっても強い。俺が所持しているキャラクターの中で１、２を争う強さを誇っている。必殺技「忍法・さみだれボナペティ」を駆使し、敵をバッタバッタと倒していくことができる。必殺技を放つ際、「オ～ララ～♬♫♭♪♩ポンペペピ～！！！」という意味不だがひたすら可愛い萌ボイスを聞けることも密かな魅力だ。
そんな強カワで最強なゲームキャラクターフランを操作しゲームしていたのだが、そのゲームのプレイ内容といえば、ゲーム内のガチャガチャを引くために必要なジュエル集め。俗にいう周回である。要するに倒す敵が弱い。フランならたった一回の攻撃で敵一体が倒せるのである。
まあ合唱コン練の合間という短い時間の中で、強敵と戦いたいとは思わないので仕方がないであろう。
そんなわけで、教室内に３次元女子の大人びていて均整のとれた、心地よ～い声音が響く中、俺は端のほうの机に腰掛けながら、萌えキャラフランを使ってただボーっとゲームをプレイしているのだった。
この日何度目になるのだろうか。俺は、フランの必殺技「忍法・さみだれボナペティ（萌えボイス増し増し！）」を放って敵（ザコ）を一掃しようとしていた。――今思えば、なぜその時の周りの変化に気付けなかったのか、不思議でならない。そんなにゲームに熱中していたわけではないのだ。
そして今現在もその時の自分を呪ってやりたいと思わなくもない。はあ、過去に戻ってやり直したい。でもどうせ戻るんなら中一のこ

ろがいいかなー…まあ今の生活も気に入ってはいるんだけどね。楽しいのは確か。でも過去は澄んでいたものの方が個人的にはいいわけであって。

……え、何が起きたんだ、さっさと話せだって？
見ればいいじゃん。こんなに目立っている文字もそうないんじゃないの？じゃあ次からまた物語を再開します。さて、俺はフランの必殺技を放ってどうなったのでしょうか？
……話したくないなあ。

いつの間にかそれていた物語
～結び～

「オ～ララ～♫♫♭♪♩ポンペペピ～！！！」

この場に似つかわしくない萌え萌えどきゅんなきらきらぼいすが教室中にこだました。課題曲の女性パート練習が一段落し、教室内が静寂に包まれた直後のことだった。一体なんなんだこの声は、と、クラスの皆が音の鳴った方を一斉に見る。

そこにいたのは、机に浅く腰掛け、無機質なスマホを見つめている細身で少し癖っ毛の男―

誰であろう。俺である。

うん。知ってた。
そりゃ大音量でゲームしてたら静かになった途端に響くよね。でも、でも、でも、
タイミング悪すぎません！！？？なんでよりによって一番の萌えボイスを発する必殺技の時に曲の練習終わるかねー！！

俺がそう思ったのは後日の話。
その時は、クラスの女子たちのドン引きした目を見るのが怖すぎて、下を向いた状態で身振り手振りを交えながら、「まあまあ」と、我ながらわけわからんことを言ったもんだ。因みに顔も火照っていた。

※僕の脳内が激しく脚色されていますが、ほとんど実話です。

No.title

保達　洋

?????????

????????????????????

????????

ここはどこ

???年〇月×日

あたたかいなにもみえない

　???年３月△日

どうやらみずのなかにいるらしい。うごきにくい。

１９??年４月１８日

どのくらい眠っていただろう。まだ眠っているのかもしれない。ともかく私は今考えることができる。壁をけってみる。

　１９９９年５月１５日

現在私が知覚しているものは、水のぬくもり、壁、そして考える私自身のみである。四方が壁に囲まれているらしい。何も見えない。こんな状況なのに不思議と恐怖はない。それどころか安心感さえある。ここはどこなのだろう。壁をける。

　１９９９年５月３０日

私は今、得体のしれない、しかし激しい衝動に襲われている。何を求めているのだろうか。衝動に任せて壁をける。

　１９９９年６月３日

出たい。外に出たい。よくわからないが外に出たい・・・・・・

あっ・・・まぶしい。暗闇の向こうに初めて私は光を認識した。きつい・・・頭が締め付けられるのを感じる。まぶしさのせいだろうか。苦しい・・・・

―頭の締め付けが限界に達したその刹那、私は光に包まれた―

「アアアアアアアア！！」

私の産声である。

２０１８年６月某日

あれから１９年と数日が経つ。この命はいつまで続くのか。いかなる意味を持つのか。そもそも意味などあるのか。私にはわからない。

それでも私は私という、一人の人生を精一杯続けていこうと思う。４０億年を超えるといわれる地球の歴史の中で、平均８０年といわれる人の一生など本当に儚く、取るに足らない。しかし、そんな取るに足らない一生だけは、私だけのものだ。そうだ。この一生に客観的な意味などない。あってたまるか。意味がないからこそ私はそれを模索し続けることができる。この世のあらゆる奇跡の末に出会ったかけがえのない仲間たちとともに、模索の旅を続けよう。その旅路の果てに私だけの ***title*** の発見を祈りながら。

二年生

感想文

浅野　颯太

２つｓｐｕｒ用に文章を書いてみたけど、なんかパッとしないから今のスキー部のメンバーに向けた感想を睡魔と相談しながら書いてくよ。（現在時刻１：００）（ちなみに明日は５：００起き）（注　失礼な内容への謝罪はいくらでもするからゆるしてね）

１年（いきなりめんどくさくなったから割愛気味）

颯太　生き写し、マジびっくり、どうせアルペン、ってかそうであって

バナ　私服×、発言のテンポ×

保達　ｂｕｍｐ、ｒａｄに興味ないとか許さん

さば　ヘディング〇、足元×

えーじ　はよ別れないかなー

岡田　無味無臭

その他　ねお

２年

たくみ　自由人。将来は自由ヶ丘で自由に自由研究するらしい。

翔　いろいろ残念なところあるけど、最近　かわいいやつだと認識

沼子　俺よりは軽くいて、彼氏となんだかんだ仲良い、なにより。化粧品欲しかったら言って

かんじ　うるさいけど大方、的を得てるから聞いてられる、メンバー入りおめでとう、いじられる側もできるようになってきてよき

高野　凸。デートの結果気になる

尚吾　怖い、けど演じてくれてるってわかるから安心

ほしょい　起爆剤兼楔、すげー

白木　やっとわかってきたつもりだけど、まだ半分も掘れてない、まだまだ未開拓地領域多め

島田　潤滑油、ダブルポール可愛い、キャラの可愛さはキャラだから

石原　もうちょい自信持って欲しい、日々常識身に付け中

岩瀬　相棒、おもろい、最高、好き

3年　元気そうでなにより、テレビでかい

かほ　ノリ○、音楽性○、仕草○、民主性×

くっしー　マジ頑張ってる、目標の一つ、周りに恵まれたり恵まれなかったり

孝洋　なやみがち、もっと色々楽しんで

みちゃお　パパ、本当に心を許してるのはごく数名なんだろうな

ぶん　可愛いから許す、すげーはもう言わないで、浅野的ほぼ同期リストの一人

ゆーみ　どう森してないで外に出て

マイコー　日本語解釈×、ダル絡み×、自立性○

まちゃ　最近見てない

古畑　最近見てない

4年　欲望に忠実

ゆーと　こういうマイペースな人好き

ゆーき　柔軟性○、コミュ力○、かなり綺麗な五角形

しゅう　この人とのパイプはいつか役立つかなー

くりや　いまだに謎、カラオケ行きたい

やまね　ジャンボってよばれてるらしい、なんか的確

三崎　いい奴なのに傷深め、春よ来い、早く彼の可愛さに気付いて欲しい、この人の狂気は幸と出たり不幸と出たり

かずき　恋敵、彼氏の前だと乙女、急に言動が可愛くなったと思ったら懸垂したりする

えり　やべぇやつだけどすごい、、、あっ、あ〜すっごいまともの人

けいじ　筋肉○、自立性○、顔怖いけどちゃんとちょける

ちよも　同期。いい奴、好き

トゥン　一番やべえのかもしれない、いつも腹筋に力入れてる

ＤＯＮ　ドがつく真面目なのにおもろい、ダル絡み○、

りん

直径４㎜位の箸に折られるくらい脆弱な歯、これはいじらないほうが良い

よしけい　一回は一緒に練習したい、成功した人の一人

まだ言いたいことといっぱいあるけど、この辺で。本音を吐く場所でもないし

ｙｕｍｅ

池田　翔

皆さんは夢を持っていますか。研究者、教師、モデル、医者などなどいろいろあると思います。私は航空機や自動車の制作、設計にかかわる仕事につくことが夢です。後世に残るものを作りたいと思っています。ちなみに題は僕が好きなアーティスト、ＳＥＫＡＩＮＯＯＡＲＩの一曲です。これはグループのボーカルＦｕｋａｓｅが夢について作詞した曲で、ライブでも定番の曲です。この曲を聴いていて、ふとこの曲名を題にしてＳＰＵＲを書こうと思い、今書いています。

…と、夢についてもっと書きたかったのですが、恥ずかしくなってきたので今シーズンの目標をかきたいと思います。

まず一つ、今シーズンは昨シーズンよりも滑走日数を増やすこと。昨シーズンは合宿に参加しなさすぎでした。ごめんなさい。今からしっかり計画を立て合宿に参加します。

二つ目、完走率を上げる、です。アルペンスキーを始めてから一番難しいなと感じたのは、滑るコースが決められていること、です。少しでも狂ってしまうとコースを外れ、ゴールすることができません。かといってゆっくりコースを外れないように滑っていてはいいタイムが出ません。いいタイムを出す&完走率を上げるためにも合宿に参加します。バイトはそこそこで…。

スキー板を新調し、今はシーズンがとても楽しみです。早く来ないかな。

つたない文章ですが読んでいただきありがとうございました。夢に向かってスキーと学業の両立をがんばります。

とんぺーの腫物

石原　拓実

自分が住む東北大学松風寮についてｓｐｕｒで語っていこうと思います。「東北大学松風寮（まつかぜりょう）は宮城県仙台市青葉区上杉六丁目3番2号（９８０－００１１）にある学生寮である。明善寮の隣に位置する。建物は１９８２年完成（Ｗｉｋｉｐｅｄｉａ参照）」ということでまぁ古いです。上杉という高級住宅街（らしい）の中にぽつんと立っている、近寄っちゃ行けない感じのあるボロア

パートですね。けど震災に耐えたらしいので安全なはずです（多分）。立地的に川内へも片平へもチャリで２０分くらいかかるし教務課からも基本的に放置されているし今まで隣にあった農学部の雨宮キャンパスは農学部が青葉山に飛ばされたせいで更地になり（イオンが来年できるらしい）本当に孤立状態って感じです。トイレ、風呂、キッチンは共用、部屋は一人部屋、家賃は１２０００円（安すぎ）近くには西友、メガドンキ、モスバーガー、１００円ショップと学校が遠いことを除いては、なかなか暮らしやすいです。さっきも書きましたが川内まで約２０分、青葉山まで３５分くらいかかります。まあそのせいで留年率が異常に高いのかな。自分の隣の隣の隣の人も同じ学科の留年した人で一緒の授業受けてます。１セメで２４単位中とった単位が４単位って人もいるらしいのでやばい人はやばいらしい。元々隣の明善寮は日本四大自治寮（北大恵迪寮、東大駒場寮、京大吉田寮）の一つで１，２年生が入り自分がいる松風寮は３，４年生が入るルールでしたが今は１年生でもはいれるようになっています。ということで東北大学の腫物松風寮で過ごした１年を話していきたいと思います。

　入寮して気づいたことは寮内が汚すぎる！臭すぎる！空気が汚い！入寮してしばらくは鼻水が止まらなかったです。そこからはなんか慣れてしまい。入寮前は喘息気味だったのですが治り、人間の強さを感じました。あと最初のころは洗濯機の水漏れがやばく自分の部屋まで侵食してきてそれを止めるのに必死だったのを覚えています。また、寮のイベントとして「大新歓」と「深夜松島マラソン」というのがありました。「大新歓」はその名の通り寮の新歓？イベントで新入寮生がみんなの前で一発芸をしてなぜかノンアルを飲むというイベントでした。まあ自分はそこそこにウケたと思います。「松島深夜ママラソン」はかなり過酷な寮の恒例行事で深夜０時に寮を出走し２５ｋｍほど離れた松島まで走るというものです。松島までの距離、時間帯ともに過酷なイベントでした。最もつらかったのがチェックポイントで配られる謎の飲み物です。寮の上級生が配るものなのですが変な味がするか、異常に辛いかの二択で食べきらないと進めないというものでした。例えばデスソース入りのカレー、激辛ソースのかけられた麩菓子、謎の味がする液体など、走っている途中に飲むものではなく寮に入ったことをかなり後悔した瞬間でした。しかもその日はあいにくの雨。暗闇で雨の降る中松島までの山道。道があっているかもわからない中何とか３時間くらいかかり到着しました。もう一生やりません。悪しき伝統だと思います。かといって今年入った後輩は同期にやらされてました。こうやって伝統は受け継がれていくんだなあって面白かったです。まあこんな感じでやばいところではありますがユーモアがあってみんな面白いですよ。皆さん一度来てみてはいかがでしょうか。人ってこんなところでも生きていけるんだな、東北大生ってバカなんだなーって実感できると思います。これからも自分はこの寮に住んでいくのでよろしくお願します。

わたしのメイク

大沼　恭子

皆さんこんにちは。今年のシュプールは最近の私のメイク方法について書きたいと思います。なんかｙｏｕｔｕｂｅｒみたい（笑）自己流のこだわりをつらつら書きますのでわかりづらい上に興味ないかもしれませんが、よろしくお願いします。

スキー部女子の中でメイクが濃いといったら、おそらくほとんどの人が私の名前をあげるでしょう。やめられない濃い化粧。すっぴんに自信がないんでね。いくら汗をかく練習でも、朝が早くても化粧はやめられません。化粧した自分の方が好きなんです。化粧すると自分に自信がつくし落ち着きます。ジャンプの高梨沙羅選手も同じようなことを言ってました。私は高梨沙羅選手の大ファンです。毎回毎回、今日はナチュラルメイクにしよう！と思ってメイクしても、やっぱり濃くしちゃう。譲れないポイントが多いんです。だからどんどん濃くなってしまいます。

・譲れないポイント①アイメイク　まずまつげ。二年生になってから通い始めたまつエク。月に一回、まつエクに行く。いつも使うエクステは一番カールが強いカールの１２ミリ。両目で１４０本くらい。まつエクに通い出してから月に６０００円まつげに課金。でもマスカラもビューラーもしなくていいからとても時短で楽です。まつエクはもうやめられません。そして譲れないアイシャドウ。キラキラのパールが入ったアイシャドウをまぶたにグラデーション。最近はオレンジ系にハマっています。そして濃い茶色のアイシャドウを二重ゾーンにガッツリ入れる。嘘でしょ、入れすぎじゃない！？と言われるくらいガッツリ入れる。しかも私の場合、ほぼぼかさずに、メイクブラシを使ってくっきり入れる。あと目尻の下側にも細く入れる。これだけは譲れません。アイラインはリキッドで細めに自然な感じが一番いいです。アイラインは茶色にハマっています。黒も好きですが、黒は私の場合、結構ケバいメイクになりやすい。

・譲れないポイント②アイブロー　アイブローとはまゆげのことです。気分によって太さやアーチを変えます。最近は並行太めで書いてます。前は細め若干アーチめでした。とても重要なのが、まゆマスカラ。必ずまゆマスカラをしないと変になります。最近使ってるのは結構明るめのナチュラルアッシュブラウンっていう色。

・譲れないポイント③ノーズシャドウ　ノーズシャドウとは鼻筋をはっきりさせるために影をつけることです。これをするだけであら不思議、田舎顔から美人顔よりに。

・譲れないポイント④リップ　いわゆる口紅のことです。私のお気に入りは絶対的に赤リップ。夏はビビットカラーの赤リップで、冬は赤にちょっと黒が混じったような赤リップを使っています。グロスがあまりすぎではないのでマット系が多いです。赤リップをしないとメイクしたとは言えません。それほど譲れない。赤リップ。

ざっとこんな感じです（笑）早いもので私も来年の二月で二十歳。大人の仲間入りをするべく、スキー、勉強、メイク、ファッション共々がんばろうと思います。

少女漫画あるある言いたい

島田 菜理紗

私は中学生の時から、少女漫画が大好きでした。もちろん、ワンピースとかスラムダンクとかの少年漫画も大好きなんですけど、少女漫画のありそうでありえない設定が好きで、突っ込みながら、そしてわーキャー言いながら友達と楽しんでいました。その中で、「あれ、このシチュエーション前もあったぞ」とか、「絶対こうくる、こうくる、やっぱりきたー！」みたいな展開が多く、レイザーラモンＲＧ的な感じであるあるを作れると思ったので書いてみます。

［ｃａｓｅ １：学年一のモテ男がクラスの冴えない女子を好きになる］

あるあるですね。あれ、地味なやつなのに何だか気になる、え、何でだろう的なやつですね。ヒロインの女の子は大抵、頑張っているけど空回りして上手くいってない子なので、そのようなところにモテ男は惹かれてしまいます。あと、彼女たちはありえないくらいに性格が良すぎるので、モテ男は今まで周りにいた女子と比べてしまい、こいつのこと好きかもと思ってしまいます。このような現象は、主に運動会や文化祭などのイベントで起こりやすいですが、日常の学校生活でも十分に起こりえます。

［ｃａｓｅ ２：体育倉庫に、気になっている子と何故か閉じ込められる］

何でしょうね。絶対ありえないと思うんですけどね。外から鍵かけるときにほぼ気付くと思うんですけど。これは守衛さんや先生の意図的な犯行としか思えません。というか、「え、二人きりだ、どうしよう」とドキドキする前に、「このまま夜ここにいんの？お腹すきすぎて死ぬし、え、本当に出たい」と私だったら焦ります。少女漫画では、主人公たちが能天気すぎる傾向にあります。彼らはいわゆる「恋は盲目」状態に陥っているため、二人きりになると突如として二人の世界に落ちてしまうのです。結局友達か先生が気付いて何だかんだで助けに来てくれます。

［ｃａｓｅ ３：雨宿りしようとすると都合よく神社が現れる］

二人で下校→急に雨が降ってくる→二人とも傘を持っていない→雨宿りする場所を慌てて探すと、運よく神社や寺がある　というメカニズムです。私が住んでいたところは神社があまりなかったのでいつも不思議に思っていました。確かに神社って神聖な場所で独特な雰囲気がありますよね。そこで大抵いい雰囲気になります。いやいや、神様の前でいちゃこらすんなや、罰当たるぞと思っていつも読んでいます。

［ｃａｓｅ ４：ある日クラスメートが突然家族になる］

クラスメートじゃなくてもいいのですが、同じ学校で、ちょっと知ってるな、もしくは学校で有名な子が親の再婚などにより、家族になります。最初は一緒に住んでいく中で不満が溜まり、こいつと

絶対仲良くできないと思いがちですが、段々と打ち解けていくにつれて気になる存在になっていきます。しかし、家族というつながりにいるため、好きだけど好きになってはいけないという葛藤に悩まされます。

［ｃａｓｅ　５：彼女が弱っているときに限って、違う男の子が助けに来る］

二人の仲が安定してきて、ちょっとつまんないなと思ってきた頃に起こります。こっちとしては何であいつが来ないんだよ、彼女とられちゃったじゃんかよ、という気持ちです。ここでライバルは「俺じゃだめかな？」という一発をかまします。更にそのライバルと彼女がいい感じで話している様子を彼氏は目撃してしまうので、彼氏側は自信を失くしてしまいがちです。しかし、彼氏側のプライドを捨てたアタック、もしくは彼女側のフォローにより、二人はこのピンチを何だかんだで乗り越えます。

［ｃａｓｅ　６：初デートは大抵上手くいかない］

お互いが緊張しまくってしまうので、上の空になってしまい話が全く盛り上がりません。また彼女がとても可愛くおめかししてくるので、男の子は更に緊張してしまい、女の子に不機嫌だと勘違いされがちです。また、女子が履きなれない靴で来てしまうので、男子が更にむすっとし、女の子が泣きそうになります。しかし、結局男子がおんぶしてくれ、何だかんだでいい感じになります。

［ｃａｓｅ　７：ヤンキーは小さくて可愛い小動物系の女子を好きになりがち］

普段は怖くて近寄れないけど、男の子が怪我をしたときに絆創膏をそっと渡したり、雨に濡れていると傘を置いて逃げたりするので、そのような健気なところに強い男子は惹かれてしまいます。また女の子側は、見た目は怖いけど、中身は優しいというギャップに、その男の子を気になり始めます。それで、何だかんだでくっつきます。

私の偏見がすごいです。今の少女漫画は多種多様であるため、全てがこれに当てはまるという訳ではありません。しかし、読んできた漫画の中でよくあったシチュエーションです。
お決まりのパターンだけど、それでも読んでしまう少女漫画の魅力を少しでも伝えることができたなら幸いです。

趣味？

白木　悠大

去年の僕は、ＳＰＵＲに好きな映画の事を書きました。ただ、それはあまり面白くないものでした（自分にとっても）。自分にとって好きな物を相手に伝えるのは自分の性に合わないみたいです。相手に

自分の好きな物を押し付けているような気がします。しかし、オタクには色々いて、自分の仲のいい人に自分と同じものを好きになってもらいたい、仲の良い人とそれについて語りたい、そういう人がいるのも確かです。と、自分がさもオタクであるかのように書いてしまいましたが、僕はオタクなのか、というのはそれ自体が議論になるところです。僕は決して差別的な意図をもってオタクではないと言っているのではないのです。むしろ、オタクという存在に対して敬意を払っているからこそなのです。オタクとは何でしょうか。オタクという言葉はアニメオタク、アイドルオタクの印象が強いかもしれませんが、これは映画、音楽、芸術、学問・・・、すべてに使われ得る言葉です。そして、それらに造詣が深いの事を指すと思われます。ですので、ここでは、なじみ深いようにファン、という言葉を使おうかと思います。僕は映画、アニメ、音楽は好きで、少なくともある一定の人からはファンであると呼ばれる可能性が無い訳ではない思います。ただ、もっとコアなファンからすると、にわかファンと大差ないのだとも思います。僕は、趣味に関しては自分さえ楽しければいいと思っているので、人にどこが良くてどこに感動したのかを論理立てて説明することはできません。だから、なおの事そういう方からすれば尚の事でしょう。

　この話で思い出しましたが、日常生活において僕が趣味の話をするとこんなことばを投げかけてくる方がいます。

「俺、にわかだからさ。」

その発言をされてしまうと、さも僕が色々知っているコアなファンであるかのようになってしまいます。そうなるとこちらも凄く話しづらくなります。

しかし、その発言の意図は痛いほどよくわかります。僕自身もよく使う言葉だからです。相手が「その程度でこれを語るなや！」みたいに思っていたらどうしよう、と思ってしまうのです。

でも考えてみれば、自分はそんな事全く思いません。たぶん僕が恐れている相手も「へえ、知ってるんだ」くらいにしか思っていない事でしょう。

では、どういうことが良くないのか。一つ例を出してみましょう。

A「私、くまのプーさんが大好きで・・・」

B「いいよねえ。私も１００エーカーの森に住みたいよー。」

C「ああ、あの中身がスケベなおっさんのくまのぬいぐるみのやつでしょ？」

A・B「・・・。」（はあ？それはテッドだろうが！）

みたいな事だと思います。要するに知ったかですね。

好きな物について話を合わせようとしてくれるのはとてもうれしいことなのです。しかし、それならばせめて間違えてはいけないのです。そして、それくらいの認識ならば無理に話さないでもいいと思うのです。そのあと話は続かないだろうし、どちらも気を遣ってしまうし。

ここまで読んでくださった方はコイツはいじいじして大変面倒だと感じていることでしょう。ごめんなさい。自意識過剰なだけです。ガキの戯言です。

でも、自分が本当に楽しいと思える事しかやらないのが普通の事だと思います。誰かの目を気にしてやる趣味なんて趣味じゃないし、それはつまらない事だと思います。

・・・だから気軽に趣味の話をしましょう。趣味が合えば万歳、合わなければそういう人だと知ることができた、と考えましょう。という事を最近思ったので書いてみました。

なんだか本当に言いたいことはうまく書けませんでしたが、そういう事です。

高野の活動総括

高野　祥徳

ＳＰＵＲ委員なんですけど締め切り過ぎてから書いています。他の部員について書いていたのはあるんですけど、そういうのやる人多いみたいなんで辞めます。どうせ短いし。去年ＳＰＵＲ書いてからの一年間を振り返りたいと思います。８月の夏合宿で部門が決まり、山形に免許を取りに行き、そこで白木をはぶるということを覚えました。９月は帰省からの絆合宿でした。合宿では手塚がもこみちであるということがわかりました。十月は松マラとサマノルがありました。疲れました。十一月はとにかく寒くて暗くてバイトばっかりでかなり精神的に大変でした。このころから僕は講義にあまり出なくなってしまいました。十二月はとにかくネップ。ずっと雪降ってました。松尾旅館で細井と夢を語らいました。九大戦では防寒具の準備をしっかりしなきゃいけないと思いました。一月はテストがありました。大学で習うことって、本当に忘れやすいものです。二月はこれまた絆合宿です。冬の白馬のコースは分岐がいくつかあったり、ショートカットできたりでなかなか面白かったです。暖かかったし、散歩も気持ちよかった。三月は僕の誕生日。確か一日中引っ越しのバイトをして、その後西友で惣菜を買いまくって一人で祝った。インカレと全国公もあった。四月は萩ホール前でローラーしてた。五月は散財した。自分のローラーがあるのはなかなか嬉しい。六月はいつの間にか終わった。北海道は楽しかったけど。七大戦の開会式は本当に出てよかった。優秀な方たちばかりだった。これは毎回行くしかないな。今は七月です。そろそろ勉強しなきゃなあと思ってます。どうせ忘れてしまうのに。今年はクラシカルのレースでダイアゴナルができる程度にはうまくなりたいと思っております。

浮力

手塚　尚吾

まず、はじめに。スキー部に入り一年が経ち、ランナーのメニューに疲弊し、冬の僻地への遠征で精神を狂わせ、部内恋愛に呆れ(憧れ)、どうしてこんなことしているのだろうかと、悩まされる毎日を過ごしております。ただ、間違いなく、九大戦やインカレ等の大会、そし

て白馬・絆への合宿など楽しい毎日でもありました。さらにこの場を借りて、その時々でＯＢ・ＯＧの方や遠征先の関係者(特に音威子府の皆さん(((もっと言えば千見寺さん)))には本当に支えて頂きました。感謝の気持ちでいっぱいです。今後もよろしくお願いします。

さて、本題に入るわけですが去年のＳＰＵＲは思いのほかふざけ過ぎてしまい反省しております。そして今年はどうしたものかと思ったのですが、こうして多くの方々に見られる文章を書くことは引退すれば今後またとないと思いまして、成人した今年は少し脳に糖を回らせて書くことを決心しました。

ここ最近、とある四年生の方を筆頭に、仙台別天地「竜泉寺の湯」という銭湯が流行っています。自分も連れて行ってもらったりしています。銭湯くらい一人で行けよ、って感じですけど、あいにくそこは泉中央よりさらに奥の処にありまして、自転車なんかで言ったら帰りは、はい、その通りです。車持っている方にコバンザメするしかないわけです。ところがＳＰＵＲの執筆を始めようと考えていた六月中旬にどうしても竜泉寺に行きたくなりまして、ＯＢの方から頂いた原付を飛ばして、行っちゃいました。竜泉寺は、名物：炭酸泉をはじめ、いくつかの効能浴槽、サウナとまさにＴＨＥスーパー銭湯でお金はかかるものの本当にリラックスできる空間です。その日は、体洗って炭酸泉に三十分くらい浸かって、グダグダとマイペースに過ごしました。特段疲れがあるわけではなかったので体の角栓を全開にして入学後に増えたニキビを減らしてやる、みたいなノリでした。

そうそう、大学入ってから本当にニキビが増えました。ネットとかで「大学生　ニキビ」と調べると「大人ニキビは治りにくい」とか「大人ニキビ　不潔」とか書いてあって、それらを見てさらに増えた気もします。また、小学校の頃に汗疹やデリケアＭ，Ｓ塗る湿疹とか頻繁にできて肌は弱いほうではありましたけど、中高と落ち着いてしばらく落ち着いていましたが、大学入ってまた湿疹や汗疹など肌の弱さが現れました。皮膚科の先生からは保湿しなさいの一辺倒でＮＩＶＥＡ塗っているのに良くなる兆しはいまだにありません。皮膚は外的ストレス、精神的ストレスで荒れるとかはよく聞く話で、一人暮らし、また仙台という新しい環境への適応というストレスがその要因であることは間違いないのですけど。しかし学校、バイト、また一人暮らしに慣れ、さらには部活が楽しい今も相変わらず改善はないです。一応、今は前と違い塗布薬を常備しているのでひどく荒れることはあまりないです。しかしながらニキビのほうは、不定期で暴れるのでかなり嫌なもので、はっきり言って鏡を見たくないくらいです。

もともと神経質なほうではあります。特に人からの目はすごく気になりますし、さらには無駄なこだわりがあって正直めんどくさい人間です。いまは、なるべく他者にはそのこだわり（あるいは感情）を押し付けないよう気を付けています。これは私のここ数年の成長の一つで「せっかく人といるなら笑ったほうがいいじゃん精神」を大事にしています。おかげさまでいろんな人と飲むのは楽しいです。いまの私は、スキー部が精神の安定剤になっています。部活に出れ

ば話をひたすらきいてくれる同部門の三人や面白い同期の仲間がいたり、童貞こじらせている先輩がいたりして。楽しいや。

あ、それでお風呂の話に戻ります。炭酸泉に三十分使った後、もう時刻は日付をまたいでいて、いい感じの眠気もあって、サウナは今日はやめようと決めて、「不感の湯」という三十六度ほどの温くてそこから泡が出てくるお風呂に浸かることにしました。―ここでやっとこの文章のミソに入ります。―この泡がすごかった。力があって、自分の体が上に押し上げられるのです。勿論座ろうと思えば普通に座れるのですが、眠くてトローンとしているとプカーと押し上げられるわけです。ふとその時、なんでか本文章の四・五段落の内容が頭に浮かんできてー。

人は誰しもが地球にいる限り重力という巨大で強力、あるいは暴力的とまでいえる拘束の中で生きていて、この拘束を抜けるためには、膨大なエネルギーが必要で、そんなエネルギーなど国家単位でないと入手はできないことは自明である。加えてこの宇宙法則の根となる重力をいついかなる時も無視することはできなくて、仮に地球の重力を脱出した探査機は別の惑星の重力を受けることになる。勿論、この宇宙法則のもと今の世界があるわけで探査機も重力を利用してエネルギーを節約する。つまり人は重力に降伏し、そのもとで生を強要されたのだ。

一方で、浮力は重力とは逆のベクトル持つ力だ。（おそらく「不感の湯」で得た“上に押し上げる力”は、正確には浮力ではないが、ここでは浮力を「浮かせる力」としてとらえてください。）浮力によって、地球中心へのベクトルの絶対値は減少し人は重力の支配を軽減することができる。しかしながら、重要なことは浮力とは場所に依存するということだ。一度ある場所で浮力を得てもその場所を抜ければ、再び無慈悲な支配に引っ張られる。だから人は抜けようとはしない。しかしながら、浮力を与える場所の安定も長いとは限らない。水たまりは干上がり、上昇気流はやがて熱を失い消滅する。そのたびに人は重力に捉えられ、再び服従を強いられる。そして、拘束された者は再び場所を探すのだ

ストレスは、いついかなる時も人に課される。確かにストレスフリーの人もいるのだろう。でもそれは、きっと絶え間ないストレスとは逆のベクトルの何かが働いていているからだと思う。逆にストレスに苦しみ続ける人は、それがないのだと思う。正直、苦しむ時間が長ければ幸せな時間も増大するという説もあるが、私はそうは思わない。限られた人生の中で、池や海、あるいは噴火口と絶対的な重力に対する浮力をくれる場所を探し見つけ、場所がなくなれば探すことの繰り返しで、十分苦しんだから、この湖で定住なんてことは叶わぬ願望なのだ。

幼い思考を持つ私は高校生あたりからストレスという存在に気付き始めました。別にごく一般的な人生でストレスを語る身分ではないけれども、対人関係や自分の存在意義などにひどく敏感で繊細な時期―いわゆる青年期―に支配に気付いた神経質な私にその力にひど

く恐れおののき、その力に服従を強いられ、どうすることもできずにいました。

はい。以上です。文章書くのが苦手でこんな感じです。実にメンヘラですね。この文章で何かを説くとかそんな意図は全くなく、こんな時期があったのだと、ただ残しておきたかっただけです。はい。では。

長野の紹介

平澤　拓海

はい、こんにちは。特に書くこともなかったので全力でぼくの地元長野について宣伝します。そうだ！信州に行こう！

はい、まずは長野といったらみなさん何を思い浮かべますか？野沢とか、白馬とか内田屋とか思い浮かべましたか？完全にスキー部に侵されてます。気を付けてください。

冗談はさておき、長野のイメージといったら、やっぱり観光地のイメージが強いのではないでしょうか？特にスキー行って温泉行くみたいなのが一般的な感じですよね？もしくは善光寺や松本城などの建造物だったり長野と言ったら軽井沢みたいなイメージがあるかもしれません。そう！長野県は観光資源の聖地なのです。

ということで今回は平澤拓海的、絶対成功する大好きな人と行きたい！！長野２泊３日プランを特別にご紹介します。これであなたも恋人との仲が深まること間違いなし！（設定は冬で臨場感を味わいながらお楽しみください）

ピピピピッピピピピッ、ガチャン。朝７時、今日は彼女とのデートだ！楽しみだなー。たくみが用意してくれたデートプランがあるから間違いなく楽しめるぞ！

朝８時仙台駅から新幹線に乗って長野に出発だ！ビューン。１０時半もう長野だー！新幹線は素晴らしい。現代技術は素晴らしい。まずは善光寺に行くぞ！参道には古くからのお店が並んでいて昔の雰囲気が楽しめるんだぞ！そして、いざ境内へ。ちゃんとお参りしようね！善光寺は歴史のあるお寺でその価値が認められ国宝にもなってるんだよ！善光寺周辺ではおいしいお蕎麦屋さんがたくさんあるからおすすめだよ！善光寺の後は戸隠神社に行こうね！杉の大木が圧巻！その杉林を進みながら戸隠の神社をめぐる！絶対に外せないスポット。ちなみにアマテラスの伝説に由来する土地なんだよ！

戸隠を巡ったら志賀高原まで移動してホテルで一泊。温泉もあるし最高だね。サルにだけは気を付けてね！

さあて、２日目、当然スキーだー！。志賀高原は日本でも最大級のスキー場だし１日で全部回るのは厳しいかもしれません。スキーやって温泉入って最高ですね！

３日目は少し移動して軽井沢へ！軽井沢は長野の東京といわれるくらい東京の人がよく来るんですね。もちろん目当てはショッピン

グ！彼女に思い出に残る素敵なプレゼントを買ってあげましょう。クリスマスの時期とかはイルミネーションめっちゃきれいなのでそっちに訪れるのもあり！最後は軽井沢から仙台までビューン。素敵な2泊3日の旅でした！

はい、いかがだったでしょうか？個人的に外せないデートプランを想定した短編小説(にもなってない)でした。ああ、めっちゃデートしたい。誰かいい女の子紹介してください。ただ単に自分の妄想でしたね。最後まで読んでいただきありがとうございました。

他己紹介～2年生編～

藤野　寛司

こんにちは。経済学部二年の藤野寛司です。早速ですが、本題に入ります。俺は同期が大嫌いです。なぜなら奴等は入学してから一年たった今まで、ずっと猫を被っていたからです！入学当初とは完全に異なるキャラに成長した奴が多すぎます。そう！今までの僕の同期はすべて偽りの姿なのです！そこで、今回は僕が二年の真の姿を皆様にご紹介します。今だからこそ、できる他己紹介なのです。順番は五十音順です。ではスタート！

浅野颯太

こいつ一番嫌い。彼はいつも遠征に多くのお菓子を持ってくるのですが、勝手に食べたら怒ります。マジでなんやねん。「お前の物は俺の物」といつも言い聞かせているのに、全く聞く耳を持ちません。ふざけんな。ここで、皆様に、このお菓子大魔王と仲良くなるための必殺の連携を教えます。颯太はいつも甘いお菓子（ポッキーとか）を持ってくるので、塩辛いお菓子を持っていくのです。そうすると彼の甘いお菓子と持参した塩辛いお菓子が並ぶため、全く偏りのないバラエティに富んだコーヒーブレイクを楽しめます。

そして彼はお菓子大魔王ということ以外にも、バンド大好きマンであることが特徴として挙げられます。ＫＥＹ　ＴＡＬＫとか言うバンドが好きらしいですね。このバンド、十分人気バンドの一角ではあるようですが、コアなファン以外の認知度はイマイチらしく、知らない人が多いです。新歓合宿のとき「好きなバンドは？」的な質問をされたときに「ＫＥＹ　ＴＡＬＫ」と彼は答えたわけですが、上級生の反応は極めて薄かったです（笑）幸い萌さんが知っていたらしく、場の空気が凍り付くことはありませんでしたが、やらかしてましたね、あれは（笑）

しかしこれだけでは彼を紹介したことにはなりません。彼の最大の特徴。それは「フッ軽おじさん」であることです。「フッ軽」とは「フットワーク軽い」という意味なんですけど、とにかく遊びに行くときの一歩目が早い（笑）スキー部内で実施された「呼んだら絶対に遊び来る部員調査」の結果は

一位・・・浅野　颯太

二位・・・浅野　颯太

三位・・・浅野　颯太
四位・・・藤野　寛司
五位・・・浅野　颯太
となりました。部員から絶大的な支持を集めています。僕も、まあまあな「フッ軽」なのですが、全く歯が立ちませんでした。正直まだ、書くことはあるのですが、終わる気配がないので次に行きます。

池田　翔
彼について抑えなければならないポイントは３つです。
①チャンカワイ・・・顔がチャンカワイに似ている。
②ミスター球技・・・球技の参加率高すぎ～～！
③メンタル最強・・・女の子に告白した回数は十回以上（あくまで本人談。実際は二十回を超えていると思われる）。だが強い！メンタルが！何回玉砕しても絶対にあきらめない！
彼については、これだけわかっていればＯＫです。しいて言うなら「ななこ」くらいですかね。次行きます。

石原　たくみ（漢字忘れたわ。覚えにくいねん。）
コンバインドのムードメーカー？まあ、新歓合宿の時から底抜けに明るいやつでした。最近、新入生を迎えて初ジャンに行った際、デモンストレーションの２年としての彼のジャンプを見てびっくり！「コケる気配がない・・・・」彼は入学したときの初ジャンでランバンすらおぼつかない部員でした。正直圧倒的な成長を見せつけられ身が引き締まる思いでした。まあ、今回の初ジャンのデモンストレーションでアプローチ組む所に水が出ていなくて、こけた挙句ゴーグルバッキバキにしていましたが・・・
俺が水くらい撒いてやるよ（笑）
だがしかし！こいつも颯太同様に腹が立つ野郎です。俺のこと完全に馬鹿にしているみたいで、あんまり言ってほしくない事を後輩の前で暴露してめちゃくちゃ煽ってきます。特に木曜のＬＳＤの最中がひどい。マジで許さん。マジで許さん。マジで許さん。大事なことなので三回言いました。
あと、言っておかなければならない事といえば、ヒュッテの彼は食器の洗い方が汚いです。皆で使ってるものやねんから、きれいに洗えや。お前の家の汚い食器とは違うねん。ボケ。
最後に個人的に言いたいことがあります。ヒュッテ合宿の最中に息抜きでゲレンデスキーをするのはいいけれど、無許可でワックスも剥がさずに俺の板使うのヤメロ。しかも、Ｒ３５のＧＳ板使うって何やねん。怪我したいんか？あ？もちろん貸してあげようとは思いますが、使用後に事後報告とかクズ過ぎます。
皆さんこれが石原君です。まあ、俺に対する舐めた態度は許せませんが、基本的には良いやつで面白いですね。もうちょっと誘ったときに素直に来てくれると嬉しいですが（笑）

岩瀬　りょう

理由はよくわからないけどラインのグループにまだいます。たぶん寂しいのだと思います。もうやめた部員なので、細かくは言及しませんが、かまってほしそうな雰囲気を出してるので、名前だけ紹介しておきます。

大沼　恭子

アルペンの姉さん。圧倒的な面倒見の良さ！スキーの実力も申し分ないです。ヒュッテの調味料類が切れることなく供給されているのは、彼女がいつもヒュッテの棚を整理し、量を確認して、買い物の指示をくれるからです。もう、頭が上がらん。いつもありがとう。この面倒見の良さに関しては「さすが看護学部」としか言いようがないです。

う～ん、いろいろ考えたんですけど、あんまり部活外での絡みがないですね。まあ、彼氏に怒られるのは嫌なので、仕方ないと言えば仕方ないんですけど・・・　今年のスキーシーズンまでに一回ご飯でも行きましょう。同じ部門の2年生として、本当に頼りにしてます。

来年のシュプールでも他己紹介～三年生編～を書こうと思うので、その時にはたくさんのことを書けるようにしておきます。

島田　なりさ（漢字覚えてるけど変換しても出てこない。　ひらがなで行きます。）

本名は「島棚　理沙」です。皆さんしっかり覚えてください。コンバインド2年の唯一の女子として可愛がられているようです。しかし、「コンバインド愛され女子選手権」において、コンバチーフしのぶさんに圧倒的大差をつけられて敗北（あきらめろ。相手が悪すぎた）。必然的に「雑に扱われるいじられ女子」に就任。コンバ二年から容赦ない扱いを受けています。おそらく、当分の間はこの状態が続くでしょうね。他部門の二年からも雑に扱われる日は近いかと。しかし、異常な対応力でこのキャラにも順応しつつあります。今後に期待です。ただし口空けてボーっとするにはやめた方がいいと思う。

競技面について言うと石原同様に成長が異常。正直ジャンプの上手いとか下手だとかは詳しく分からないが、初ジャンでランバン危ない系女子だった彼女は立派に今年の初ジャンのデモを務めあげていました。素人目に見ると石原同様こちらもコケる気配はありませんでした。ただし、飛んでいる最中うるさい。宙に舞っているときに、大声で叫ぶ癖何とかしろよ（笑）まあ、ジャンプの前に一曲熱唱するくらいの余裕があったのは驚いた（詳しくは今年の初ジャン２回目の動画をご覧ください）。はい、一人ひとり丁寧に書きすぎて疲れてきたので、あとはざっくり行きます。

白木　悠大

二年の可愛いキャラ。浅野とかわいいキャラを取り合ったが、圧倒的勝利を収めた。高校時代は山岳部に所属していた。俺とはＬＳＤの時に一緒に話をすることが多い。圧倒的な聞き上手。基本的に俺の愚痴を聞かされているような気がする。いつもごめんなさい。話が上手いかと思いきや自称「コミュ障」。結構以外です。彼のアルバイトは採点のバイトなんですけど選んだ理由が「人とかかわる必要がないから」だそうです。僕はバイト先の人とも仲良くなって遊びに行くこともあるので、「それはつまんないでしょ」といっているのですが、彼の心には響かないようです。そういえば彼がこれまでにやってきたバイトって模試の試験監督とかばっかりで、確かに「人とかかわらない」を徹底しています。まあ、個人の自由なのでとやかく言いませんが、普段の様子を見ている限りでは人とかかわる楽しさも見いだせると思うのですが・・・　皆さん彼を見かけたら積極的に話しかけてあげてください。

一緒にカラオケに行ったりすることもあるのですがバンドの類が好きみたいですね。彼はいつもカラオケにいくとバンプの「かさぶたぶたぶ」という、曲を歌います。白木とカラオケに行く機会があれば是非注目してあげてください。

ここで、最後にこれまで誰も触れてこなかった、厄介な問題にメスを入れます。そう！呼び方問題です。基本的に皆から「白木」と呼ばれていますが、一部の人（特にりんさん）からは「悠大」と呼ばれています。僕はどっちがいいのか考えました。三日三晩寝ながら考えました。最終的に「悠大」と呼ぶべきだという結論に落ち着きました。と、言いますのもランナー二年の四人は全員苗字呼びで、大変壁を感じる呼び方であるからです。アルペン二年は四人とも名前呼び。コンバ二年は名前呼びが二人、平澤と「たくみ被り」している石原が「イッシー」と呼ばれているので、苗字呼びとは言えないでしょう。これらのことからわかるようにランナーだけが全員苗字呼びなのです。これ、駄目でしょう?卒業までに改善したいです。とりあえずこのＳＰＵＲが発行された日から、皆さんご協力お願いします。

高野　祥徳

こいつを語らずに、スキー部は語れない！名物部員です。北海道出身で高校時代陸上部として八〇〇ｍをやっていた彼は、スキーもできてスタミナもある、ランナー期待の星です。ただし練習態度に若干の難があり、とにかく寝坊が多い！我々は寝坊して朝練をサボることを「ねぶっち」と呼んでいますが、彼は「ねぶっち」の権化であります。まあ、多いこと。さすがに干されるぞ思うのですが、ねぶっちをすればするほどにイジッてもらえるため、ねぶっちの量と彼の人気者度には正の相関関係があります。練習サボって人気者とかせこすぎるだろ！ふざけんな！

入学したときは、完全なる「インキャ」でしたよ。全然しゃべる印

象が無いです。正直、二セメまでは高校の時の友達が一人いたくらいで、スキー部員を除くとボッチでした。しかし、その高野のポテンシャルを見抜いたスキー部二年は徹底的に彼が笑いを取れるように調教しました。熱い日照りの日も、豪雨の日も調教を続けました。そして、ついに彼は完成形となりました。時折発生するダルがらみに対するリアクションもぴか一です。ｌｉｎｅのスタンプにモップを持って掃除をしているスタンプがあるのですが、彼は、その正直使い道のないスタンプの画期的な使い方を発見するという偉業を成し遂げました。興味のある人は高野君に「う〇こ」のスタンプを送り付けてください（笑）

手塚　尚吾

Ｍ★Ｏ★Ｍ★Ｉ★Ａ★Ｇ★Ｅ

細井　拓真

スキー部の世界遺産担当。今年は世界遺産検定一級に挑む。

平澤　拓海

彼女いることを俺に報告しなかったお前は大嫌いだ。紹介したくない。山〇　う〇ん。

これで、二年の他己紹介を終わります。たぶん他の学年の人は知らないような情報もあったと思います。来年もやろうと思うので、僕の同期に関するタレコミお待ちしております。

最後に

みんな大好きです。

終わり。

五十音

細井　拓真

今回シュプールを書くに当たり、色んな事について書きたいと思ったので、「あ」から「ん」までの五十音から始まるものや人で自分が好きで気に入っていて、印象に残っているのを並べてみました。

（注）あくまでもシュプールを書いている間で真っ先に思い浮かんだことなので、自分の本当の意思との相違はあるとは思いますが、ご了承ください。また、かなりメンタルが不安定な状態で書いたので、意味不明な点や、不適切だと思われる表現が見られるかもしれませんが、ご了承ください。

あ　新垣結衣　・・・自分が最も好きな女優。あの人を幸せにするオ

ーラはどこから出ているのか知りたい。演技も美貌も声も性格もどれをとっても神の領域。

い　生田絵梨花　・・・乃木坂４６のメンバーで、演技力や歌唱力など、様々な才能を持った人物。才能がありながら常に新しい自分を発信し、努力しているのは、本当にすごいと思うし、見習いたい。まさに、努力する天才。

う　宇宙戦艦ヤマト　・・・自分が少年期にはまったアニメ。地球滅亡が迫る中、イスカンダルを目指して、様々な困難を乗り越えるストーリーは男のロマン！かっこよすぎて、宇宙に行って宇宙人に会いたくなるレベル。

え　エクアドル　・・・南米の国家。スペイン語で「赤道」を意味するらしい。赤道が通っているからって名前単純すぎると思うが、国旗のデザインかっこいいし、キトの市街やガラパゴス諸島などの世界遺産もあり、結構好き。

お　オリンピック　・・・古代ギリシアから伝わるスポーツの祭典。四年に一度っていうのが素晴らしい。毎回感動と興奮の嵐が起きる。

か　勝海舟　・・・幕末に咸臨丸で外国に行き、幕府側でありながら開国を主導した人物。坂本龍馬の師としても有名。彼の器の大きさは計り知れないと思う。意地を張ることなく江戸城無血開城を実現した功績はかなり大きいと思う。

き　弓道　・・・高校三年間部活で取り組んだ。一見すると的に当てるだけの単純な競技だが、意外といろいろ意識しないと安定しなくて、難しい。弓道をやってメンタルが鍛えられ、少しのことでは動じなくなって、メンブレが起きにくくなったし、起きてもすぐに切り替えられるようになったとは思う。ただ、逆にリアクションが薄くなったかも・・もっと気持ちを体で表現したいとは思う。

く　クロスカントリースキー　・・・楽しい瞬間は十回に一度くらいかもしれないし、難しいけど、できないからこそやりがいがあるし、技術と体力だけじゃない、道具や雪質や天候やワックスなど、多くの要素があって成り立っていて面白いスポーツだと思う。今年はスキーをもっと好きになりたい！

け　経済学　・・・最近かなり面白いと思ってきた。世の中の動きを分析している感じが楽しい。数学を使いまくるので、数学も含めてマスターしていきたい。

こ　恋　・・・楽しいけど難しくて切ないという感想しか出てこないけど、恋をすることで幸せや苦しみを味わい、心が豊かになっていくのだと思う。人生には不可欠だよ！　　偉そうに語っていますが、スルーして下さい。

さ　真田幸村　・・・最も好きな戦国武将。父の真田昌幸の軍略の才を受け継ぎ、真田丸を建設したりなどの、大坂の陣での活躍は本当にすごい。華々しい最期を遂げるのもかっこよすぎる。

し　諸葛孔明　・・・孔明みたいな頭脳が欲しいとよく思っていた。三国志演義での活躍ぶりは神の領域。数多くの伝説がある。

す　スリジャヤワルダナプラコッテ　・・・スリランカの首都。響きが素晴らしい。

せ　世界遺産　・・・今一番ハマっている分野。元々興味はあったが、

大学に入学後、何か検定を受けて視野を広げようと思い、一番楽しく勉強できそうな世界遺産検定を受けることにした。各地域の歴史や地理はもちろん、絵画や建築様式や宗教など様々な分野を学べるし、海外旅行の際は１００％役に立つので、是非趣味のない方は学んでほしい。

そ　宙船・・・色々あったＴＯＫＩＯの曲の中で一番好きな曲。というかこの曲以外をあまり聞いたことがない。曲のリズム感がいいし、歌詞も素晴らしい。さすが中島みゆきだと思った。

た　田中将大　・・・最も好きな野球選手。楽天での２４連勝の時はマジですごいと思った。ヤンキースでの活躍も素晴らしい。ぜひ大谷翔平と対決して欲しい。

ち　地球儀　・・・中一の時は毎日眺めていた。地図と違って球面だと、色んな発見があって楽しい。あと、グルグル回せるから遊べる。

つ　土屋太鳳　・・・演技もできて運動もできて可愛くて、何刀流だよって思う。すごくストイックなところとかは本当に尊敬している。

て　ティムール　・・・一代で大帝国を作り上げた人物。戦の天才で、チェスを好んでいた。

と　トルコ　・・・オスマン帝国もだけれども名前の響きがいい。少しだけヨーロッパに領土があるのも歴史を感じて面白い。

な　納豆　・・・美味しい。

に　日本語　・・・英語や中国語を勉強して、改めて日本語の多様性を実感する。

ぬ　抜き足差し足忍び足　・・・これしか思いつかなかった。慎重さは重要！

ね　ネーデルランド　・・・オランダの正式名称。低地の国という意味。

の　ノルマンディー上陸作戦　・・・歴史に残る作戦。映画ダンケルクでも見られた脱出劇から時がたち、劣勢だった連合軍の反撃が見られる。

は　ハワード・カーター　・・・イギリスの考古学者で、エジプトのツタンカーメン王の墓を発見した人物。王家の呪いなどが噂される中、諦めずに目的を達成した人物。自分だったら呪いと聞いた時点で引き返す！

ひ　冷やし中華　・・・夏の必需品。野菜もとれるし冷たいし最高。

ふ　不協和音　・・・歌詞がよくて、カラオケで一回歌ったら、スキー部でカラオケに行くとなぜか歌うことになる。「僕は嫌だ！」

へ　変人　・・・最低限の常識があれば、個性が強い変人の方が人生が楽しいと思う。

ほ　報連相　・・・美味しい。

ま　マゼラン海峡　・・・マゼランが大西洋から太平洋へ向かう際に発見した航路。地図で見るとよくあんなギザギザのところ通れるなあと思うが、パナマ運河のない当時から考えれば、本当にすごいと思う。マザランがフィリピンで殺されてしまったのは残念。ぜひ世界一周を達成してほしかった。

み　ｍｉｗａ　・・・よく聴いて癒されている。あの美声はどこから来るのだろうか。

む　無人島　・・・一生に一度は行ってみたい。虫とか割と平気なので睡眠とかは心配ではないが、食料調達にてこずりそうなので、生活力のある人と一緒に行きたい。あと、話し相手がいないと恐怖と寂しさでおかしくなりそうだから、二人以上で行きたい。

め　メッシ　・・・最も好きなサッカー選手。あのドリブルができたら人生が二倍は楽しくなると思う。さらなる伝説を残してほしい。

も　ももいろクローバーＺ　・・・なんだかんだ一番好きなグループ。どんどん成長していくストーリーは、マジで感動する。あのパフォーマンス力の高さはトップクラスだと思う。見ているとやる気・元気・根気?がもらえる。つらい時ややる気の出ないときは聴くことを勧める。

や　山本勘助・・・武田信玄を支えた軍師。ナンバーツーとして戦などで大活躍。自分も陰で支えられるような人になりたい。

ゆ　雪　・・・神秘的。夏が近づくにつれて恋しくなる。

よ　ヨーグルト　・・・毎朝食べている。フルーツを入れて食べると絶品。

ら　ラッキー　・・・奇跡が起きるのは、そうなりたいと願うからだと思う。

り　リンカーン　・・・アメリカ大統領の中で最も尊敬している人物。彼がいなければ奴隷解放も遅れていたし、南北の体制の差がより深まり、アメリカが分断していたかもしれない。彼の残した名言はマジでかっこいいと思う。自分もなにか名言を残したい！

る　ルンバ　・・・名前が面白いし、非常に有用。自分の家にも欲しい。

れ　レモン　・・・最近かなりおいしいと思ってきたフルーツ。キリンレモンとかレモンティーとかも良く飲む。鮭のホイル焼きの上からかけたらめちゃくちゃ美味しい。確かに酸っぱいけど、その刺激がたまらない。

ろ　ローマ帝国　・・・長期にわたり繁栄した帝国。地中海を囲むような領域の形が結構好き。共和政の時から様々な困難を乗り越えて大帝国を作り上げていく過程が好き。ローマは一日にして成らず！トラヤヌスとユスティニアヌスがやはり偉大だと感じる。ゲルマン民族の大移動で滅亡して東西に分裂するという終わり方をみても、盛者必衰を感じる。

わ　ワンピース　・・・高3の十一月に勉強の合間に最初から全部見て、感動しまくった。キャラクターそれぞれの熱い思いに胸を打たれた。ただ、結局すごい人は血筋がいいのかとも思ってしまう。

を　をかし　・・・「を」から始まる言葉が見つからず、古語に頼ることになった。皆さんおなじみの言葉。東北大学スキー部いとをかし。

ん　ンゴロンゴロ自然公園　・・・タンザニアにある世界遺産。初めて、「ん」から始まる言葉があることを知った。マサイ族が一帯に住んでいるらしい。

Ｅｎｄ

三年生

三年目

青木　佑海

三年目にもなると何を書けばいいのか分からず悩んだ結果、この間読んだ本の紹介でもしようという考えにいたった。文学部なのに文章を書くのが苦手な私には、作品を上手く紹介できるか不安ではあるが、とりあえず書き進めようと思う。本のタイトルは「楽園のカンヴァス」著者は原田マハであり、様々な賞を受賞した有名な作品である。なんとなく聞いたことがある本だなという想いでこの本を手に取ってみたが、この本が話題になったのも納得だと思った。

この本のあらすじとしては、スイスに住む伝説のコレクターが、ルソーの代表作「夢」と酷似した一枚の絵を所有している。彼はこの作品が、真作なのかあるいは贋作なのか、その判定をするべくニューヨーク近代美術館のキュレーター、ティム・ブラウンと日本人でルソーの研究者である早川織絵を招いた。彼は絵のタイトル「夢を見た」と同じタイトルの七章から成る古書を七日間かけて読み、七日後に真贋判定をし勝者にはこの絵を扱う権利を与えると二人に告げる。とこのような感じで物語は展開していく。古書の中にはルソー、彼が愛した女性ヤドウィガ、そして彼の絵の理解者であったピカソなどが登場するのだが、本を読んでいると、自分もこの時代を生きているかのような感覚になるのだ。絵に隠された真実をひも解くという芸術とミステリーの融合が非常にうまく描かれている。読み終わった後には感動もあり、必ずもう一度読みたくなるような本である。

私は芸術には疎いのだが、この話を読みながらルソーの作品を調べ彼の作品に触れることができた。また美術館に行きたいという想いが強くなった。この本では事実とフィクションがうまく混ぜられて、ルソーの作品名のように夢の中にいるような気になる。私のつたない文章力では十分に書ききれないので、ぜひ読んでみてほしい。

まずは一か月無料体験

木村　香穂

こんにちは。木村です。もう1年半くらいネットフリックスを契約していますが、ネットフリックスへの愛が冷めやりません。そもそもテラスハウスを見るためにネットフリックスを始めたので、テラスハウスを語らずしてネットフリックスは語れません。テラスハウスほんとに面白いです。何が面白いってスタジオメンバーのトークと副音声が面白い。私は一回普通に見て、次は副音声・字幕付きで見ます。二回見てこそのテラスハウスだと思ってます。でも最近、スタジオメンバーと意見が合わないです。悲しい。

あと、ネットフリックスは私の大好きないつ恋も見れる！最高！いつ恋っていうのは『いつかこの恋を思い出してきっと泣いてしまう』っていう２０１６年のドラマなんですが、ほんとに好き。１０回は

見ました。たぶん。暗いと思われがちですが、意外とふふふってなります。私だけかもしれないですけど。でも、負けないでを歌ってくる甘部さんとバスの僕はいいんですけどねおじさんを筆頭とする乗客たちはほんとに腹立つ。なんなんだ。とりあえず、登場人物みんな顔がいいです。それだけで見る価値あると思います。あと、静恵さんがすっごくかわいい。かわいいおばあちゃんになりたいものですね。ちなみに、わたしのおばあちゃん、嘉子もすっごくかわいいです。わたしに「このさんま、なんの魚だ～？」って意気揚々とクイズ出してきました。さんまだね。

ネットフリックスで見れるドラマといえば、『最高の離婚』も面白かったです。いつ恋と同じ脚本家だ。あと『素敵な選ＴＡＸＩ』。頭使わずに見れるので良いです。バカリズム脚本なんですけど、バカリズム脚本の『架空ＯＬ日記』と『住住』も面白くて大好きです。ネットフリックスで見れないけど。Ｈｕｌｕで見れます。最近、Ｈｕｌｕも結構いいことに気づきました。ＷＯＷＯＷの連続ドラマＷがたくさんあるのと、『時効警察』があるところがポイント高いです。時効警察なんて私が小学２年生の時のドラマなのに。

ネットフリックスの話に戻ります。『クィア・アイ』も面白いです。クィって発音難しすぎる。クィアの５人がファビュラス５としてイケてない男の人をかっこよく変身させるアメリカのリアリティ番組です。ファブ５がとっても魅力的です。わりと考えさせられる部分もあってほんとにおもしろいと思います。最近、シーズン２が始まってうれしいです。タンが韓国アイドルのペンタゴンのフイ君にすごい似てると思って、誰かに伝えたいと思ってたけど、誰にも伝わらないし、そんなことを思っているうちにたぶんそこまで似てない気がしてきました。タンも誰って感じだし、フイ君も誰って感じですね。ネットフリックス、普通に映画いっぱいあるし、結構新しいのも配信されるし、ダウンロードできるし、オリジナル作品面白いし、ほんとにすごい。月６５０円だし。すごい。これを書いてて、フールって打つとＨｕｌｕってでてくるのに、ネットフリックスって打ってもネットフリック巣ってでてくるので、Ｎｅｔｆｌｉｘの読み方不安になりました。ワードにはもうちょっと頑張ってほしいです。

寝不足

串田　拓也

寝不足が続いております。なんでかっていうと、遠距離の彼女と毎晩遅くまで電話してるからです。ふだん会えない分、やっぱし電話だけでもということで彼女から電話がかかってきて困っております。な～んつって、うそぴょん。寝不足の原因はW杯、観てるからです。ついつい見てしまうんですよね。そんなW杯も、もうベスト８が出そろいましたね。内訳はヨーロッパ６か国、南米２か国となっています。そこで今回のＳＵＰＲでは、ベスト８から決勝までの対戦と得点をズバリ予想していきたいと思います。いぇい！

まずは準々決勝から。

フランスｖｓウルグアイ　２―１でフランスの勝利
ブラジルｖｓベルギー　３―２でブラジルの勝利
スウェーデンｖｓイングランド　１―１　ＰＫ戦でイングランドの勝利
ロシアｖｓクロアチア　１―２でクロアチアの勝利

次に準決勝
フランスｖｓブラジル　２―２　ＰＫ戦でフランスの勝利
イングランドｖｓクロアチア　１―２でクロアチアの勝利

最後に決勝
フランスｖｓクロアチア　１―２でクロアチアの勝利

普段はサッカーとか観ないけど、Ｗ杯になるとエセサッカーファンになる僕の直感で決めました。んなもんで、誰が点を獲るとかチームの分析とかあんま考えないでそれっぽい得点にしてみました。個人的には、クロアチアが優勝すると予想している人はあんまいないんじゃないかなと思ってます。だからもし万が一、決勝だけでも当たってたら、誰かラーメン奢ってくだちゃいね(笑)。それにしても、日本の試合は惜しかったですね。２点先制したときは、家で一人、観戦しながらも興奮してしまいました。実に残念。まあ、ベルギーはランキング３位のチームだし、結果的には予想通りではあるのかもしれませんけど。なんかもったいない感じであります。４年後の次回Ｗ杯での日本代表に期待しましょう。

ではでは。

将来の夢

新海　孝洋

先日、社会人の方とお話しする機会があり、進路についてふと考えてみた。まず思いつくのは企業への就職である。つまりサラリーマンになるのである。彼らは自らの家族のために休日以外は夏休み関係なく働き続ける戦士である。日々会社という戦場で戦うのだ。さらに彼らは戦場へ向かう際も満員電車という名の忍耐力訓練を行っている。私はここでリタイアすることになるだろう。二つ目の道は大学に残ることである。教授になることは非常に狭き門だと思われる。私にとっては目をつぶって実験レポートを書くくらい困難だ。ポスドクは、、、無理です。

あぁ～、現実から逃げ出したい。何ならポケモンの世界に行き、トレーナーとして生きたい。私はそう思った。彼らは日々熱いバトルをしてポケモンのレベルアップとともに自身も友情、信頼、努力そして、愛を手に入れ人間として成長していくのだ。なんと素晴らしいことか！これこそが理想の人生ではないか！１０歳となり成人した少年たちはポケモンバトルで立派にお金を稼ぎ、、、、、、、、、、、私は疑問を感じた。そう見落としていたのだ。彼らは負けたら当然お

金を失うのである。つまり黒字になる者もいれば損をする人間もいるということである。主人公の様に大金を得る人間もいれば、ポケモンバトルに依存して多額の借金を背負う人間もいるはずだ。さもすればカイジの地下労働施設さながら借金を返済するため奴隷のように働かされるに違いない。何とも過酷な世界である。１０歳の少年に旅をさせるにはあまりに危険である。カントー地方（ｓｗｉｔｃｈの最新作はカントー地方らしいです）の１０歳未満のお子様を持つ親御さんはどうか再検討ください。

これらのことを踏まえ、何かの拍子でポケモンの世界に行ってしまった時は趣味としてポケモンを飼いつつ、温かい家庭と夢中になれる仕事がある人になりたい、そう思いました。（ポケモンは詳しくないので誤り等あると思いますが、不快に思われた場合は申し訳ございません）

かおるさん

竹井　しのぶ

私には、学科の友達にかおるさんという子がいます。本人と話すときは、「かおる」と呼ぶのですが、ほかの人に彼女の話をするときはなぜか「さん」をつけてしまいます。

かおるさんは意外と私より背が高いです。髪が長くていつもハーフアップをしています。色も白くて、いつも眼鏡をかけているのですが、眼鏡をとったら外国の人っぽくなります。つまり、美人さんです。

かおるさんはいつも一緒にご飯を食べてくれます。私はとても食べるのが遅いのですが、私に合わせてゆっくり食べてくれます。紳士。

かおるさんは、運動が苦手です。本人曰く、腹筋二回が限界らしいです。でも、よく歩きます。歩く速度は速いです。たぶん、もっと腹筋はあるはずで、ただしないだけなのでは。と思っています。

かおるさんは真面目で品があって常識があります。一緒にいると、背中がシャンとするような、私もちゃんとしなくては、と、いつも刺激をもらっています。勉強の話になると、かおるさんの頭は高速フル回転しだします。声のトーンが高くなり、話すスピードも上がって、噛む回数が増えます。いつも私は勉強の質問をかおるさんにしているのですが、早すぎて聞き取れないときもあります。そのときは、とにかく、「ありがとう！」と言って、自分でもう一回考えます。

かおるさんは、勉強以外の会話のときは聞き取れるくらいの速さで話してくれます。私はあまり口が回らないので、話すのが遅いのですが、せかさずに、話し終わるのを待ってくれます。聞き上手。

かおるさんは基本大人っぽくて、落ち着いた人なのですが、時々子供みたいにはしゃいで、ウキャーってなるときがあります。そういうところを見ると、微笑ましくなります。かわいい。

かおるさんは、寮の寮長です。寮長ってたくさん仕事があるみたいで、いつも忙しそうにしています。でも、仕事をちゃんとこなして

いるので、すごいなーと思います。私が何か困っているときは、何かしら提案をしてくれたり、アドバイスをしてくれたりします。知らなかったことを教えてくれる時もあるので、いつも目から鱗状態です。

かおるさんは私が授業に出てないときにとても助けてくれます。プリントを取っておいてくれたり、レポートを出してくれたり、ノートを見せてくれたり・・・。一年生のころから、特に冬場はとても助けてもらいました。

ここまで、かおるさんについて長々と語らせていただきましたが、本当はもっと語れるのですが、結果、何が言いたいかと申しますと、ＮＯかおるさん、ＮＯキャンパスライフだということです。引かれたかも。ごめんなさい。

今年も頑張ります。

地元の民

古畑　和樹

書くことが思いつかないので、スキー部には全く関係ないですが、地元の友達について書きます。

1．U君

U君は中学校時代からの友達です。今は地元の大学に通っています。４年生なので、最近まで就活で忙しかったみたいですが、無事内定をもらい、今は楽しく過ごしているみたいです。そんなU君ですが、最近はスマホゲームの荒野行動にはまっているみたいです。ボイスチャットができるらしく、いろんな人と会話できるのが楽しいのだとか。そしてU君は来週、その荒野行動で知り合った女の子に会うために、わざわざ新潟から大阪まで行くらしいです。健闘を祈ります。

2．N君

N君は僕が小学校5年生のときに転校してきた友達です。地元の高校を卒業した後、地元で就職し、今は立派な社会人として生活しています。去年会ったときは、彼女いないとか言っていましたが、先日会ったときも、やっぱり彼女はできていませんでした。そんなN君ですが、たばこが好きで一緒に焼き肉に行ったときも、ずっとたばこを吸っていました。あと、最近はパチンコにはまっているらしいです。この前、二日で二十万勝ったらしいです。僕はやっていませんが、ずっとパチンコの自分の打ち方の理論を語っていました。スマホには、勝った時のお札を広げて扇子みたいにしてる写真がありました。気持ち悪い。本人はパチンコを好きじゃないみたいですが、勝った時の脳汁、半端ないって！とか言っていました。こんな社会人にはなりたくないですね笑

3．S君

S君は小学校からの友達です。一緒にバスケ習ってて、小さい頃はたくさん遊びました。そんな彼は、地元の高校を卒業後、地元で就職しました。最近、１年半付き合っている彼女に包丁で刺されそう

になったと言っていました。まだ、交際は続いているらしいですが、次に会う時は棺桶の中かもね、俺の結婚式の祝辞か葬式の弔辞、どっちか読むことになるから考えといて、と笑いながら言っていましたが、笑えない冗談です笑

こんな人達ですが、出会ってからずっと仲良くしてくれている良い友達です。どれだけ歳を取っても、こんな友達と美味しいお酒を飲めると良いですね～

終わり

正橋　遼

地元の話

ＳＰＵＲの部員文も3回目となり書くことが思いつかなくなってきました。一昨年去年とミンティアについて書いてましたがさすがにネタが尽きました。地元の話をします。

出身は仙台三高で、今はそのあたりにいます。仙台三高は宮城県ではいわゆるナンバースクールって呼ばれる高校の一つ、と思ってたのですがウィキペディアを見たらナンバースクールには含まれないって書いてありました。5年くらい勘違いしてました。かなしい。三高の特色はアクセスが悪い所です。その悪さは県内トップクラスを誇ります。大学からここまで行くのは結構めんどくさいです。あとたまにタヌキとかでます。

そんな立地の良くない所に住んでますが、意外と周辺施設とかは充実してます。プールとかグラウンドとか本屋さんとか割とあるので、高校時代まではほとんど自宅周辺だけで過ごせてました。大学に入るまでは仙台駅の周りとか全然知りませんでした。十数年くらい仙台にいるのに正直仙台の街については県外から東北大に来た人の方が詳しかったりします。

大学の近くに住む東北大生にはあまり来る機会のない自分の地元ですが、一つだけ東北大生にぜひ来てもらいたい場所を挙げるとしたら、麺屋くまがいというラーメン屋が真っ先に思い浮かびます。仙台三高の近くにあるラーメン屋さんです。お昼時は行列もできる人気店で、テレビなどでもよくとりあげられているみたいです。中でもおすすめなのが鶏そばです。上にのっかってる鶏肉が本当においしいです。スープも濃厚で仙台駅周辺のラーメン屋さんで舌の肥えた東北大生にもおすすめできるお店です。機会があればぜひ立ち寄ってほしいです。

松尾　優太朗

闘傷記

※以下あったこと、思ったことを感じたままに書くので、文章がはちゃめちゃで少し読みづらいかもしれないが、決して俺の国語力

が低いわけではない。
十二月未明@音威子府
この日は若干アイスバーンだった。それまでは3つのコースの中では一番簡単？なコースであったため油断していた。下りでカッターの中で休んでいるとスピードが…やばい。目の前にカッターから外れたシュプール…誰だよ！ここでカッターから出たやつ！その瞬間シュプールに乗り上げ、転び、サングラスが吹っ飛び、俺の左肩と俺のシーズンも吹き飛んだ。そこからのことは事細かに覚えているが長くなるので割愛しよう。
診察＆ＣＴ検査
あまり覚えていないが肩に空気？を入れ、そこに造影剤を注入したような気がする。これがまた痛かった。終えた後も肩が骨から浮かんでいる感じで気持ち悪く、そして痛かった。その後ＣＴに入り何事もなく検査は終えた。そして診察なんだが、どうやら左肩の受け皿の部分の骨が複数回の脱臼により削れていたらしい。そして肩の関節唇も半分くらい？はがれていたようだ。手術しなければ治らないらしい。
入院１日目
この日は昼頃から病院にＩＮした。入院の手続きを終えた後、まぁ色々ゴチャゴチャやって一段落ついた。この日の説明によると、手術の前日の夕食後から手術日の昼、夜までは何も食べてはいけないようだった。これは俺にとって致命的だった。俺は燃費が悪く、食べてもすぐに出てしまう。だからその日の夜に必死に食べた。低カロリーの病院食に加え、おにぎり、菓子パン、サラダチキン等々。菓子パンを食べているときにＢＩＧ　ＷＯＭＥＮ（以下この人をＢＧとする）が入ってきて、俺を見て頑張って笑と言わんばかりの目で見てきたが気にせず食べた。
入院２日目（手術日）
とうとうこの時がやってきた。心配なのは痛いか痛くないか、そして術後のあそこに繋がれる管だ。ＢＧがやってきて点滴を打つと行ってきた。注射は苦手（昔ワクチンで失神したことがある）だから少し構えた。いざ針を刺すとこれがなかなか入らない。何度か刺された後に、針を変えてみると言って、それまでより細い針を取り出した。曰く、俺は血管が太いから太い針でも刺さると思ったらしい…そこでチャレンジしないでくれよ！昼飯後に病室にナースがやってきて、俺は手術室に連れて行かれた。仰々しい機器が立ち並ぶ中ぽつんと真ん中に手術台が置いてあった。俺はスリッパを脱いだ。手術台に登り、体をセットした。周りで先生とナースが機械を触り始めた。まず麻酔を打った…なんか気持ちいようなきがした。（ジャンキーではないぞ！）。その後首か肩か分からんが、ブロック注射という神経の注射というものをした。これをすると術後の痛みが楽になるようだ。今度は最終兵器、例のマスクを口に当てられる…同室の年配方は5秒と耐えられなかったようだから頑張った。１…２……９…１０…勝った。ここからの記憶はない。なんか夢を見ていた気がする。目が覚めたら急に吐き気がやってきた。あぁ、だから何も食えなかったのか。そこから長い一日が始まった。ブロック注射の効

果で左肩から先は全く感覚がなく、自分のものではなかったようだった。指をチロチロやっていたがなんか少し面白い気がした。幸い自分で歩けトイレに行けるということであそこの管は回避したが、トイレに行くたびナースコールをするようにと言われたので、徐々に麻酔が切れて痛みが出てきて眠れなかったので、真夜中に何度かナースコールをした…マジで申し訳なかった。トイレに行くうちにマジで腹が減ってきたが、空腹と痛みに耐えながらその日は無理矢理寝た。

入院３日目

目が覚めてしまった。痛いマジでいたい。だけどやっと飯が食える。この日は確か細いうどんだった…なんて言うんだっけ。病院食でもめっちゃうまかった。ここまで飯を抜いたのは、小学校の頃親とけんかして昼夜朝を抜いて以来だから、１０年ぶりか…。今日から病室の皆の仲間入りだ、皆、肩にウルトラアームスリングス?という固定具をしている。なんかかっけー。

入院４～６日目

暇だ、そして痛い。風呂にも入れなかったから、入れると知った時めちゃうれしかった。そう…この時までは。浴室に移動し着替えを手伝ってもらいながら、とりあえず病院服は脱げた。しかしここからが問題であった。装具を外すとなったとき、装具を固定しているマジックテープを一つ一つ剥がしていくにつれて腕の重みが肩にのしかかってきた…やべっはずれるはずれるマジやばい。一応風呂用の装具はあった者の固定力はまるでない。そんなこんなで激痛風呂を終えると決結構気持ちよかった。ワックスをつけたみたいになっていた髪も戻った。自室に戻り暇なのでテニプリと疾風ロンドを借りて読んでいた。それぞれ読み終わると暇になった。マジでやることがない。

入院７～９日目

痛みもだいぶ和らぎ、４，５日目あたりから始まったリハビリも初日よりはダイブできるようになった。だけどこれが以外にもつらかった。稲村麟さんが親指をやって動かせないのを笑っていたことが悔やまれる…りんさん馬鹿にしてごめんなさい。腕が重い、痛い、動かない。重力ってすげー。腕が肩より下の４５度くらいまでしか持ち上がらなかった。自室に戻り暇をもてあましていた。ワンセグでカーリングを見ていた。試験勉強中にみるニュース、空腹時に食べるおにぎり、たまに優しいワタシさんのように、暇なときに見たカーリングは俺の心を動かした。もう一つ心を動かした者がある。それはアニメだ。それまで割とアンチ派であったがこれを機にだいぶハマった。ドラマを見ても良かったのだが、一回一回重いんだよ話が…それに比べてアニメはものにもよるが、軽く見られるので一日中お世話になりました。

退院

さよ～なら。

プロローグ：読み直したが読み苦しい。面倒だから書き直さないが。

よく言えばストイック

三竿　洋太朗

さて、ここでは、私が仙台で暮らし始めてから、様々な経過を経て開発した料理?を紹介したいと思います。
誰かの役に立つかは分かりませんが。

①素パスタ
水をたっぷり鍋に入れます。強火で加熱。沸騰したら塩を適当に振り入れます。麺を１００グラム入れます。麺のゆで時間にあわせてます。茹で上がったら麺をざるにあげて、湯切りをします。麺を皿に載せます。
ここで、オリーブオイル、塩を振ります。全体をよくかき混ぜて、和えます。できあがり。
少し物足りませんが、おいしいです☆

②オートミール
豆乳（無調整）２００g、オートミール１００gを鍋に入れて加熱します。中火。ふつふつとしてきたら弱火にして、ハチミツとシナモンを入れます。少しかき混ぜて、お皿に移します。もしあれば、バナナを輪切りにして上に載せます。出来上がり。
少し癖がありますが、おいしいです☆

③オートミール２
オートミール１００gに水をひたひたに入れます。塩こしょう、コンソメの素を適量入れます。電子レンジで2分ほど加熱します。オートミールが柔らかくなっているのを確認して、溶けるチーズを好きな量かけます。かき混ぜて、チーズを溶かします。いちおうバジルの粉をかけます。出来上がり。
食べるのがつらいですが、おいしいです☆

④高カロリードリンク
ミキサーやフードプロセッサーを用意します。そこに、オートミール５０g、アーモンド7粒くらい、バナナ（チキータ）1本、ピーナッツクリーム大さじ山盛り一杯、プロテインワンスクープ（現在は摂取しておりません）ハチミツ、冷凍ミックスベリー、牛乳２００ml、水適量を加えて、ミキサーにかけます。出来上がり。かんたん。
バリエーションとしては、プロテインをやめて冷凍ブロッコリー、牛乳から豆乳に換える、青汁の粉を加える（危険）などを試しました。
ボリュームがあって、おいしいです☆

⑤豆腐
豆腐を皿に出します。波乗りジョニーをおすすめします。カット野菜を入れます。めんつゆをかけます。出来上がり。

⑥トマト
中玉のトマトを用意します。半分食べます。できた断面に塩を振り

ます。食べます。

最初は意欲があり、包丁などを使って肉を焼くなどしていたのですが、いつしかこのような形になっていました。

米なども普通に食べています。

もし興味がある方がいたら、試してみてください。意外といけるかもしれません。

以上です！

四年生

竜泉寺の魅力ついて

石井　顕徳

学友会スキー部に入部して二年目になりました。去年は医学スキー部のランナーチーフもしていたのでなかなか学友会の練習には参加することが出来ませんでしたが今年はインカレに照準をしぼって学友会の練習に優先的に参加しています。

さてさて、とは言っても僕も医学科四年生、学校の授業との兼ね合いもあって全ての練習に参加できるわけではなく自主練習がトレーニングのメインとなります。休む週、追い込む週、さらに追い込む週とあるわけです。一人で練習することが多くなるので必然的に孤独との戦いになります。そんなときに重要になってくるのが自分をリラックスさせてくれる存在ですよね。今回は、そんな自分にとっての癒しの温泉「竜泉寺の湯」の魅力」について語りたいと思います。

仙台市泉区に位置する「竜泉寺の湯」、何といってもその魅力は温泉の数です。炭酸泉、シェイプアップバス、不感の湯、水風呂、壺湯…etc。何回も通ってはいますがまだ全部の温泉を覚えきれていません（笑）。水風呂も冷たすぎず、割と長時間はいっていられます。僕のおすすめの入浴の仕方は炭酸泉十五分間→水風呂十五分→シェイプアップバス五分間→サウナ十分間→水風呂五分間→露天風呂気のすむまで。僕は追い込む週はこの入浴ルーティンを行うことで疲れをいやし、次のトレーニングに備えるわけです。さて次の魅力ですが、竜泉寺の湯のレストランです。（名前は忘れました。）こういうレストランは割高だしクオリティも低いと思われがちですがそうでもありません。値段はリーズナブルだしおいしい。そして何より季節によってその季節の旬の食材を使った料理が提供されます。ぶっちゃけ温泉もいいですがこの食堂目当てでも十分に行く価値があると思っています。そしてこの竜泉寺の湯の目玉、岩盤浴です。これは魅力が多すぎて語り切れません。ぜひ皆さんが直接行ってその魅力を堪能してください。

まあ長々と語ったわけですが本当に何が言いたかったかというと何か熱中しているときは、熱中しているほど息抜きになるもの、リラックスできるものを探してください。それはオンオフ切り替えにつながりより熱中できるようになります。
今シーズンも頑張っていきましょう！

頑張って他己紹介

稲村　麟

シュプールを書くのもこれで四回目である。さて今年は何を書こうかと図書館で悩んでいる。川内の図書館である。何について書くか悩んでいるのでふと周りを見渡してみると手を頭の後ろに回して体を伸ばしている男子学生がいる。あの学生は今自分がこうやって誰かに見られて、自分について書かれているとは思うまい。たぶん彼は今なんかのサイトを見ているが、おそらく勉強しているのであろう。んなことはどうでもいい。どうでもいいなら書くなよと思ったあなた、あなたが正しい。

さて、去年は一年生（現二年生）の第一印象を書いたわけだが、今年は頑張って個人的に僕が面白いと思う部員の四年生からみた印象を書いていこうか。よしそうしよう。でも時間かかりそうだな。ＴＯＥＩＣ二日前にやることではない。でもやっている自分がいる。本当に自分はよくわからない人だ。それではいこう。

一年生

・神道裕哉

細い。そして小さい。理学部っぽい。これが私の第一印象である。実際にすべて正解であった。体重は聞いたところ５４キロ。軽い。しかしなんと本人は初ジャンの時に５４グラムと言っていた。これが本当なら大変である。５４グラムでその表面積はもはや中は空洞に違いない。彼の体を分析してみよう。おそらく不必要な部分はほとんど省いたのであろう。口から入れた食べ物は吸収しない。なぜなら彼には消化器官が存在しないからだ。彼の体の構造は口から肛門まで食道でつながっているに違いない。なら納得である。ただこの場合でも食道だけで５４グラムを超える可能性がある。また人体というのは消化器官以外に呼吸器官や骨なども必要である。このことを考慮するとより軽素材のものになっている必要がある。これは興味深い研究テーマだ。彼の体について最適化を行いどの器官を何グラムにする必要があるか、またどんな素材であるとよいのかを解析する必要がある。それをやるとこのシュプールは一つの部員文から論文へと進化してしまうため、これ以上はかかわらないこととする。興味のある人はぜひ研究してみてほしい。てか神道お前がやれ。

・清水颯太

第二の颯太。てかもはやこっちが本物。あっちは浅野に格下げ。さわやかボーイ。ノリがいい。それもそのはず今は京大に寝返ってしま

った竹重龍一の高校時代の後輩だというのだ。ならこれからさらなる成長を期待できる。特にいつかやってほしいのは現役部員ならおそらく知っているであろうエアー風呂というものである。これはぜひやってほしい。これができるようになれば、もはや竹重龍一の一歩前まで来たといっても過言ではない。あとは体罰制裁委員会会長になる必要がある。頑張ってなれ。エアー風呂に関しては次の論文「合宿におけるエアー風呂の効能とその現象解析　新海孝洋著」を参照してほしい。Best regards.

・志関弘平

めずらしいりたま。地ゼミもやっているらしい。がんばれ。彼は元気がいい。身体能力が高い。新歓のローラー体験では謎のツリス（アルペン仕様）を持参。タイヤめっちゃごつかった。新歓期からかなり個性的な彼だが、根はかなりのむっつりであると私は考える。これにはかなりの自信がある。割愛。

・榮治智之

「えいじです」新歓にて名前を聞いたとき彼はそう答えた。普通名前聞かれたら姓から答えるだろと私は思ったが、彼はえいじが姓なのだ。珍しい名前である。そんな彼の印象はにこにこしている。さぞいい教育を受けてきたに違いない。彼は気に入った先輩を見つけては絡みに行く特性を持っている。私もその一人なのだろうか？やたらにこにこしてこちらに近づいてきては「りんさん、お疲れ様です」と言われた。やれやれ。かわいいやつだ。あと彼女がいるらしい。初ジャンで叫んでいた。どこぞの先輩を思い出す。あの人たちみたいにならないといいが…（意味深）。

・保達洋

彼はやたらとオネエである。声、動きなど。ほかの人も言っている。彼がバブリーダンスを踊っているのを見たことあるが、やたら腰の動きがうねうねしている。ただそんな彼は私の今年一のお気にいりである。絡むと面白い。今はまだ部門決定が終わっていないが、ぜひともコンバインドにほしい人材である。そして彼はでこを気にしている。スキー部にはほかにもでこが広いやつがいるのでぜひともそのおでこを出していってほしい所存である。

・橘紀晶

彼はおしゃべりだ。新歓期彼のあだ名は「元気な浪人生」であった。彼はどのくらいおしゃべりかというと、一聞いたら十返してくるようなそんなやつだ。この間練習帰りの車の中で朝ごはんの話になった。「朝ごはんちゃんと食べてる？」という質問に対し、彼はなんと今朝の朝ごはんの具材まで事細かに教えてくれた。いやそこまで聞いてない。そして彼はこちらの話に対し、自分の話を展開してくるそんなやつだ。一見悪口を書いているように見えるが、これは彼の個性なのだ。否定するべきではない。むしろ賞賛すべきだ。もしかするとこれから自分の質問に対し、何か絶大なヒントをくれるかもし

れない。そして彼は根からの真面目である。朝に竜泉寺の湯に行くことを朝練に行くといった感じで全体ラインに流したところまんまと引っかかった。五百円かかる朝練とはなんなんだろうか。彼は真面目だ。

・林直志

彼は先輩をなめている。「麟さん今日も鼻でかいですね」「先輩おごってくださいよ～」。なめ腐っている。これはよくない。体罰の必要性が出てくる。竹重はいない。チャンスだ。やるしかない。そんな彼も体重が驚くほど軽い。しかし北雄杯駅伝は割と速い。やはり体重軽いと有利なのか。にしても彼は先輩をなめている。体罰しなくては。初ジャンでは寝ブッチするところであった。体罰しなくては。

・小林幹大

さばやし。ＬＩＮＥの名前を見たときなんだこいつはと思った。魚のサバである。高校のころのあだ名らしい。彼は表情に乏しい。基本は真顔。時折見せる笑顔はおおよそ３０％くらいである。満面の笑みはおそらくない。なぜなら彼は魚なのである。そんな彼はもともと野球部である。ピッチャーだったらしい。私服は基本ジャージでキャンパス内を歩いている。スキー部パーカー等を買えばたぶんジャージとスキー部パーカーを交互に着るのはもう目に見えている。また練習にて後ろから彼をどんどん煽ること。これを俗にいう「追い込み漁」という。彼はあくまでも魚なのだ。

・岡田拓歩

おか（↓）だではない。おか（↑）だなのである。そこへのこだわりはなぜか強い。岡山県出身である。おそらくスキー部で自分が一番遠くから来たと考えていたに違いない。残念。上には上がいるのだ。オリエンテーリングと兼部している。ぜひとも両立してほしい。そんな彼は最近気胸にかかってしまった。心配である。治るまでは絶対に安静にしとけよ。無理はしなくていいから。初ジャンもお預けになってしまった。だからまた来年再履修だな。初ジャン飛んでなくもコンバに入ってもいいんやで。

・濱地峰史

彼はなんといえばいいのかわからない。元バスケ部で、身長高い。みんなから浪人顔と言われ傷ついた。岡田と仲がいい。最初彼の名前で私は困った。「はまち」なのか「はまぢ」なのか「はまじ」なのかである。正解は「ハマチ」らしい。おそらくもう何回も聞かれたんだろうな。すまん。そんな彼は新歓コンパの日にスーツを親が持って帰ったことに気づき一時間前に連絡をよこしたギルティーなことをした張本人である。さすがに笑えなかった。

二年生

・白木雄大

彼はハブである。ランナーからはぶられてしまった。かわいそうに。

なぜハブになったかというと、水曜日のランナー練習メニューがサーキットであったが来たのは彼ひとりであった。ここから私はランナーは彼以外のグループラインを持っており、そこで本当の練習メニューを指定しているに違いないと確信した。コンバにもハブはいる（後述）。これにより新部門「ハブ」が誕生した。彼はチーフである。二人で気が合って心よりうれしそうだ。ちなみに今年の彼のインカレは沖縄である。

・藤野寛司

彼は濃い。関西弁である。彼は私服が特徴的である。特に印象的なのは乱戦のあとなのではないかと思えるシャツである。あれは確実に洗濯するときはネットが必要だろう。初ジャンの時は上は革ジャン、下は運動できるようなハーフパンツにアンダー、靴はサンダルという何ジャンルだという服装をしていた。あれは本当にわすれない。そんな彼は行動力がある。一人で秋八の合宿に参加するのだ。すげえ。あと一時期ツイッターにて「#ヨシノリの日常」という高野（後述）の実況にはまる。全員が思ったに違いない。あの時期私は「#カンジの日常」もやってほしかった。

・浅野颯太

彼はクソガキである。行動は基本的に先輩をなめている。彼の前では先輩後輩の関係は存在しない。しかもタチの悪いのは特定の先輩に対してだけなめているところである。一番の被害者は恐らく三竿洋太朗であろう（三竿洋太朗に関しては後述する）。三竿に対する行いは本当にひどい。また彼はああ見えてコミュ障である。そして初ジャンの見本にて石原拓実の後に続いたのだが、まさかのエロいお姉さんというかぶりを見せた。おい。

・石原拓実

バカ。性欲が強い。長男。一年生なのに朝日町で五十円募金をする。もはやこれから四年間は募金するのであろう。彼はハブだ。コンバ同期にハブられている。おっと、ここはまだ触れちゃいけないのかな？危ない危ない。白木とは同部門である。彼がハブといわれるようになったのは以下の通り。インカレ期間中、東北大宿ではインフルエンザA型が蔓延していた。串田氏、小柴氏、新海氏が感染していく中、彼にも熱が出始めた。しかし彼はインフルエンザC型というつまり仮病だったのだ。この後シーズンが終わり、部長の風間先生によりコンバのインカレに出た人でお疲れ会をしようということになったが、彼は仮病で出場してないためお疲れ会に呼ばれることはなかった。

・島田菜理紗

コンバのあほその1。証言がいくつかある。①口が常に空いている。②つららを雪温計と勘違いする。③アルパスで麺類を食べたがまだ食べたいといい白ご飯を頼む。ちなみに自分も四年間で白ご飯を頼むやつは初めてであり、アルパスの従業員の方も気の毒だと思った

のか、サラダをサービスしてもらう。④その白ご飯のおかずがないため醤油をかけて食べる。⑤初ジャンのお手本でなぜか歌を歌う。しかもオチなし。⑥おっさんみたいな声を出す。⑦返事をする問いは「うす」。言い過ぎてそういうキャラになる。
結論：そもそもコンバに入る奴なんて…。おっと。

・手塚尚吾
こいつは割とわからない時がある。汚れ芸をするときもあれば、かなりまじめなときもある。けーじろーリスペクト。最近はやりのロードバイクを買う。見た目ゴリラ。最近駿台でコピー用紙を三百円分無駄にしたらしい。こっそりと裏紙コーナーに入れたことを自慢げに語ってきた。ローソンで働いていた時もあり、その時のオーナーの悪口をやたらいう。そんな彼は時折「～じゃ！」おいう語尾ではなすときがある。これは恐らく千鳥の物まねであろう。似てない。でも部活頑張っている。

・高野祥徳
リアル屑。エピソード①：朝練に来ないときは基本寝ぶっち。エピソード②：彼が一年生の頃、私はコンバインドチーフをやっていた。七月のジャンプ練に一年生は希望者は来るという形であった。ジャンプ練前日「やっぱりジャンプ練行かないことにしました。」。エピソード③：朝練後の荷下ろしでみんなが車の到着を待つ中、彼は一人川内に向かい学食で朝ご飯を食べていた。エピソード④：朝練行きたい人はラインにていいねをするというシステムなのだが、彼は朝練前にいいねを消し「いいね消しました。寝ぶっちではありません。」とコメントを残す。エピソード⑤：みんなでやる雪かきをするとき、来いと言われ一度起きたにも関わらず部屋で爆睡する。その後エアー風呂。エピソード⑥：新歓せずにバイトを入れる。

・池田翔
鋼のメンタル。女好き。本当に好きな女性のタイプが女。そのメンタルを見習いたい。割とマジで尊敬。彼との話は基本恋バナ。一度相談されたことがある。「いや～りんさん。俺って本当に別れてもよかったんですかね…？」。知らんがな。

三年生

・新海孝洋
しゅしょー。朝の体操寝ぶっち。ミーティング寝ぶっち。サッツ練寝ぶっち。イカトン。しかし彼のいいところは豊かな発想力である。彼はスキー部に入ってから数々のキャラを残してきた。思いつく限りあげてみる。寄生虫、三上、エアー風呂、ダンス…こんなもんか。意外とねえな。

・三竿洋太朗
じじい。基本的にスキー部にネタを提供し続けている。しかも無意識で。最近あったのは車の中で生着替えである。彼は私の車の中で

汗まみれの状態で生着替えを行った。あの時の彼の顔は本当に忘れない。彼の生尻が私の車の後部座席についたと私は考えたが、彼曰く背中と足で踏ん張り回避したらしい。どーゆーことや。

・竹井しのぶ

コンバあほその2。エピソード①：二階の部室にドアの調子が悪く鍵が開かないからといって木を上り屋根の上を進み窓から入る。エピソード②：部室の前に捨ててあった車のタイヤを島田と二人で洗う。後日部室前に放置されているのを見て「このタイヤ何？」と聞くと「使えるかなぁと思って」と彼女は返した。その後部室改造に使おうとしたということが判明したが、最初聞いたときは車につけるタイヤとして使おうとしたとしか思えない。エピソード③：全国戦にて野沢から白馬への交通費を各車距離と燃費から計算して報告したのだが、彼女は「ガソリンは入れてません」と言った。そのあと三竿か誰かが言った「じゃあお前ら車押してきたのかよ」というツッコミは今でも笑える。エピソード④：サマジャンワックスを二年目が終わるまでクリーニングワックスだと思っていたらしい。じゃあ今まで何を塗ってきたんだ。もっとあるけど今回は割愛。

四年生

・小柴黎斗

出っ歯。だけどやさしい。私がインフルエンザになったときわざわざ雑炊をつくって持ってきてくれた。惚れた。鍋を返しに行く時、俺にサランラップをの大と小をプレゼントしてあげた。もともとあったのと合わせて計4個となった。

・森田陽

自由な人間。団体行動苦手。四年生だからとかじゃなくてこいつに関しては最初から。昨シーズンはついにランナーとして朝日町に来る。パソコンの画面が壊れたからと言って部屋に一台しかなかったテレビとケーブルでつなぎ、レポートを書く。これによりテレビを一時独占。まあでも同期が一人いてくれて個人的には助かった。

・及川絵梨

個人的に、あくまで個人的にだがたまに本当に女とは思えない時がある。特に懸垂をしているとき。なんだあれは。横にいた串田「え？絵梨さん…。やば…。」。わかるよその気持ち。最近はわりとダルがらみに乗ってくれて楽しい。

・平山悠輝

生まれつきストイック。筋トレめっちゃしてるイメージ。北雄杯駅伝の時も走る前に筋トレし、走った後にも筋トレしていた。身体能力もかなり高い。個人的には4年生の中で一番話が合う。オレオ。びわ。

こんなとこかな。最後はもはやめんどくさくなった。書いてない人

許して。そして書き終わったのは結局締め切り１５分前でした。間に合ってよかった。

仙台のすすめ

及川　絵梨

衣編

貧乏大学生なのであまり頻繁に服は買いませんが買うとしたらアウトレット。仙台には２つあるしどっちも自転車で行ける距離なのでよき。安いしたくさんのお店を比べられるのでありがたい。おしゃれ大学生には程遠いのであんまり詳しくないや。ごぺんねスキー部だとゆうみちゃんおしゃれだなあって思う。

食編

仙台でラーメンを覚えた。実家にいた時はラーメンを食べに行く習慣がなくてほんとに小さいときにパパが食べてたのをちょこっともらった記憶しかない。のに、月２回くらいは食べてる気がする。ＢＩＧおいしい。二郎はチャレンジもの。一二三はあんまり行かない。しずくは台湾まぜそばおいしかった。政宗めちゃきつい。おっぺしゃんあんま好みじゃなかった。ご褒美は一風堂、ちょっと高い分おいしい。頻繁には行けないけど泉のわかめラーメンはほんとに美味しかったおすすめ。

おしゃれカフェとかは全然開拓しなかったなあ。甘いものが基本的に嫌いなのがネック。

今行きたいところは韓国料理のプヨ、カウンター天ぷらのｍｅｇｏ、私のバイト先和食料理の菜る海、深夜１時からめっちゃ安く焼肉たべれる横綱、あたりかなあ。食べるのだーいすき。

住編

一年生の頃は福祉大近くの千代田町ってとこに住んでた。めっちゃ坂だし遠いしで八幡に引っ越した。八幡はコープもＴＳＵＴＡＹＡもコインランドリーも近くにあってめちゃくちゃ便利。布団とか毛布とか大きいもの洗うときコインランドリー有ると便利だよ。学生なんて家にいる時間寝てるだけだから学校とバイト先とかスーパーとか生活圏に近いところに住めばいいと思う。

４年間で得た生活の知恵的なことでいうとお肉は一回で使う分に小分けして冷凍しておけば便利だしお野菜も茹でて冷凍できるのも有るし冷凍庫をうまく使えるとよき。あとはベットを窓側において寝る前にカーテン開けて朝日眩しくて起きると気持ちいい。仙台の水道水は汚いし美味しくないから極力飲まない。

仙台は何においても便利でいいね。自転車だけで生活できちゃう。今の生活が楽しくて仕方ない。仙台で生活させてくれている親には本当に感謝しかありません。とりあえず院試頑張らなきゃ行けませんね。はい、じゃあ終わり。

ＳＵＰＲ

栗谷　京生

残暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。院試勉強で脳、目、ケツがおかしくなってきた四年、アルペン、栗谷です。シュプールの締め切りはもはや２ヶ月前、四年目にしてこの手際の悪さ、大学生活で一切の成長を放棄したツケを噛み締めてます。一〇日後の院試に、「生理が来ない」と言われた時ぐらいメンタル圧迫されてるので三十分以内にこれを書き終えたいところです。

去年の十大戦でレーサーを引退してもはや半年以上スキー部として活動していません。まあ四年ってこんなもんっしょ。って思ってました。同期の競技続ける奴やつの多さはなんなのでしょう。好きとか嫌いとか通り越して競技が生活の一部になっているのでしょうか。結構単位足りてなくて焦ってる僕より、もう一発上のレベルで崖っぷちのはずの小柴レイト君、「合宿に〝行かない〟って選択肢を思いつかなかった」とかいってて怖かったです。一緒に卒業できるといいね。去年もレイトのこと書いた気がするな。

筆が止まったので無意味に段落を替えました。もう三十分経ってる。最近十五キロくらい体重が落ちました。はじめて自分の腹直筋とご対面です。たまに外腹斜筋とのセパレーションもこんにちは。腹直筋の割れ方は先天的に決まってるのは皆さんご存知だと思います。ぼくは８パックでした。広背筋も起始停止部の付着部位によって先天的に大きく差が出ることが知られています。俗にＴシェイプ、Ｖシェイプ等よばれるものです。自分が〝なりたい〟体を目指すより自分に〝似ている〟ビルダーを目指すのもいいかもしれませんね。

一時間経ちました。

自分で書いた文って後で読み返すとすごい恥ずかしくなるので、これメールで送ったらもう二度と読まない。お疲れ様でした。Ｓｐｕｒ委員の方、提出遅れて申し訳ありません。

けーじ語録

小泉　慶次朗

自分で自分の語録作るって気持ち悪いですね。ですが、４年間やってきた自分の足取りを振り返るにはこういったことが必要かなと思いました。僕のことをよく知らない一年生もこれを見て追いコンの準備とかすればいいんじゃないでしょうか？むしろここで、自分で反省したから追いコン本番は許して欲しいのですがダメでしょうか？

一年目

「それはう〇ち」

さっそくう〇ちとか言ってごめんなさい。この頃は今とは人が違ったとか、あれは別人だったとか、色々言われていますが、本音を言うとただ人見知りしていただけだと思います。誰にでもそういう時期ってあるよね

「うおー‼」「シャー‼」

いや、お前、これ言葉じゃないやん！ってここで読みながらツッコミいれてください。よく知らない一年生はブログとか読み返してみてね、雰囲気だけは伝わると思います。イジメられていたわけじゃないよ、たぶん…

二年目

「ぷんぷくざむらい」

ちなみにこれは僕のネタであって、僕のネタではないものです。もうサークルKも減ってきたのでこのネタが通用するのも今のうちですね。元ネタの人もこのままじゃ俺はオワコンになるとか言っていた気がしますね。

「けー汁ブッシャー！」

いやがる人も多いとは思いますが、これを思いついた時は、やべぇ、なんかすげえもん降りてきたと思いました。また、このくらいの時期に「ちょもんティー、ちょもんティー」とか「燻製」とかも流行ったのを覚えています。あと、二年目の一時期、自分の名前が「ノルディックの犬、アルペンの狂犬」だった気がします。

三年目

「あー、すんごい」

これはかなり面白いのを見つけてきたかなって気がします。みきおくんとかはいまだにこの呪い的なものから抜け出せてないのが我ながらすんごいですよね。

「スケルトン」

自分のひそかな目標は、みんなが「スケルトンやってないやつダサいよねー」って言うような時代を作ることだったのですが、そんなに甘くはなったようです。とりあえず、今年もやってね、スケルトン

「〇〇〇主義」

〇〇〇主義ってなんだ、正直わたしにもよくわからない、このＳＰＵＲは…

以上自分が作ってきた(引用、パクリを含む)こう淡々と文章にされても伝わらないものは多いですが、すべてにいろいろなエピソードがあり、作ったものの数だけ思い出がある気がしますね。とりあえず、今年も、こうバカみたいなことばっかりやっていても怒られないような部活であってほしいと思います。

番外編

「ファーストオーダー」

今年はとりあえず、僕の中ではこれだと思っています。ＳＰＵＲが出る頃にはみんな、しれっと「俺はファーストオーダーだ」とか言っていることでしょう。他にも、「タートルネックボーイ」「ウエノマン」とかが流行っていたら僕のせいですごめんなさい。

一言紹介

小柴　黎斗

４年もシュプール書くとネタ無くなっちゃいます。ってことで一言ずつ書いてみました。てきとーにパラパラ読んでください。

1年

岡田 声出そう。えいじ 愛想笑い怖い、えへへ。橘 まじめ、話し方すごい、ちんこたちばな。林 そつなくこなす系。そうた 後輩力高い、嫌いになれない。しせき 身体能力と顔のギャップ。神藤 育ち良い、悪いこと教えたい。ほたつ 押したら吹き飛ぶ、なよなよおねぇ。小林 スマブラの戦法がこすい、無口、驚くとあひゃー。はまち 元気出せ、がんばれ

2年

細井 正直まだ謎、むしろそれがアイデンティティ。手塚 風紀委員長、怒らせるの楽しい、根はいいやつ。高野 足速い、よく怒られてる。白木 ゆるキャラ感、たまに黒木、ハブられてる。そうた かまちょ、懸垂マスター、きーとーく。石原 顔ムカつく笑、ハブられてる。島田 手足の間隔と口の間隔がんばれ、人気者。かける 興味ない。かんじ 空気読める、クソ関西人。大沼 本能に忠実な感じ、良いと思う。平澤 ほんとに真面目、尊敬できる、けどモテなそう、知らんけど。

3年

新海 バカ犬、がんばれ。串田 最近イケメンになってきたってえりが言ってた。竹井 ポニョ、バズライトイヤー、いい意味でポンコツ。三竿 コンバに冬でぶっ壊されてしまったんだろうなぁ。マイケル アスペ。古畑 ラボ畜がんば、いいやつ。正橋 ボヤッキー、フェンシング。青木 最近おじさんに見えてきた、いつもありがとう。木村 ケガ多いのにたくましい、イチャつきすぎると怒られるよ

4年

栗谷 イケメン、スケボー上手くなりすぎ、面白い。務台 太って痩せて太った、最高峰動けるデブ。しゅうしゅう 乳首大好き、イケメン熱い男。平山 人間に興味ない感する、身体能力高い。もえちゃん イメージ、うんちょこちょこちょこぴーって感じ、就活お疲れ様。りんちゃん 表面マジキチガイ、根はガッチガチ真面目、楽しいやつ。えり 怒らせるの楽しい、けーじ こいつはまじのキチガイ、根はいいやつ、院試頑張って。かずき 女好き、不幸吸い寄せすぎ、めげずに頑張ってる。森田 いいやつ?、自由。

うんこ

長谷川　就

シュプール書きまーす．どうせ書くなら，自己満のつまんないことと書かないで，人に読んでもらえそうな文章書こうと思います．皆さん，ちゃんと飯食ってますか?今年のシュプールではウンコではなく（別に書いたこと無いけど），栄養学というか，エネルギーとパワーと栄養の関係についてみんなにもっと知ってもらいたいと思います．せっかく追い込んだ練習をしても，十分な栄養が取れてい

ないと，しっかり栄養を取った場合と比較して，筋肉量の減少，疲労回復の遅延などが起こり，パフォーマンスに影響が出てしまうことがあります．栄養の摂取の究極の理想は日々の食事から取ることです．しかし，我々国立大学生からすると，金銭的，時間的に厳しいのが現実です．そこで，足りない分をこれから示す最低限の（よく使われている）サプリメントを摂取することで補ってほしいと思います．

・プロテイン

基本のやつですね．一口にプロテインといっても，ホエイ，カゼイン，ソイなどがあります．それぞれ吸収速度が違うようなのですが，よく知られているのはホエイですね．いまだに，マッチョになるための薬みたいなものだと思っている人もいますが（スキー部にはそんな人はいないと信じてます），ただのたんぱく質です．アスリートが一日に必要なたんぱく質ってどれくらいか知ってますか？1日体重１ｋｇ（正確には徐脂肪体重）あたり約２ｇのたんぱく質が必要とされています．僕の場合は約１２０ｇです．タンパク質が多いとされている鳥のささ身でさえ７００ｇ必要です笑．ほとんどの人がプロテインを飲むべき理由が分かってもらえたでしょうか？

・ＢＣＡＡ

分岐鎖アミノ酸です．人間が自分で作り出せない必須アミノ酸であるロイシン，イソロイシン，バリンから成っているのがほとんどです．プロテインはアミノ酸のポリマーなので，ＢＣＡＡはプロテインの代謝物です．ですので，消化が必要なく，直接筋肉に作用します．つまり吸収が早いのです！いいプロテインには含まれていることがあります．

何人かは飲んでる人を見かけますが，有酸素運動をするときは全員！絶対！飲んでほしいです．効果を端的に言うと，筋分解と筋肉疲労の抑制です．ですので，筋トレ，有酸素運動の前後，トレーニング中に飲んだほうがいいとされています．

・ビタミンミネラルサプリメント

これもいいプロテインには含まれていますが，安いものには含まれてません（笑）．筋肉を作るのに，たんぱく質だけじゃダメなんですね．ビタミンミネラルはたんぱく質の代謝に関わるので，取らなければ，プロテインが駄々洩れになってしまいます．安いものなので，少し面倒かもしれませんがこれも摂取すべきですね．

どうでしょう．少しは栄養の重要性について知ってもらえたでしょうか？いろんな研究が進んだこの世の中で，根性論でゴリゴリ練習して努力するより，効率的に練習し，努力して強くなったほうがスマートですよね．

他にも，無酸素運動などの強度の高いトレーニング時に素早くエネルギーを作り出すようサポートするクレアチン，僕は詳しくありませんが，クロカンならエネルギー源であるグリコーゲンの吸収をゆっくりにするヒドロキシクエン酸，グリコーゲンの代わりに脂肪をエネルギーとして使えるようになるＬカルニチンやＨＣＡなどなど，たくさんのサプリメントがあります．興味を持った人は自分でネットとかで調べてね！

ここで紹介したことに関しては，ほとんど科学的根拠のあるものですが，間違いがあったらすみません．諸説あるものもありますが，とりあえず，プロテインとＢＣＡＡはほんとにみんなに飲んでほしい！努力を水の泡にしないで！

院試勉強中なので，ちょっと化バイっぽいこと書いてみました～おわり．

大学生活で学んだこと

原　一貴

工学部材料科学総合学科に入学し、なぜか所属することになったスキー部。なぜ入部したかいまだによく分かっていません。まあ、そんなこんなで三年間暮らしてきて学んだことをつらつらと書いていこうかと思います。

① ぼっちは悪くない

いや、まあ、研究室に入るまで学科内ぼっちを貫いてきました。よくバカにされてきたけれど、別にそんな悪いものではないですよー。人間関係悩まなくていいし、自分の好きなように時間使えるし。まあ、無理にコミュニティは作らなくてよいということですな。心地よい環境にいるのが一番です。

② お金を稼ぐのは大変

想像以上でしたね。親に感謝。バイトってつらい。睡眠時間削られるし、疲れるし、それでいて時給が８５０円前後。塾講師とかは時給良くても時間稼げないし。バイトってホントに辛い。飲食の賄は魅力的だけどね。資産運用とか考えてもリスクが怖くて手が出なかったしな。就職したら今よりもお金自由になるかなー。あーあ、金欲しい。

③ トレーニングは楽しい

他の人に勝つためのトレーニングも楽しい。自分が好きなようにするトレーニングも楽しい。頭も心もリフレッシュできる。鍛えたら鍛えただけ、自分に帰ってくるし。いやー最高だよ。この、最高な状態の体を維持していきたいなー。あと、筋トレして健康的な体つきをしている人は、時間の使い方だったり、考え方だったり、優れた人が多い気がする。

④ 辛くてもやってみる

世間的にコスパって言葉が流行っていますね。まあ、食事とかにコスパ求めるのは全然オッケーだと思います。けど、勉強とかトレーニングとかに関してコスパ、もとい効率化を求めるのはどうかなと。勉強について言えば、あまり勉強しないのに成績のいいひと、運動で言えば、あまり練習していないのに強い人。なぜか皆、こういう人たちにあこがれて少しの勉強時間、短い練習時間で成果を得られるよう頑張る傾向があるのかなと感じます。僕がこういう人たちに「いや、それ辛いから楽しようとしてるだけじゃん」と思ってしまいます。自分が思っている以上に自分は凡人なんです。世間一般の平均的な人間なんです。優れた人のようになんてできません。その分つ

らい思いもしなくちゃいけません。でも辛いことがあったら、そりゃやりたくないです。大体みんなやらないです。だからこそ、やるんです。苦しくてもやるんです。そしたら周りの人より少しだけ前に進めます。ずっと続ければだいぶ前にいます。気づけば、優秀だと思っていた人物に追いついているかもしれません。

まあ、こうやって考えてなきゃ、クロカンなんてやってらんねーわな。

老害と呼んでもらって構いません。残り一年よろしくお願いします。

ホエイプロテイン

平山　悠暉

最近スキー部ではウエイトトレーニングが流行っていますね．スキー選手に必要な筋力をつけるのにウエイトトレーニングはとても適しています．ウエイトトレーニングは筋肉に負荷を与えることで筋肉の成長を促します．しかし，ウエイトトレーニングをするだけでは筋肉を十分に発達させることはできません．筋肉の発達には，トレーニング，休息そして食事が必要です．この食事では特にたんぱく質の摂取が重要であると考えます．なぜならたんぱく質は筋肉の材料になるからです．たんぱく質は普通の食事から摂取することができますが，普通の食事だけで満足な量のたんぱく質を摂取するのは難しいことです．そこで多くの選手は普段の食事に加えてプロテインシェイクを摂取しています．プロテインシェイクは毎日摂取することが重要です．またトレーニング後に必ずプロテインシェイクを摂取することも重要です．しかしプロテインがまずいという問題により毎日プロテインシェイクを飲めない人もいるかと思います．だからプロテインを毎日飲むためにはおいしいプロテインを選ぶ必要があります．そこで今回はぼくが飲んだことのあるホエイプロテインをおいしかった順でご紹介します．参考にしてください．

第一位　ビーレジェンド　波動鉄拳風味

ラムネというかヤクルトというか，そんなような味です．味が濃いのかわかりませんが，多めの水に溶かしても味が薄くなりません．また多めの水に溶かすことにより泡が立たなかったり，さらさらな状態で飲むことができます．また味もすっきりな感じなのでトレーニングの後に飲むには良いです．（３２００円／ｋｇ）

第二位　ビーレジェンド　すっきリンゴ風味

名前の通り，すっきりなリンゴ味です．甘くておいしいです．（３１００円／ｋｇ）

第三位　ビーレジェンド　そんなバナナ風味

一見まずそうですが，割とおいしいです．バナナミルクのような味がします．（３１００円／ｋｇ）

第四位　エクスプロージョン　カフェオレ味
まあまあおいしい．そして安いです．問題は最小単位が３ｋｇということです．飽きてしまいます．（約２１００円／ｋｇ）

第五位　マイプロテイン　抹茶味
甘い抹茶味．おいしいとは言えないです．粉っぽいので，多めの水に溶かしたいけれど，味が薄くなってしまいます．（２０００円／ｋｇ）

第六位　ビーレジェンド　南国パイン風味
おいしくないです．（３１００円／ｋｇ）

蔵王が僕を呼んでいる

務台　雄斗

プロローグ

今年の私は悩みに悩み続けていました。気づけば自分は４年生になっていて将来の事など考えなければならず、また院試や就活など何をするにも時間がない生活を送っていました。やりたい事もやらなければいけない事もあふれていて、自分の性格的におそらくやらなければいけない事を後回しにして後でしわ寄せがきているのでしょう。

ＳＰＵＲもその一つ。そんなことを考えながら気づいたらもう８月、夏合宿も終わりました。今年の夏合宿も蔵王でした。自分は人生で何回蔵王に行くんだよってくらい行ってる気がします。蔵王に行くといろいろな事が思い起こされます。今までいろいろあったからね。僕と蔵王には人並み以上の因縁があるので紹介していきたいと思います。

１．２０１２年２月

これは大学に入る以前の高校１年生の時です。高１の冬、自分は東京都のインターハイ予選を突破し晴れて全国大会に出場する権利を得ました。その会場がまさに蔵王温泉スキー場。僕は実家から新幹線とバスを利用して、蔵王温泉へ向かいました。先に言いますと、大会自体の結果は悲惨なもので、人生で初めての全国大会で全国のレベルの高さを痛感しました。まだ高校生だった僕と蔵王の因縁とは……

当時の蔵王も相変わらずの雪とガスでした。スキーをしていても前が見えず、吹雪がひどくて、すぐに室内に入りたいと思うほど。そんな天候の中、ひときわ輝きを発して魅力を放っていたスポットがありました。そう、神社(の階段)。もはやお馴染みの神社ですが当時の僕には新鮮で素晴らしいものでした。昼間の豪雪により神社は大きく姿を変えて一面新雪に包まれていました。そんなつもりに積もった神社(の階段)には恐怖心など一辺も抱かないかわいらしいものがありました。そこにダイブする、そう神社スライダー、通称神ス

ラ。わからない人のために説明すると、蔵王の神社には温泉街からつながる２５０段ほどの長くて急な階段があります。冬の期間は雪に埋もれるため、そこが滑り台の様になり、みんなが滑って降りていきます。それが神スラ。当時の神社は雪が非常に積もっていたため、神スラをしても雪の抵抗で加速することはなく、雪が舞い前が見えず滑り終えたら全身雪だらけになるだけの、今でいう写真映え、インスタ映えってやつである。

当時の僕は思った…．夜行ったらどうなんの？って。決行。

夜８時ごろ、宿を出て神スラのスタート地点へ向かう。天候は星空が見えている、つまり晴れ。コンディションはジュピアの前の坂道がすでにアイスバーン。大学生となった今の僕ならばこの段階で神スラのコンディションが予想できる。しかし当時の僕は……

バカだった。こんな容易に想像できる危険を全く予想していない、否、予想できていたがそれを楽しんでいたのかもそれない。何を考えていたのか、当時の恰好は上下ウインドブレーカー、雪との摩擦係数が限りなく0に近い。

ついにスタート台に立った。先に友人が行く。大悲鳴(笑)。僕は構えるウインドブレーカーの上をパンツイン、フードを装着、まるでルージュの選手のように構えスタート。僕は闇に消えた。

(実況)本日は実況の務台と

(解説)解説の務台がお送りします。

(実況)エントリーナンバー２番務台選手、絶好のスタートを切った!!

(解説)今のスタートは素晴らしいですね～。惰性でスタートするのではなく、手すりの支柱をうまく使って加速しましたよ。

(実況)滑走フォームがきれいですね。

(解説)はい、これが務台選手の強みとも言えますね～。他の選手はゴールを確認するために床に座るような姿勢で滑るのですが、務台選手は全身がコースと平行になるようなフォームですね。これはかなりの加速が期待できます。もう一つ注目してほしい部分があるのですが、

(実況)それはどこですか？

(解説)袖ですね

(実況)なるほど、いわゆる萌袖ってやつですね。

(解説)そうです。素手よりも摩擦が少ないので操作性は失われますが加速が増しますね。

(実況)このコースは踊り場が一か所ありますが基本的に直線コースなので操作性よりも加速性を選んだってことですね。今回のコースコンディションなどはどうなっていますか？

(解説)昼間の豪雪と多くの人が滑走した後に、夜の好天により冷え切っていますからねー、おそらく非常にスピードの出るコースとなっていますよ。

(実況)務台選手かなりのスピードで第一チェックポイントの踊り場に差し掛かります。

(解説)かなりのスピードが出ていますよ。これゴールできたらかなりのタイムですよ。

(実況)さあ、踊り場だ！！

飛んだー、なんてことだー

(解説)かなりのスピードで突っ込みましたからねぇｗｗｗｗｗｗしかも飛ぶ方向やばくないですかｗｗｗｗ

(実況)飛ぶ方向が右にそれましたね、

雪にぶっ刺さったーーー

大きくコースアウト

その勢いのまま左側の手すりの支柱に激突！！

その勢いでコースに復帰！！

そんな走りがあるのか～ｗｗ

(解説)ｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗｗ

腹いてーｗｗｗ、絶対痛いでしょｗｗｗ衝撃映像だろｗｗｗｗ

(実況)務台さん笑いすぎですよｗｗｗｗ

(解説)務台さんこそｗｗｗ笑いすぎですよｗｗｗ何がそんな走りがあるのか～ｗｗｗってなんすかｗｗ

(実況)ちょっと熱くなっちゃいましてｗｗ恥ずかしいですねｗｗ

(解説) そうこう言ってるうちに務台選手終わってますよｗｗｗめっちゃ痛そうｗｗ悶えてるｗｗ

こうして僕は6年半たった今でも消えていない大きな腫れを負った。神スラの直後は左の太ももの外側に巨大な腐ったステーキのような青痣がありました。歩くのも困難なレベルで痛かったけど特に怪我はしなかったです。

２．２０１５年８月

これは大学一年生の夏の出来事、東北大学に入学して晴れて学友会スキー部に入部した、最初の夏合宿。合宿の内容としてはこれといって目立ったことなかったのだが、問題は初めての蔵王観光のお手伝い。例のごとくスーパースライダー。またまたスライダーである。蔵王では何かとスライダーで因縁があるそうだ。スーパースライダーの運営のお手伝いなのだが、時間があるときにスライダーをやらせてくれる。スライダーの解説としては、専用のそりに乗って夏のゲレンデに設置された専用コースを駆け降りる。そりにはレバーがあり、奥に倒すとアクセル、手前に倒すとブレーキとなっていて安全性能が高い。しかしこのそりには隠れた機能があってアクセルのその先が存在する。超加速である。

自分はそんな無駄な知識を頭に入れて、スーパースライダーに挑戦する。当然社員さんにあおられる。むきになった僕は、超加速だけで行ってやろうと決意した。

いざスタート、最初のターンを超えた時、天地がひっくり返った。僕は転倒したのである。全く理解できない状況だった。

外から見てる人が言うには転倒の勢いでそりが垂直に立ち上がったらしい。もう正直意味が分からん。

僕はその大転倒によって左の肘と膝に大きな傷を負った。３年たった今もあとが残っている。

２．２０１６年８月

これは大学２年生の夏の出来事。その年の夏合宿にどうやって行こうか悩んでいた時に考えました。車とかバスで行っても面白くな

い、チャリで行ったら面白いかもしれないけど今までいろんな人がやってる。どうしよう……

よし、歩こう

そう決意しいざ予定を考える。蔵王までの距離は約８０～１００ｋｍ（ルートなどによって変わる）で歩けば丸1日かかる計算。幸いにもその年の夏合宿は前日入りするので僕はその前の日に出ればよい。時間はｏｋとして、次はどのルートを使うかである。仙台から蔵王に行くには基本的に3つのルートがある。エコーライン、笹谷峠、関山峠の3つである。それぞれの特徴は今回は割愛。そこで僕は考えた。エコーライン歩いて登山道に入れば最後にヒュッテに下っていけるんじゃね？って。車でもチャリでもバスでも必ずヒュッテの前は最後に登ることになり、歩きでのみ下りで行ける。そんな素晴らしいことはあるだろうか。決行。

所要時間は約１８時間。何度も心が折れたし帰りたかったし、もう嫌になっていた。２年たった今でも当時の気持ちを鮮明に覚えているし、道のりでの感情も覚えている。もはや懐かしい。その時のことを語るのはやめよう。当時の様子を知りたい人はぜひ自分で試してくれ。かなりの数の苦難と挫折を超えて味わったことのない感動が待っている。

うすうす気づいていると思うが、もう文章書くことに飽きている。ＳＰＵＲはみんな前もって書いておこう。本当は各トピックを第一章の長さで書くつもりだったけどもうダイジェストで許してください。文末調もバラバラになて来た。

４．２０１７年１０月

南蔵王縦走、茶番、余裕だった。

５．２０１８年８月

北蔵王縦走、かなり険しい道のり、その先に感動も大きい。

番外編．２０１３年３月

蔵王ライザにて左膝前十字靭帯全断裂

エピローグ

例年ＳＰＵＲはアナウンスがあったらすぐに書くようにしていたのだが、今年は遅れに遅れ、気づけばもう８月。院試勉強しないとという焦りがめちゃめちゃ強い中、すぐ終わると思って書き始めたらなかなか終わらすにもう午前中が終わってしまった。執筆作業に飽きたとともに、そろそろ他の事がしたいので、執筆作業を要請終了し勝手にダイジェストにさせてもらった。

僕と蔵王についての事を冬などすべて思い起こせることを事細かに、面白おかしく書いたら、おそらくＳＰＵＲ一冊分になってしまうのではないかと思うほどいろいろあった。次の冬にもいろいろありますように。

話は少しそれるが、こうして長い文章を書いていると、普段いかに自分が文章を書き慣れていなくて、文章を書くことが難しいかが

よく分かった。好きな蔵王の事ですらも書くことに飽きるし疲れてくる。今後こう言った長い文章を書く機会が増えるかもしれない。その時は前もってコツコツ書いていこう。またもっと面白い文章を書いてみたいとも思う。

まだまだ思うことはいっぱいあるし書きたいこともいっぱいある。けど今回はこの辺にしておこう。

考える人間より行動する人間になりたい。

終

著者プロフィール(2018 年 8 月 12 日現在)

務台雄斗、1995 年 10 月 16 日生、東北大学工学部在籍、神奈川県横浜市出身。趣味は体を動かす事と料理、海外ドラマ観賞。いつか世界中の恵まれない子供たちに日本食を振る舞う事が夢。直近の目標は痩せる事。

内向型と外向型

森田　陽

人のタイプには内向型タイプと外向型タイプがあるようです．ただ，決して両極端なものではなくその中庸にあたるどちらの性格も持ち合わせる人もいるみたいですが．現代社会の７５％は外向型人間，残りの２５％が内向型人間らしいです．内向型と外向型の特徴を説明します．

「外向型」

集団行動を好み、話しながら考え、他人と関わることでエネルギーを得る。

さまざまな活動や人や場所や物（外からの刺激物）からエネルギーを得る．

「内向型」

単独行動を好み，話す前に考え，他人と関わると疲労困憊する．

アイディア・感情・印象（自身の中の世界）からエネルギーを得る．

こんな感じです．例を挙げれば，友達になるハードルの低い，大勢で遊ぶのとか好きな人は外向型．逆に，ちょっとした知り合いは友達とは考えず，少ない人数でくつろぐ方が好きな人は内向型．ちなみに自分は内向型．ネットにある診断テストで分かった．診断する前

からわかりきってはいたけど，思った通りの結果でした．

問題はどっちがよくてどっち悪いということではない．社会的には外向型の人の方が歓迎される風潮にあるが内向型の人が無理に外向型になる必要は全くないらしい．内向型の人と外向型の人では楽しさの感じ方が異なる．内向型の人が「みんな（大勢）でいるのが楽しい」という固定観念を持っているとその場を楽しめずにいる自分に対して嫌悪感を覚え，ストレスを感じてしまう．

これでは，内向型は外向型より劣っているかのようだがそうではない．外向型というのは自分の周り社会集団をおもんじるタイプだが，内向型は自由に突き進み新境地を開拓していけるタイプだ．内向型の人は自分の信じる道を進むことで集団の中ではだれもやっていない新たな道を切り拓くことができる素質を持っているらしい．そう聞くと内向型もそんなに悪いものではないように思える．また，内向型の人が外向型の人よりも少ないことにも納得できる．内向型の人が多ければ社会集団が成立しづらくなってしまうが，少なすぎると社会集団は一様なものに近づき環境変化に弱くなってしまうだろう．

以上で終わりです．要するに，いろいろ好き勝手やってしまう自分のことをそれっぽくやんわり説明したということです．

平成 29 年度会計報告

平成29年度学友会スキー部決算報告書

支出の部

項目	細目	金額
登録費	県連登録	50,400
	SAJ学校登録費	174,300
	SAJ会員登録費	473,340
	九大戦負担金	70,000
	萩雪会県連登録費	80,000
	県連理事費	26,000
エントリー費	インカレエントリー費	240,000
	国体予選エントリー費	126,000
	全国戦エントリー費	229,000
	サマノル・サマコン	41,000
	学チャン	62,000
	アルペン	24,000
SPUR	SPUR関連費	142,600
道具代	hop	27,000
	ローラー代	10,000
	ビンディング交換代	60,200
	車関連費	40,000
	メット	22,000
諸経費	部室改修	16,700
	九大会議交通費	17,850
	萩雪会交通費	40000
	返送料	32100
	お花代	16400
	ホームページ	3400
	雑費	10836

収入の部

項目	金額
部費	1,257,100
体育部補助金	197,000
前年度繰越金	263,397
OB寄付金	699,165
シュプール広告費	46,000

合計支出	2,035,126
合計収入	2,462,662

平成 29 年度寄付金報告

昭和 29 年卒	伊藤　孝夫
昭和 29 年卒	髙橋　公正
昭和 30 年卒	吉田　裕
昭和 32 年卒	井藤　栄二
昭和 34 年卒	木名瀬　武男
昭和 35 年卒	小野寺　満憲
昭和 37 年卒	金ヶ崎　史朗
昭和 37 年卒	栗原　義郎
昭和 38 年卒	日下　俊直
昭和 38 年卒	中村　彰太郎
昭和 38 年卒	渡辺　髙峯
昭和 39 年卒	加藤　孝
昭和 39 年卒	工藤　博司
昭和 39 年卒	吉田　睦男
昭和 40 年卒	鬼木（栗原）美枝子
昭和 41 年卒	大熊　清二
昭和 42 年卒	河合　久嗣
昭和 42 年卒	佐藤　佑
昭和 42 年卒	髙津　宣夫
昭和 43 年卒	中澤　徳郎
昭和 43 年卒	原田　有造
昭和 45 年卒	植杉　健一
昭和 45 年卒	川田　正美
昭和 45 年卒	櫻井　新一
昭和 45 年卒	高橋　喜三雄
昭和 48 年卒	長谷川　明
昭和 50 年卒	藤井　隆宏
昭和 51 年卒	塚越　隆二
昭和 52 年卒	宇賀神　義宣
昭和 53 年卒	宮崎　豊
昭和 54 年卒	石川　知義
昭和 56 年卒	平間　義男
昭和 57 年卒	八重樫　誠司
昭和 59 年卒	山口　浩人
昭和 60 年卒	島本　泰輔
昭和 61 年卒	喜多見　哲
昭和 63 年卒	村主　正範
昭和 63 年卒	日出間　純
平成 1 年卒	小笠原　和徳
平成 2 年卒	風間　聡
平成 4 年卒	亀田　佑一
平成 4 年卒	松村　武
平成 12 年卒	小林　大輔
平成 17 年卒	村田　浩道
平成 18 年卒	宮澤　孝裕
平成 26 年卒	髙橋　愛子
平成 27 年卒	中島　稜介
平成 28 年卒	南波　和希
平成 29 年卒	小池　祥央
スズキ　サヤカ	

（敬称略）

平成 29 年度にいただいた方のお名前を掲載しております。多額の寄付金をお寄せいただき誠にありがとうございました。次ページに続きます。

東京萩雪会にて寄付をしてくださった方

昭和 38 年卒	青山　浩志	平成 6 年卒	君島　均
昭和 42 年卒	河合　久嗣	平成 6 年卒	田中　英俊
昭和 44 年卒	壺　富士雄	平成 11 年卒	小野木　伯薫
昭和 53 年卒	上篠　敦	平成 11 年卒	渡辺　幸子
昭和 53 年卒	高田　稔	平成 13 年卒	辻　祐介
昭和 56 年卒	平間　義男	平成 17 年卒	村田　浩道
昭和 57 年卒	上野　秀人	平成 19 年卒	杉下　裕樹
昭和 57 年卒	中川　万規人	平成 19 年卒	柴崎　晃
昭和 57 年卒	八重樫　誠司	平成 21 年卒	吉田　大樹
昭和 58 年卒	高田　邦宏	平成 26 年卒	安藤　努
昭和 58 年卒	津田　邦男	平成 27 年卒	宮崎　伸彦
昭和 59 年卒	高木　英雄	平成 28 年卒	稲永　久信
平成 5 年卒	高橋　勲	平成 29 年卒	小池　祥央

（敬称略）

昨年の 11 月に行われました東京萩雪会の集会でもたくさんの方々からたくさんの寄付金をいただきました。誠にありがとうございます。

今年度分寄付金につきましては、来年度の SPUR 第 63 号に掲載いたします。今後とも多方面からのご支援をよろしくお願いします。
リストに間違いがありましたら、非常に申し訳ありませんが、以下よりご連絡を頂ければ幸いです。
スキー部ウェブサイト　http://ski-tohoku.main.jp　のメールフォーム
または　〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内四一　学生支援課 課外活動係 気付

ＯＢ・ＯＧの皆様からのお便り

※敬称は省略させていただきます

佐藤　昭男　特別会員

長い間東北大学スキー部にお世話になりありがとうございました。主人佐藤昭男、平成２９年５月８日に亡くなりましたのでお知らせ申し上げます。スキー部の今後の活躍を念じております。

伊藤　孝夫　昭和２９年卒

現役の皆さんの健闘を期待しています。

木名瀬　武夫　昭和３４年卒

現役選手の活躍・健闘に大拍手を送ります。

萩雪会ＯＢの諸兄と、テニス&懇親を楽しんでいます（江東区で）仲間に加わる方いませんかね。幹事は、Ｓ４４壺さん

小生テニス８０歳シングルスに挑戦中です（全日本ランク？？？）

栗原　義郎　昭和３７年卒

８０歳になりました。いまだ年に2～3回は雪の上に立てると思います。スイスのミッテルアラリンを滑りました。

工藤　博司　昭和３９年卒

部員諸君の大活躍を誇らしく思っています。特に、七大戦４連覇には前総長の里見先生からも感謝の言葉をいただきました（元部長として）。部の運営は大変でしょうが、来シーズンの益々の活躍を願っています。八木杯には身体のつづく限り参加したいと思っていますのでどうぞよろしく。

富田　光彦　昭和３９年卒

今年度も好成績で終えたそうでおめでとう。しっかり頑張って充実した学生生活をおくるよう願っています。

大熊　清二　昭和４１年卒

“インカレ2部４位”すごい成績で驚きです。吉田、竹内、清水選手の滑りに感動した1年時の蔵王合宿より、なんとしてもインカレに出場したいと自分なりに努力した４年間のスキー部生活でした。夢は叶いませんでしたが、スキーへの思いは今も脈々と残っています。

少しですが寄付金みずほ銀行のほうに送らせていただきます。盛夏

大熊

中澤　徳郎　昭和４３年卒
昨年の大嶽さんの「貴重な時間ですので、悔の残らないように一生懸命頑張ってください」は大変良いはげましでした！！
期待しています。全力を尽してください。

田中　和男　昭和４４年卒
スキー部現役諸君の益々のご活躍を祈念しています。

壺　富士雄　昭和４４年卒
今年度も素晴らしい成績でしたね。
先輩としてとてもうれしいです。
今はスキーは止めまして、スキー部ＯＢで白馬でテニス大会に参加してます。
少額ですが、送金しました。来シーズンも頑張ってください。

高橋　喜三雄　昭和昭和４５年卒
Ｓ４５卒の高橋です。今年２月、蔵王に同期が集合。４８年ぶりに皆でスキーを楽しみました。皆様の御健闘を祈ります。

八重樫　誠司　昭和５７年卒
東北大学工学部修士博士課程のマルチディメンションプログラム（ＭＤ）の社会員審査員を担当してます。

山井　尚也　平成２９年卒
寄付金はお金に余裕が出来たら出させて頂きます。今年も陰ながら応援しています。頑張ってください。

東北大学スキー部部則

第一条　本部は東北大学学友会スキー部と称する。

第二条　本部は東北大学学友会運動部の一環として母校の名誉のために活動すると共に、各自技術の向上に努め、部員会員相互の交誼を温め、その親睦を密にすることをもってその目的とする。

第三条　本部は前条の目的を達成するために次のことを行う。

一、対外試合の参加
一、部報および名簿の作成
一、各種部活動の実施
一、その他

第四条　本部はその本部を東北大学片平丁校内に置き、その他の支部を統合する。

第五条　本部は部員、会員および特別会員をもって構成し、その資格は次の者とする。

一、部員は東北大学在学中の学生
一、会員は東北大学卒業生で在学中本部に在籍した者
一、特別会員は、部長、副部長、顧問、コーチおよび特に部会で認められた者

第六条　本部部員は次の義務を負うものとする。

一、入部の際、定額の入部費を負うものとする
一、部費として年間一定額納入すること
一、定められた部会、トレーニング合宿およびその他の部活動に参加すること。欠席する際にはその事由を届けねばならない。

第七条　本部部員の進退は部会でこれを決定することができる。

第八条　部会は部員をもって構成し、主将が必要と認めた場合これを召集する。

第九条　本部会員、特別会員については別にこれを定める。

第十条　本部会員は次の者をもって構成する。

部長一名、副部長一名、顧問若干名、監督若干名、コーチ若干名、主将一名、副主将一名、主務一名、副主務若干名。

第一一条　主将、副将、主務、副務は、前年度の役員の推薦により選出し、部会の承認を要する。その任期は一年（四月より翌三月）とし、再任を妨げない。

第一二条　本部の経費は学友会費・部費・入部費・会員費・寄付金・その他の収入より充当し、会計年度は四月一日より翌年三月三十一日までとする。

第一三条　主務は部員に対し年一回以上の会計報告をせねばならない。

第一四条　本部部則の改正は部総会で総部員の三分の二以上の賛成をもって議決することができる。

第一五条　本部部則は昭和三十五年七月一日をもってその効力を発する。

東北大学萩雪ヒュッテ使用規定

（昭和四十年七月一日制定）

（趣旨）

第一条　東北大学萩雪ヒュッテ（以下「萩雪ヒュッテ」という）の使用については、この規定の定めるところによる。

（使用目的）

第二条　萩雪ヒュッテは、東北大学（以下「本学」という）学生および教職員の体育活動・研修等に使用するものとする。

（使用の願い出）

第三条　萩雪ヒュッテを利用しようとする者は、所定の願書を使用日七日前までに学生部長に提出し、その許可を受けなければならない。

（使用期間）

第四条　萩雪ヒュッテの使用期間は七日以内とする。ただし、特別の理由があると認められたときはこの限りではない。

（使用日時等の変更および使用の取り消し）

第五条　本学において公務上の必要が生じた場合は、使用許可を取り消し、または使用日時等を変更させることがある。

2. 使用の許可を受けた者（以下「使用者」という）に規定違反の行為があると認めた場合は、使用許可を取り消すことがある。

（使用権利譲渡の禁止）

第六条　使用者は使用の権利を第三者に譲渡してはならない。

（損害賠償）

第七条　使用者が故意又は過失により、建物・設備・備品等を損失又は減失したとき

は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。

（使用者心得）

第八条　使用者は別に定める使用者の心得を守らなければならない。

（補足）

第九条　この規定に定めるもののほか、萩雪ヒュッテの使用に関し必要な事項は学生部長が定める。

附則

この規定は昭和四十年七月一日から施行する。

東北大学萩雪ヒュッテを学友会スキー部が使用するときの方法について

（昭和四十二年十月二十日）

東北大学萩雪ヒュッテを学友会体育部スキー部が使用するときは、左記の方法によるものとする。

記

一、東北大学萩雪ヒュッテ（以下「萩雪ヒュッテ」という）を、学友会スキー部（以下「スキー部」という）が使用するときは「東北大学萩雪ヒュッテ使用規定」（昭和四十年七月一日制定）によるほか、次の方法によるものとする。

二、スキー部は萩雪ヒュッテの一部（二階部分）を通常専有することができるものとする。

三、スキー部が強行訓練の合宿のため萩雪ヒュッテを使用するときは、スキー部以外は使用させないものとする。

四、萩雪ヒュッテのスキー部専用室を使用できる者は、スキー部長、副部長、監督、部員とする。ただし東北大学（以下「本学」という）関係者が管理上必要な場合は使用できるものとする。

五、萩雪ヒュッテをスキー部以外の者が使用するときは、一階部分を使用するものとする。ただし、一階の各室が一時的に収容能力を超えたときは、スキー部活動に支障ない限りスキー部専用室を使用できるものとする。

六、スキー部は、萩雪ヒュッテの運営について随時本学に協力するものとすること。

七、スキー部が強行訓練等により萩雪ヒュッテを使用するときは、学生部に届け出るものとする。

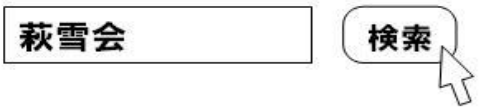
OB・OG の皆様へ

萩雪会のメーリングリストを運営しております。

メールアドレスをお持ちの方は是非登録をお願いいたします。
詳しくは萩雪会ホームページへアクセスしてください。
なお、萩雪会ホームページのアドレスは変更されております。
新しいアドレスは以下の通りです。

https://sites.google.com/site/syusetukai/

あるいは、



※ メーリングリストのメールアドレスに変更はありません。

UCHIDA SPORTS

NORDIC スキー日本屈指の PRO SHOP。道具選びは、本場ヨーロッパで学んだ計測技術にて体重・滑走テクニック・パワーetc・・ヒアリングを基に自身に合うモデルの選択を致します。そして予算に合わせたコストカットとして程度の良い中古品(道具商/古物商)の提案もできます。合わせて全ての道具に対しての耐久性・ランニングコストの診断やご相談になることも致します。
又、修理作業(SKI/BOOTS/POLE/ローラースキー他)も得意としております。購入だけをすすめるのではなく使えるものは修理してお使い頂けるようご提案も致します。 最後に本場ヨーロッパのクラブチーム及びナショナルチームコーチにレクチャーを受けたトレーニング指導も出来ます。他、ご要望あればオリンピック選手のトレーニング講習会・合宿の宿～車の手配なども行える NORIC 総合 SHOP となります。ご用命の際はぜひ当店まで連絡を。

寄付金Tシャツプロジェクト第５弾

Who is Next?
Japan ▸World

目指すは世界
あなたの１枚が選手の力となる

×

SAJ official Ski Club

TEAM UCHIDA SPORTS

大会出場登録～TR キャンプコーディネート
オリンピック選手による講習会も行う
NORDIC トータルアドバイザーチーム!!

×

NORDIC PRO SHOP

㈲内田紙店
UCHIDA SPORTS

ヨーロッパで学んだ正しい知識で
的確な道具選びをいたします。

〒949-2235 新潟県妙高市関山 2065
Phone:0255-82-2031 / FAX:0255-82-2071
Mail: info@uchida-sports.com
http://www.uchida-sports.com

Who is Next? 寄付金Tシャツプロジェクト TEAM UCHIDA SPORTS
ご注文フォーム HP：http://www.uchida-sports.com/whoisnext.html
Mail：whoisnext@uchida-sports.com
携帯・スマホ・PCからの注文→ https://ssl.form-mailer.jp/fms/6cf4a0f3251847

ブナの森 玉原高原 ペンション
バン・デ・ルージュ

Vin de Rouge

交通：関越自動車道沼田ＩＣより35分
玉原スキーパークの目の前です。(11月末より5月連休まで滑走可能)
クロスカントリースキー、山スキーにも最適。春はブナの新緑や玉原湿原のミズバショウ。夏はテニス、ハイキング、登山、サイクリングなど。ラベンダー園では夏山リフト運行中。ラフティング（激流下り）、カヌー、パラグライダーの体験教室あり。秋にはブナの森の紅葉の中でぶどう狩り、リンゴ狩り、きのこ狩り。

萩雪会の皆様のおいでをお待ちしております。(56年卒杉山)

〒378-0071 群馬県沼田市上発知町玉原高原 Tel 0278－23－9114

POWERRIDE

☆スキー、スノボチューンナップ受付中
４月～９月末日までチューンナップ受付の方は割引有り
☆自社製品 POWERRIDE 販売中

宮城県仙台市青葉区台原２丁目１０－２
TEL　０２２－２３４－２５４５
http://freeride-powerride.com
info@freeride-powerride.com
(株)フリーライド

山形蔵王温泉高湯通り
㈲伊東酒店
TEL023-694-9336
FAX023-694-9331
地酒、限定ワイン
総合食品販売
地方発送

おかげさまで昭和35年創業
ワンタンメンの満円
本　　店　〒998-0855
山形県酒田市東中の口町2-1
TEL・FAX 0234-22-0166
営業時間:11:00～16:30
席数:60席／定休日:不定休／駐車場:40台
仙台定禅寺店　〒980-0803
宮城県仙台市青葉区国分町3丁目3-3 1F
東京エレクトロンホール(旧宮城県民会館)隣り
TEL・FAX 022-217-7703
営業時間:11:00～23:00(スープなくなり次第終了)
11:00～14:30(日曜日・月曜日のみ)
定休日:不定休

コロッケ
メンチもよろしく！
堀畜産有限会社
蔵王店　蔵王温泉954-1　TEL. 694-9236

―広告協賛一覧―

ご協力ありがとうございました。

トーヨーカネツ株式会社

ウチダスポーツ

パン・デ・ルージュ

蔵王温泉観光(株)

ＦＲＥＥ　ＲＩＤＥ

けんと

阿部酒店

(有)伊東与三郎商店

満月

堀畜産（有）

スキー部冬季宿泊先：
東北大学萩雪ヒュッテ
　山形県山形市蔵王温泉 820－1
℡　　023－694－9094

スキー部口座：
郵便振替口座　　02200－4－19520

編集後記

SPUR６２号の編集・発行は、池田翔、高野祥徳で務めさせていただきました。誤りのないようには努めましたが、誤字・脱字等を見つけましたら、ご連絡お願い致します。

ＳＰＵＲ　　第 62 号
発行年　　平成 30 年
発行所　　東北大学学友会スキー部
　　〒980－8577　　仙台市青葉区片平２丁目１－１
発行者　　新海孝洋
編集者　　池田翔　高野祥徳
印刷所　　プリントコープ
　　東北大学片平校舎　学生生協内

スキー部ホームページアドレス：
http://ski-tohoku.main.jp/

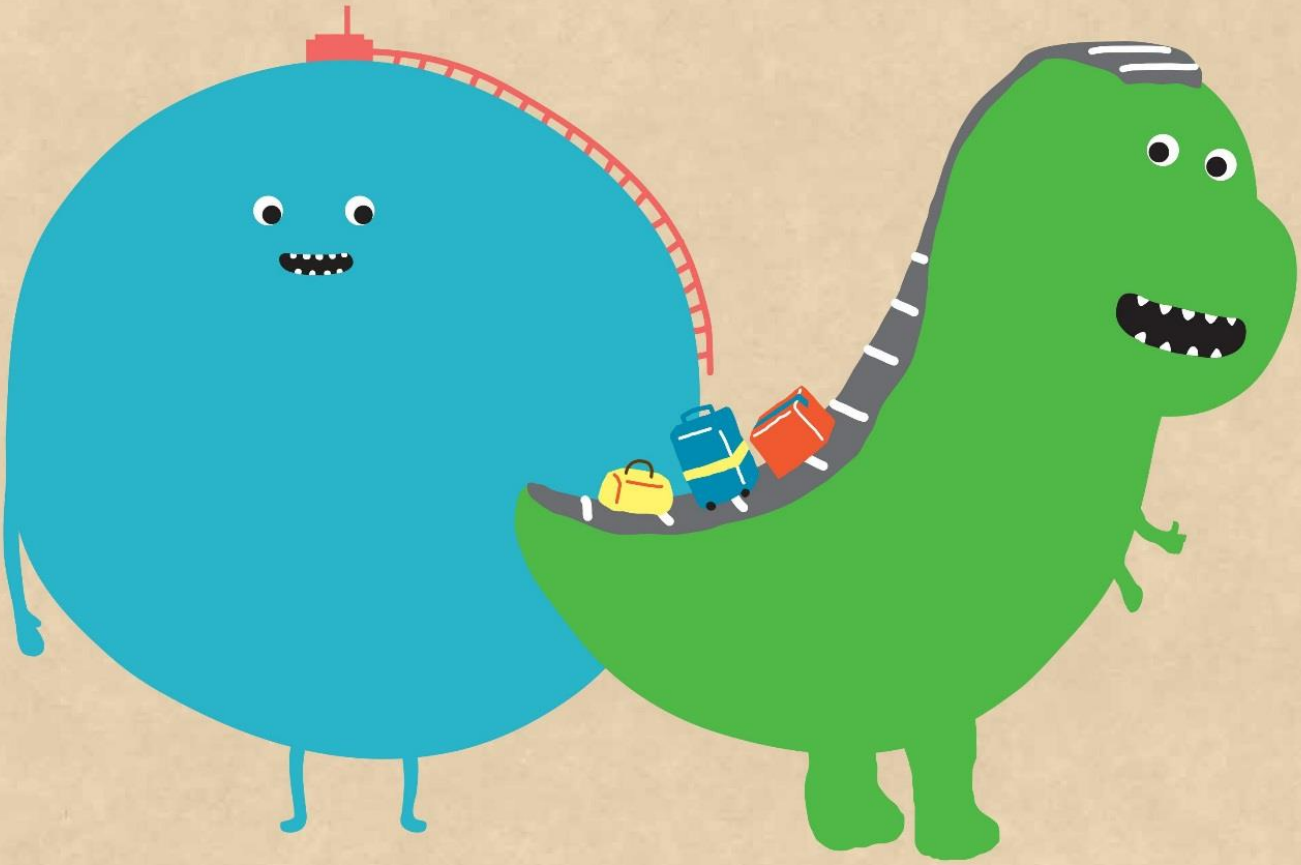
スキー部ブログアドレス：
http://skitohoku.blog105.fc2.com/

SPUR

第六十二号（平成三十年度）

東北大学学友会スキー部

タンクとブツリュー。



石油やLNGといった
エネルギーを蓄えるために
なくてはならないタンク。
空港で手荷物を運んだり、
ネットや通販の商品を
仕分けたりする物流システム。
私たちはこのタンクとブツリューで、
みんなの暮らしを、
この星の未来をこれからも
支えつづけていく。

トーヨーカネツグループ

TKK TKSL

トーヨーカネツ株式会社　http://www.toyokanetsu.co.jp　[本社]東京都江東区南砂二丁目11番1号 TEL:03-5857-3333　トーヨーカネツソリューションズ株式会社　http://www.tksl.co.jp　[本社]東京都江東区南砂二丁目11番1号　TEL：03-5857-3132